

秋の叙勲に本学より5氏

文部科学省「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」に採択
「北海道大学進学相談会」を大阪で開催

医学部が創立100周年記念事業を挙行
教育学部創立70周年記念式典等を挙行



■ 全学ニュース

- 1 秋の叙勲に本学から5氏
- 7 文部科学省「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」に採択
- 8 「北海道大学進学相談会」を大阪で開催
- 9 笠原総長職務代理が第5回日本・インドネシア学長会議に出席
- 10 長谷川理事・副学長が南開大学創立100周年式典・世界大学学長フォーラムに出席
- 11 電子科学研究所が Academic Fantasia 2019 で高校生に向けた講義を実施
- 12 北大フロンティア基金
- 14 第2回及び第3回情報セキュリティセミナーを開催
- 15 新入留学生オリエンテーションを実施
- 15 秋のガレージセールを開催
- 16 留学生と札幌市民で行く防災バスツアーを実施
- 17 『大学生ものづくりビジネスアイデア「プレゼンテーション」』において、本学学生2グループが成果発表
- 18 国際連携研究教育局（GI-CoRE）食水土資源グローバルステーションが外部評価を実施
- 19 「WinGS Global Networking Award 2019」の受賞者を表彰
- 19 衛生管理者連絡会を開催
- 20 博士人材と企業の情報交換会第39回「赤い糸会&緑の会」を開催
- 21 札幌国際プラザと「米国ポートランドを知るセミナー」を共催

■ 部局ニュース

- 22 医学部が創立100周年記念事業を举行
- 25 教育学部創立70周年記念式典等を举行
- 26 モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学日本語学科ナタリア・クルネタ助教授を文学研究院に招聘
- 27 法学研究科・法学部・公共政策大学院で留学生パーティーを開催
- 28 公共政策大学院が国際フェロー「ナルワン・プログラム」を実施—台湾外交部、台湾日本関係協会等を訪問—
- 29 公共政策大学院が「日韓市民社会・ジャーナリスト対話：未来につなげるダイアログ」を開催
- 30 経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターでシンポジウムを開催
- 30 経済学院・経済学研究院・経済学部で外国人留学生懇親会を開催
- 31 動物慰霊式を举行
- 32 技術部による理学部共同利用施設説明会2019を開催
- 33 ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点が「NoMaps 釧路・根室」を共催
- 34 ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点が「第2回防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAIシンポジウム」を開催



第5回日本・インドネシア学長会議集合写真

- 35 保健科学研究所公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」を開催
- 36 国際食資源学院でFD研修会を開催
- 37 『「平成30年北海道胆振東部地震を振り返り、今後の減災・復興を考える」シンポジウム & 現地見学会』を開催
- 37 函館キャンパスで「秋のキャンパス一斉清掃」を実施
- 38 メディア・コミュニケーション研究院公開講座「観光とメディアの新たな出会い」が終了
- 39 消防訓練・防災訓練を実施
- 42 「北極基礎市民講座～北極の不思議 もっと知ろうその魅力～」第3回を開催
- 43 環境健康科学研究教育センターが市民講演会「SDGs達成に向けた私たちの取り組み」を開催
- 44 「脳科学研究教育センター合宿研修」の開催
- 45 天塩研究林で「最北のエゾシカ調査ツアー」を開催
- 46 生物生産研究農場で「畜産祭」を举行
- 47 和歌山研究林で一般公開事業「和歌山研究林の歴史的建造物と照葉樹天然林」を開催
- 47 和歌山研究林でアートプロジェクト「森のちからXI・森の中へ」による作品制作・展示を実施

■ レクリエーション

- 48 教職員テニス大会の開催
- 50 令和元年度学内教職員フットサル大会の開催

■ 諸会議の開催状況 51

■ 学内規程 51

■ 研修

- 52 令和元年度Excelを用いたテキストデータ取扱講座
- 52 令和元年度アドビイラストレータ研修
- 53 令和元年度北海道地区国立大学法人等会計基準研修

■ 表敬訪問 53

■ 人事 54

- 54 新任教授紹介

■ 資料

- 56 役職員数（令和元年10月1日現在）
- 57 在籍学生数（令和元年10月1日現在）
- 59 広報誌等一覧（令和元年10月調査）



世界学長フォーラムでのパネルディスカッション（右端が長谷川理事）



北海道大学進学相談会（大阪）での満席の講演会場



教育学部創立70周年記念式典等を举行



北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林 林内見学

■全学ニュース

秋の叙勲に本学から5氏

この度、本学関係者の次の5氏が、令和元年秋の叙勲を受けることについて、11月3日（日）に発表となりました。

勲章	経歴	氏名
瑞宝中綬章	北海道大学名誉教授	牧田章
瑞宝中綬章	北海道大学名誉教授	横川敏雄
瑞宝中綬章	北海道大学名誉教授	岡田廣
瑞宝中綬章	北海道大学名誉教授	福田博
瑞宝単光章	元 北海道大学病院看護師長	高木眞弓

各氏の長年にわたる教育・研究等への功績と我が国の学術振興の発展に寄与された功績に対し、授与されたものです。
各氏の受章にあたっての感想、功績等を紹介します。

（総務企画部広報課）



まきた あきら
牧田 章 氏

感想

この度、はからずも令和元年秋の叙勲で文部科学大臣から12月13日に瑞宝中綬章授与の栄に浴することになりました。

今回の叙勲は糖脂質の化学、先天性代謝異常、生合成の研究を通して基礎医学研究に貢献したことに対して与えられたものです。

1957年、当時の伝染病研究所（現、医科学研究所）、山川民夫先生の研究室に入ったころは四つの糖脂質が知られていましたが、現在は糖鎖部分の化学構造が異なる数十種が知られています。これらのうち新たなもの（血液型ではないが、フォルスマン抗原など）を含め五つの化学構造を決定しました。これらの糖脂質は細胞、臓器、ひいては動物種ごとに特徴的な分布を示します。生体での働きとして糖脂質はABO式、ルイス式、P式の血液型の抗原として働きます。

北海道大学では糖脂質糖鎖の合成酵素（糖転移酵素）四種類の単離し、それらの性状を明らかにしました。これにより酵素遺伝子を同定し、合成された糖脂質の生体機能を探ることが可能となりました。糖脂質糖鎖に硫酸基を結合させ硫脂質の合成に働くスルフォトランスフェラーゼ（ST）の単離、遺伝子同定の研究を行いました。

人工的にSTを欠損させると、ミエリン機能異常や精子形成停止を引き起こします（本家孝一、谷口直之ら）。こ

のように硫脂質は脳神経系や生殖系に重要な機能を果たしていることが明らかになりました。

これらの業績に対して授与される叙勲はともに研究を行った若い研究者を代表して勲章伝達式に臨むものです。ご推薦いただいた関係者の方々に心からお礼申し上げます。

功績等

牧田章氏は昭和6年2月6日北海道に生まれ、同31年3月北海道大学医学部医学科を卒業し、同31年4月から1年間国立東京第一病院において医学実地修練、同32年6月東京大学伝染病研究所研究生として生化学を専攻されました。その後、同34年8月同研究所助手に採用され、同39年1月“Biochemistry of organ glycolipids. II. Isolation of human kidney glycolipids”の論文により東京大学から医学博士の学位を授与されました。

昭和39年4月に東北大学助教授に任ぜられ同医学部医化学第二講座に勤務、同47年2月に北海道大学教授に任ぜられ、同医学部附属癌研究施設生化学部門を担当し、以来平成6年3月の定年退官まで生化学の研究、教育に従事されました。退官後は、北海道文教短期大学及び北海道文教大学の教授として研究を継続しつつ、生化学に加え病態栄養学全般に渡り学生への教育を行い、平成18年からは天使大学教授として引き続き教育研究に従事され、この間同大学の修士課程及び博士課程の設立に尽力し、病態栄養学分野の指導者の育成も行われました。

同人は主としてヒト、動物の複合糖質、特に糖脂質及び糖タンパク質を中心とした生化学、病態化学を研究し、現

在では我が国で世界をリードする研究分野に発展した糖鎖生物学の先駆けとなる多くの研究で顕著な業績を残し、昭和56年北海道医師会賞・北海道知事賞を授与されました。

学内にあっては学生部委員会委員，評議員，医学部附属癌研究施設長などを務め北海道大学の運営に寄与し，学外にあっては日本生化学会の理事・常務理事，日本癌学会の評議員，日本脂質生化学会幹事及び実行委員長，財団法人札幌癌セミナー理事，腫瘍マーカー研究会（現日本分子腫瘍マーカー研究会）当番世話人を務めたほか，日本学術振興会専門委員などを歴任し，学会等の発展に著しく貢献されました。

同人は永く医学研究に携わって優れた研究業績をあげたばかりでなく，後進の指導も積極的に行われました。薫陶をうけた門下生からは，4名の国立大学医学部生化学講座教授，公立・私立大学及び国外の大学へ6名の教授，その中からは日本学士院賞受賞者も輩出しました。

このように学術の進歩に貢献するとともに，前述の学会等の発展に尽くし，また，大学の運営に寄与し，多くの後進の教育や人材育成にあたってきたおり，その功績は顕著であります。

略 歴

生 年 月 日	昭和6年2月6日
昭和31年4月	東京大学伝染病研究所助手
昭和39年4月	東北大学医学部助教授
昭和47年2月	北海道大学医学部附属癌研究施設教授
昭和50年4月	北海道大学医学部附属癌研究施設長(昭和52年3月まで)
昭和60年4月	北海道大学医学部附属癌研究施設長(平成元年3月まで)
平成4年4月	北海道大学評議員（平成6年3月まで）
平成6年3月	北海道大学定年退職
平成6年4月	北海道大学名誉教授
平成6年4月	北海道文教短期大学食物栄養学科教授
平成7年4月	北海道文教短期大学食物栄養学科食物栄養学科長(平成13年3月まで)
平成11年4月	北海道文教短期大学専攻科専攻科主任(平成13年3月まで)
平成15年3月	北海道文教短期大学退職
平成15年4月	北海道文教大学非常勤講師
平成18年4月	天使大学看護栄養学部教授
平成23年3月	天使大学退職

(医学院・医学研究院・医学部)



よこかわ としお
横川 敏雄 氏

感 想

この度は，叙勲の名誉を賜り，身に余る光栄です。北海道大学理学部化学科での教育・研究に携わらせていただいた間，多くの方々にご指導いただき，支えていただいた皆様方に心より感謝申し上げます。

振り返りますと，恩師の丹羽貴知蔵先生の門をたたいて

ご指導をいただき，また，多くの先輩・同僚・後輩・学生諸君のご支援をいただきながら高温無機化学の研究にじっくりと取り組むことができたことは，私の学者人生にとって本当に幸せでした。

北大を定年退職して20年以上になり研究現場から離れて久しいですが，今でも北大関係のニュースや雑誌を見るたびに，大変懐かしく思い出されます。特に，北大理学部化学科や無機化学教室の卒業生の活躍を年賀状などで知った時には，我がことのようにうれしく思っております。

今回の叙勲は私にとっては，まさに一生の思い出になり，本当に心が躍るほどうれしいできごとでありました。同時に私の受章に関してご尽力いただいた皆様には深く感謝申し上げます。

功績等

横川敏雄氏は昭和6年9月12日北海道に生まれ，同29年3月本学理学部を卒業し，同31年3月同大学院理学研究科化学専攻修士課程，続いて同34年3月博士課程を単位取得退学し，同年4月北海道大学理学部助手に任用されました。昭和34年9月には「Thermodynamic Studies on Ternary Liquid Metallic Solutions（三元系液体合金の熱力学的研究）」により，北海道大学から理学博士の学位を授与されました。昭和36年6月から1年間米国ミネソタ大学化学教室，さらに37年6月から2年間シカゴ大学金属研究所にて在外研究に従事されました。同40年4月北海道大学理学部助教授に，同47年12月には同教授に昇任し，化学科無機化学講座を担当されました。平成7年3月31日定年により退官され，同年4月北海道大学名誉教授の称号を授与されました。36年間の理学部化学教室にあっては無機化学の教育と高温無機化学の研究に努め，熱心に大学院生，学部学生の教育指導に当たり，同人の指導を受けた学生の多くが学位を授与され，各大学，研究所，民間会社において活躍中です。

同人は液体合金や酸化物融体など高温で実現する溶液の化学から研究を開始しましたが，主としてスラグと称される酸化物溶融体の溶液化学研究を進めました。戦後の混乱を抜け出したわが国にとって欧米の科学技術に追いつくことが当時の目標であり，高温融体の化学は金属精錬技術の基礎として魅力的なテーマでした。この溶融体は自然界ではマグマに見られる物質です。組成によって分子の重合・解離の性状が変わる特性を持ち，熱力学的にも原子論的にも興味深い物質です。そこで，種々の酸化物溶融体の活量を測定精度の高い濃淡電池を工夫，構成することにより測定し，それまで難しかった高温溶融体の塩基度を確度高く決定することに成功しました。そして酸化物が酸・塩基性の強さによって分類されることを解明し，成分の活量や溶融体の構造が塩基度の指標で記述できることを初めて示しました。さらに金属酸化物がスラグに溶解するときの酸化還元電位・平衡をサイクリックボルタンメトリーにより測定し，溶解状態，溶融体の構造を初めて解明しました。同人の求めた実験データは精度・確度が優れており，著名な

国際学術論文誌に掲載され、広く引用されただけでなく、金属精錬という現場の要請に応えるもので、産業界にも十分貢献されました。これらの酸化物溶融体の電気化学的手法による熱力学的性質の解明と溶融体構造に関する研究は学会の高い評価を得るところとなり、昭和49年日本金属学会功績賞を受賞されました。

昭和50年後半からNMR測定法の技術の発展はめざましく、液体から結晶質、非晶質を問わず固体に対して強力な構造解析手段となってきました。そこで同人は、液体ヘリウム温度の磁場の中で、1800℃までの高温でしかも定常的に使用できる高分解能NMRプローブの開発に成功し、多様な化学種の構造解析を進め、酸化物溶融体の動的挙動を解明しました。このうち非晶質であるアルカリを含んだシリカガラスのケイ素の化学環境をNMR測定により直接正確に決定し、それがアルカリ量に対し、どのように変化するかを解明した研究は先駆的研究として非常によく引用されています。

一方、酸化物溶融体についての熱力学的測定などによる実験面からの巨視的研究に加え、量子力学計算、分子動力学計算などにより、理論面から溶融した重金属イオンの動的挙動及び微視的構造の解明にも成功しました。混合融体の塩基度を計算する独自の手法を開発し、また分子動力学シミュレーションにより、粒子の運動を可視化することにより、実験困難な高温・高圧化での酸化物溶融体の実態を把握、計算による状態図の再現に成功しました。

以上の研究は、116報のオリジナル論文、35編の総説あるいは図書として公表されており、これらは学会の評価を得るところとなり、平成6年3月に日本金属学会から谷川・ハリス賞を授与されています。平成10年2月にはこれまでの研究成果を著書「高温融体の化学」(アグネ技術センター)として公刊されましたが、初学者から専門研究者までその段階に応じて利用できるよう構成されているため、広く教科書、参考書として使われています。

学会役員としては日本化学会北海道支部長及び本部理事(昭和63年度)を、日本金属学会国際交流委員(平成元年～5年)、同北海道支部長(平成5年度)、日本鉄鋼協会にあっては理事及び「スラグの基礎と応用」の特別基礎研究部会長を歴任し、国際的な学会活動をされました。日本学術振興会製鋼第19委員会委員(昭和54年)、冶金物質の高温物性に関する第140委員会委員(昭和56年～63年)としても研究活動をリードされました。さらに昭和59年2月から同61年1月及び平成3年2月から同5年1月まで、学術審議会専門委員に就任するなど、学術行政に関する貢献も並々ならぬものがあります。

学内にあっては学生部委員会委員(昭和53年～54年)、入試制度調査委員会委員(昭和58年～61年、同委員長(昭和59年～61年))として、また本学入試出題・採点部会責任者(平成元年～2年)として尽力されました。

以上のように同人は永年にわたって、本学の内外において化学の研究・教育に貢献されたもので、その功績は誠に顕著であります。

略 歴

生 年 月 日	昭和6年9月12日
昭和34年4月	北海道大学助手
昭和40年4月	北海道大学助教授
昭和47年12月	北海道大学教授

(理学院・理学研究院・理学部)



おかだ ひろし
岡田 廣 氏

感 想

このたび、秋の叙勲の栄を賜りました。光栄に存じます。

長年にわたる多くの方々のご指導、ご支援、ご協力のおかげです。御礼申し上げます。

41年間勤めた北海道大学を定年で終え、早21年の歳月が流れた。私のこの栄誉を喜んでくれる方は、今幾人おられるだろうか。心に残る恩師の多くは既にこの世にいない。私を助手として採用し、その後の私の教育研究の日々を暖かく見守って下さった田治米鏡二教授も、昨冬99歳で亡くなられた。

振り返ってみると、あの41年間は3つの期間に分けられる。第1期は助手に採用された1957年(昭和32年)から助教授の中頃の1969年(昭和44年)まで。第2期は、当時の文部省から、「大学院制度の弾力化等について」が出された1988年(昭和63年)頃まで。第3期は、その後定年となる1998年(平成10年)まで。

第1期は、大学がまさに「研究・教育」の場、日々研究を優先させることができた実りある時期だった。第2期は国全体の大学が崩れ落ちていった時期。大学は学問の最高の府であり、それ故に、大学の先生は研究の先達として、かつ過去の研究実績を基に、現在・未来に向け未知の世界を切り開いていく先生であらねばならない。その強い思いが、くずれおちた時期だった。つまり、大学はその実を失った。

そんな沈んだ時期のことを思い出す。恩師・田治米教授は北大の研究者育成に飽き足らず、研究の情熱を「他大学」の多数の学徒にも注いだ。その「他大学」の研究者仲間から、沈鬱な日々を過ごしていた私に熱い誘いがあった。国際共同研究のいくつか「上部マントル研究計画(UMP)」、「ジオダイナミックス研究計画(GDP)」等、主体的に掛かり合える機会が巡ってきた。結果として、日本列島・本州弧の上部マントルのP波速度異常構造の検出、日本海の上部マントルP波速度の「異方性」の発見等々、成果を上げることができた。

以来、いくつかの国際共同研究が続いた。その一つ、我が研究仲間・K君の提案する「表層地質が地震動に及ぼす影響(略称ESG)」という研究への参加。「地震を予知でき

なくても、地震動の予測はできる」が主要課題だった。それに必要な基礎的な物理量は地下数千メートルまでの構造。それを如何にして探るか？私がかねてから研究開発してきた「微動探査法」の出番となった。定年後もこの探査法は活用されていると聞く。

私の北大時代・その41年間は一言で言うと「苦難と苦闘」の日々の連続だった。

功績等

岡田 廣氏は、昭和9年6月27日北海道に生まれ、昭和32年3月北海道大学理学部を卒業しました。同年4月同助手に任ぜられ、同43年4月同助教授に昇任されました。一般教育地学を担当し、同51年11月同教授に昇任されました。同58年4月、理学部地球物理学科応用地球物理学講座を担当しました。

その後、平成6年度の大学院重点化により、同7年4月大学院理学研究科地球惑星科学専攻教授となり、同10年3月に定年退職されるまで、応用地球物理学の教育・研究に努められました。同10年4月に北海道大学名誉教授になられ今日に至っています。

応用地球物理学の教育・研究においては、1950年代に日本に初めて組織化された人工地震による共同研究に参加されました。同氏は、課題「地殻・マントル最上部の地震波速度構造の解明」で、日本の地震予知研究の発端となった「松代群発地震」の震源域の地殻が、「異常低速度域」であることを見出しました。これは「地震の発生とその媒質との因果関係」を示唆する研究成果と評価されました。

1960年代後半から始まった国際共同研究「上部マントル研究計画やジオダイナミクス研究計画」で同氏は、研究手法の一つである人工地震により、1) マントル最上部のP波速度が、東北地方陸域で太平洋海域より数%小さいこと、2) 島弧の縁海・日本海のマントル最上部のP波速度には「異方性」のあることを見出しました。この「異方性」検出の成果は、「日本海拡大説」の裏付けとなり、伝統的な地質学で確立していた「島弧成因説」を根底から覆す発見と評価されました。これは、いわゆる「新しい地球観としてのプレートテクトニクス」の肉付けとなる功績です。

昭和58年に応用地球物理学講座担当となり、当時物理探査学の分野に無い「微動探査法」の開発研究に着手されました。古くから知られていた、地球表面のいたるところ、いつでも存在する微弱な振動すなわち「微動」は、「自然現象の一つ」ですが、その物理的性質は全く解明されていませんでした。そのせいか、従来からこの「微動」を利用する「地下構造探査法」はありませんでした。同氏は、この「微動」の主成分が弾性波中の分散性表面波であり、かつ表層地質を色濃く反映した現象であることを、新しく考案した観測手法及び解析法によって明らかにしました。この手法は「微動探査法」として多くの研究に採用されるようになりました。この探査法によれば、通常地震探査法では検出不可能な「S波速度構造」が得られます。S波速

度構造は、「地震動災害軽減」に必須の「強震動予測」の研究、並びに土木・建築工学分野での構造設計等に必要不可欠な物理量です。平成4年、この微動探査法の開発研究に対して、日本物理探査学会賞が授与されました。

この微動探査法は、平成15年に米国物理探査学会（SEG）からgeophysical monograph series 12「The Microtremor Survey Method」として出版され、現在多くの国で地下構造探査の教科書として活用されています。

略 歴

生 年 月 日	昭和9年6月27日
昭和32年4月	北海道大学助手
昭和43年4月	北海道大学助教授
昭和51年11月	北海道大学教授
昭和52年9月	北海道大学理学部附属浦河地震観測所長 北海道大学理学部附属えりも地殻変動観測所長 北海道大学理学部附属札幌地震観測所長
昭和55年8月	北海道大学理学部附属地震予知観測地域センター長
昭和61年9月	北海道大学理学部附属浦河地震観測所長 北海道大学理学部附属えりも地殻変動観測所長 北海道大学理学部附属札幌地震観測所長
平成4年8月	北海道大学理学部附属地震予知観測地域センター長
平成4年4月	北海道大学評議員
平成5年5月	
平成4年9月	北海道大学理学部附属札幌地震観測所長
平成10年3月	

(理学院・理学研究院・理学部)



ふくだ ひろし
福田 博 氏

感 想

瑞宝中綬章の叙勲を賜り、誠に光栄に存じます。人生の基調を準備して頂いた故伊藤秀夫教授（東京医科歯科大学口腔外科学）、故

伊藤 隆教授（北大医学部解剖学）、富田喜内先生、河村正昭先生に深謝申し上げます。北大での38年間の勉強仲間、教職員の皆様にお礼申し上げます。また、多くの意欲ある学生諸君に遭遇できたことは何よりの宝です。

昭和40年3月に東京医科歯科大学歯学部を卒業。同年7月に伊藤秀夫教授から「北大に歯学部新設の予定がある。富田先生に付いて北大に行かないか」とお勧め頂き、8月から北大医学部病院で歯科診療に従事し、12月から伊藤 隆教授の下で唾液腺の研究も始めました。昭和42年6月に歯学部の創設。口腔外科学教室も新しい歯学教育を目指し、伝統の物作り教育に加え、口腔の生物学的側面を重視し、全身及び基礎医学知識に密着した臨床教育に努めました。

昭和56年11月から文部省在外研究員として、アラバマ州立大学分泌学研究所のC. A. Schneyer教授の下で唾液腺の生理学を学び、昭和57年3月からGlasgow大学のD. K.

Mason教授のOral Medicineで研修。昭和60年10月に口腔外科学第一講座教授を拝命しました。平成12年に大学院に移行した際、口腔診断・口腔内科学を開講しました。平成15年3月に定年退官。退官後は歯科衛生士学校で口腔内科学（文科省認可）と口腔外科学を昨年まで講義しました。

口腔内科学について：T. K. Thoma（1948年）が広義のOral Surgeryを（Operative）Oral Surgery（口腔外科学）とOral Medicine（口腔内科学、私の日本語訳）に区分しました。英国での歯科医療は口腔内科学的思考を基に、的確な診断に基づく計画治療と予防、口腔健康管理（登録医制）へと進みました。近年、我が国でも「口腔と全身」の認識が進み、口腔健康管理を重視し始めております。口腔内科学の欠落はわが国の歯科医学教育態勢の大きな欠陥です（小椋秀亮:日歯教誌2001）。口腔健康管理に携わる歯科医師及び歯科衛生士への口腔内科学教育を充実し、人生100年時代の健康管理の一助とすべきです。

基礎研究：マウス唾液腺の研究は、昭和42年7月に「マウス顎下腺の組織的研究」第1報を発表し、昭和49年3月に歯学博士（東京医科歯科大学）、「マウス顎下腺の計量組織学的研究—とくに、雌雄差について」になりました。

臨床研究：自動注入器で水溶性有機ヨード造影剤を定量持続注入しながら、経時的に観察します。慢性唾液腺炎の診断、拡大ステレオ撮影像で唾液腺腫瘍や傍唾液腺腫瘍の存在部位及び境界（圧迫性、破壊性）が詳細に観察できます。様々な唾液腺疾患症例を多数経験し、唾液腺疾患全般に関する「唾液腺造影法の実践」（富士書院、昭和61年）を刊行できました。

今後も、常に目標を持った生活が続けられたらと願っております。

功績等

福田 博氏は昭和40年8月30日に北海道大学医学部助手として任官され同42年6月に歯学部口腔外科学の助手に配置転換となり、北海道大学歯学部新設の準備に関与しました。その後、歯学部病院講師、助教授、教授、大学院教授として歯学部の創設期から平成15年3月の定年退官まで38年間にわたり歯科医学の教育・研究に取り組み、海外留学生を含む、多数の優れた研究者、臨床家を輩出しました。また、従来の日本の歯学教育が「物作り教育が中心で医学的思考が疎か」と言わざるを得ない状況下に、「口腔と全身及び基礎医学知識との関連（口腔内科学）」を学生に教育することの重要性を主張し、口腔内科学の普及に貢献されました。

同人は、特に唾液腺疾患に関する臨床及び基礎的研究に力を入れ、マウス顎下腺の生後発育を組織学的に観察し、顎下腺に性差があることを当時の最先端の計量組織学的手法を用いて明らかにしました。臨床においてはX線テレビ装置による監視下での連続的撮影法を行う新しい唾液腺造影方法や機能評価として唾液分泌機能検査法を確立し臨床応用しました。その結果、各種唾液腺疾患の唾液腺造影像所見に基づいた診断基準を確立するに至りました。中でも

唾液腺悪性腫瘍やシェーグレン症候群の唾液腺造影像の検討から早期診断を可能としました。同人はこのように多くの先駆的業績を挙げ、これらの研究は国内外を問わず、高い評価を得ています。

学内においては、平成8年8月から同10年7月まで及び同11年4月から同12年7月までの2期にわたり北海道大学評議員を務め、構内交通委員会委員長、国際交流委員会学術専門委員会委員、図書刊行会委員、学生部委員会委員、施設計画委員会将来計画委員、入学者選抜制度調査委員及び小委員会委員長、留学生委員を務めるなど、本学の管理運営に貢献しました。

学外においても、歯科医師試験委員、医療関係者審議会専門委員、厚生省研究班「HIV感染者の発症予防、治療に関する研究班」班員、大学基準協会委員として、歯学系専門審査分科会委員、相互評価委員会歯科系専門評価分科会委員を歴任したほか、歯科衛生士科、看護学科、本学医学部、山形大学医学部など多くの教育機関の講師を務め、若手医療人の育成に尽力されました。

以上のように、同人は学内外における学術振興、教育、歯科医療の発展及び大学の運営に多大な貢献をなし、その業績は高く評価されています。

略 歴

生 年 月 日	昭和14年7月11日
昭和40年8月	北海道大学医学部助手
昭和42年4月	北海道大学医学部附属病院助手
昭和42年6月	北海道大学歯学部助手
昭和47年4月	北海道大学歯学部附属病院講師
昭和49年7月	北海道大学歯学部助教授
昭和60年10月	北海道大学歯学部教授
平成12年4月	北海道大学大学院歯学研究科教授
平成15年3月	北海道大学定年退職
平成15年4月	北海道大学名誉教授

（歯学院・歯学研究院・歯学部）



たかぎ まゆみ
高木 眞弓 氏

感 想

この度、叙勲の栄誉を賜り身に余る光栄と感激いたしております。これもひとえに多くの皆様のご指導ご支援の賜物と心から感謝し、御礼申し上げます。

私は、昭和54年4月北海道大学病院に就職して以来、平成30年3月の定年退職まで39年間勤務させていただきました。

最初の配属は、精神・神経科病棟でした。主な疾患は、当時分裂病と言われた統合失調症、躁鬱病、てんかん、小脳失調症などの難病や拒食症などで、精神疾患患者さんを

理解する基本姿勢を学ぶ機会となりました。当時、井上弘子看護婦長から文庫本「開かれた病棟」を紹介されました。閉鎖病棟の患者さんの院外レクリエーションは、当時は画期的なことで、医師、看護婦、心理療法士での話し合いの上で実現しました。この経験は、長期間閉鎖病棟で過ごす分裂病患者の看護を考えるきっかけとなりました。

その後、第一外科を経て、平成元年4月登別分院で副看護婦長となり、精神・神経科、脳神経外科・神経内科で勤務しました。分院では、糖尿病外来通院患者の三大合併症実態調査結果を基に糖尿病教室を開催し、地形を活用したハイキングや登山を患者と実体験することで、看護実践者として運動療法の効果について大きな学びを得ました。平成8年アムステルダム国際脳外科看護学会では、各国が抱えている医療費高騰の課題や、患者の意思決定への支援の必要性、医療施設から在宅医療への移行が促進される状況の中で、求められる看護職を実感しました。

平成9年4月循環器内科で看護婦長となり、中央診療検査ナースセンター、泌尿器科、精神・神経科に勤務しました。中央診療検査ナースセンターでは、新たな医療事務者配置や物流管理センターへの業務委譲により看護業務を改善し、また看護師の内視鏡技士資格と透析技士資格取得者を育成し安全性の向上を図りました。

最後に勤務した精神・神経科では、認知症看護認定看護師とリエゾン専門看護師を育成し、精神科看護の発展につなげました。

私は有珠山噴火救援活動と東日本大震災救援活動にも参加し、チームの団結力と自己完結型の意識で任務遂行する北大病院職員の誇りを感じました。

北海道大学病院での39年間の看護師生活を振り返ると、諸先輩・同僚・後輩・他職種など様々な方々にご指導・ご支援いただいたこと、そして多くの患者・ご家族の皆さまから学びを得たことは、感謝しても尽きません。

今後はこの荣誉に恥じる事が無いよう過ごしてまいりたいと思います。

最後になりましたが、北海道大学、北海道大学病院、看護部の発展をご祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。

功績等

高木眞弓氏は、昭和32年7月9日に北海道中川郡美深町に生まれ、同54年3月に北海道立旭川高等看護学院を卒業、同年4月北海道大学医学部附属病院に採用され、平成元年副看護婦長、同9年看護婦長を歴任、同30年3月に北海道大学病院を定年にて退職されました。

同氏は当初、精神・神経科病棟、第一外科病棟で勤務され、副看護婦長昇任後は、登別分院、精神・神経科病棟、脳神経外科・神経内科病棟で勤務されました。この間、看護研究に積極的に取り組み、平成8年国際脳外科看護学会（アムステルダム）では「A trail of homecare nursing for a terminally patient with brain tumor」を発表されました。また、学士（経済学）を取得、医療経済学の知識を得て看護管理に活かされました。

その後看護婦長に昇任、循環器内科病棟では、病棟薬剤師とチーム医療の実践に取り組み、平成9年日本心臓病学会では「循環器領域における在宅医療の在り方を考える－重症弁膜症患者に対する在宅看護の経験から－」を発表されました。

中央診療検査ナースセンターでは、医師・看護師に加え、放射線技師、臨床工学技士などとのチーム医療を推進し、安心、安全な検査部門の運営に努められました。さらに、看護師の造影剤静脈注射について、教育プログラムを医師と共に作成、実施し、安全性を保った検査の実施に貢献されました。

泌尿器科病棟では、がん患者や腎移植を受ける患者などの苦痛の軽減、療養生活支援に取り組み、平成21年日本看護研究学会では「献腎移植術を受けた患者の苦痛軽減の看護」を発表されました。

精神・神経科病棟では、認知行動療法を取り入れた患者とのコミュニケーション向上、てんかんセンターの設置などチーム医療の推進と精神科看護の質向上に尽力されました。また、認知症看護認定看護師の育成や、認知症看護実践能力向上研修の企画・運営に尽力され、認知症看護の底上げに貢献されました。平成28年には認定看護管理者サードレベル研修を受講し、翌年認定看護管理者に認定されました。

同氏は、社会貢献活動も積極的に行い、平成12年の有珠山噴火救援活動、同25年の東日本大震災救援活動に参加し、その体験を本学大学院保健科学研究院「災害看護論」で講義されました。また北海道看護協会では、社会経済福祉委員、推薦委員等を務めました。

以上のように同氏は、39年の永きに亘り看護管理、継続教育を主として看護の質向上に尽力され、その功績は誠に顕著であります。

略 歴

生 年 月 日	昭和32年7月9日
昭和54年4月	北海道大学医学部附属病院看護部
平成元年4月	北海道大学医学部附属病院登別分院副看護婦長
平成4年4月	北海道大学医学部附属病院看護部副看護婦長
平成9年4月	北海道大学医学部附属病院看護部看護婦長
平成15年10月	北海道大学医学部・歯学部附属病院看護部看護師長
平成16年4月	北海道大学病院看護部看護師長
平成30年3月	北海道大学定年退職

（北海道大学病院）

文部科学省「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」に採択

【概要】

本学は、文部科学省「国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）」に採択されました。なお、事業期間は最大3年間です。

国立大学経営改革促進事業は、国立大学の経営改革の実装を実現・加速し、国立大学のモデルとなり得る意欲的で先進的な取組に対する支援を行うものです。

令和元年度は、20大学から17件の申請があり、6件が採択されました。

【申請内容】

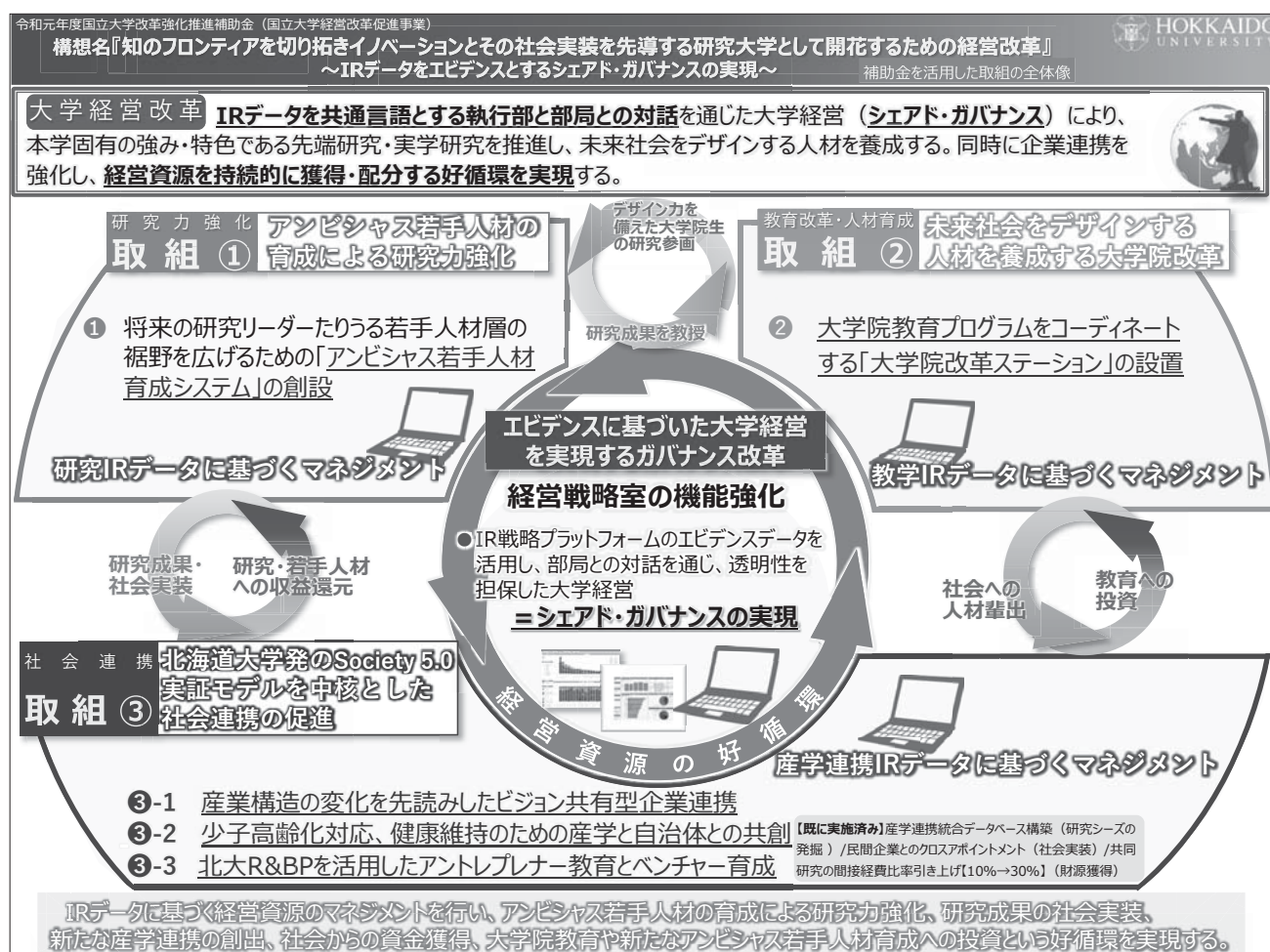
- 世界最高水準の教育研究の展開が見込まれる国立大学法人
- ・構想名：知のフロンティアを切り拓きイノベーションとその社会実装を先導する研究大学として開花するための経営改革
～IRデータをエビデンスとするシェアード・ガバナンスの実現～
- ・構想概要：IRデータを共通言語とする執行部と部局との対話を通じた大学経営（シェアード・ガバナンス）により、本学固有の強み・

特色である先端研究・実学研究を推進し、未来社会をデザインする人材を養成する。同時に企業連携を強化し、経営資源を持続的に獲得・配分する好循環を実現する。

【参考】

文部科学省ウェブサイト「令和元年度 国立大学改革強化推進補助金」
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/1418294.htm

（総務企画部企画課）



「北海道大学進学相談会」を大阪で開催

本学主催の「北海道大学進学相談会」を、10月6日（日）に大阪で開催しました。

会場では笠原正典総長職務代理、長谷川晃理事・副学長をはじめ、各学部やアドミッションセンターの教職員、在学生等、合わせて70名以上が高校生等やその保護者への説明・相談に当たりました。

当日は、笠原総長職務代理から挨拶及び本学の概要説明があり、続いて長

谷川理事・副学長が本学における教育の魅力について説明を行いました。その後は藤田 修アドミッションセンター副センター長による総合入試についての説明、山口淳二副学長（新渡戸カレッジ副校長）による新渡戸カレッジの説明、各学部教員による学部紹介等を行いました。また、それと並行して、全12学部のブースや、在学生との対話コーナー等において、参加者との個別相談対応を行いました。

大阪会場では、772名の高校生・保護者等にお越しいただきました。8月24日（土）に開催した東京会場での来場者数1,483名と合わせると、2会場で2,255名となり、今年度は両会場とともに過去最多の来場者数を記録しました。

（アドミッションセンター）



笠原総長職務代理による概要説明



長谷川理事・副学長による説明



満席の講演会場



副学長と話そうコーナー



学部相談ブース



北大生と話そうコーナー

笠原総長職務代理が第5回日本・インドネシア学長会議に出席



集合写真

10月10日（木）及び11日（金），広島市において，広島大学を幹事として，第5回日本・インドネシア学長会議が開催され，笠原正典総長職務代理が出席しました。当日は，日本側から32大学，インドネシア側から37大学の学長や副学長等，さらに両国政府関係者をあわせ，約150名が参加しました。

日本・インドネシア学長会議は，2012年に名古屋大学で第1回会議が開催されて以来，隔年で開催されており，両国を代表する大学の学長が一堂に会し，大学における教育研究の在り方についての議論を行う場となってい

ます。

第5回となる今年は，SDGs（持続可能な開発目標）の達成と平和な社会の実現に資するべく「Collaboration in Research and Education for Sustainable and Peaceful Society」をテーマに，両国の大学が今後の方策等について協議しました。越智光夫広島大学学長による開会挨拶の後，福田康夫元内閣総理大臣による基調講演が行われ，続いて「持続可能な開発」を主軸においた3つのテーマに沿って分科会が行われました。両国の30名以上の学長・副学長等から各大学の特色ある

取り組み事例が紹介され，活発な議論が行われました。

閉会式では，高等教育機関として，持続可能な発展を導く研究を深化させることの重要性を確認し，SDGsの達成と平和な社会の実現に向けて，今後とも協力して取り組んでいくことを宣言した共同声明が採択されました。

次回は，2年後の2021年にインドネシア側の主催により開催される予定です。

（国際部国際連携課）

長谷川理事・副学長が南開大学創立100周年式典・世界大学学長フォーラムに出席

10月16日（水）及び17日（木）、長谷川晃理事・副学長が中国・天津市で行われた南開大学創立100周年式典・世界大学学長フォーラムに出席しました。

南開大学は、中国で最も長い歴史を誇る名門大学の一つであり、1993年には中国初の医学部を有する総合大学となり、現在は約30,000人の学生が在籍しています。本学と南開大学は2006年5月に学術交流に関する協定及び学生交流に関する覚書を締結して以降、南開大学と継続的に教育研究交流を推進しており、北大交流デーの開催、日本語教授法の指導や幹部の定期的な相互訪問等に加え、サマーインスティテュートを中心に積極的な学生交流を行っています。

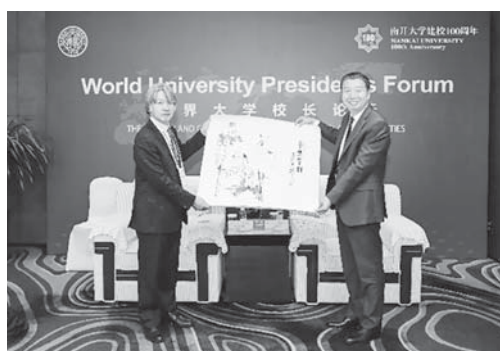
います。

世界大学学長フォーラムには、日本から本学、九州大学、立命館大学等5校の出席に加え、北京大学、韓国高麗大学、英国Oxford大学等、各国45機関以上の代表が出席しました。Xuetao Cao南開大学学長、Phil Baty Times Higher Educationチーフナレッジオフィサー、Anton Muscatelliグラスゴー大学長による基調講演に続き、各国の大学代表者によるパネルディスカッションが行われました。長谷川理事・副学長は「What is the Mission for World-Class Universities?（世界レベルの大学の責務について）」をテーマとしたパネルディスカッションに出席し、他のパネリスト達と、質の高い研究を社

会に適切に紹介・還元すること、スタッフも含めて高い国際性を持つことなどのグローバル大学の要件、使命について活発な議論を交わしました。一方、南開大学創立100周年式典には、中国教育部、中国科学院の代表者、天津市長をはじめ、各国大学長や来賓等関係者数千人が出席しました。長谷川理事・副学長は本学を代表して、これまでの協力と尽力への感謝を込めて、南開大学学長及び副学長にお祝いの意を伝えました。

今回の訪問を契機に、南開大学との交流がより一層前進することが期待されます。

（国際部国際連携課）



Lei Wang南開大学副学長（右）と記念撮影



世界学長フォーラムでのパネルディスカッション（右端が長谷川理事・副学長）



南開大学100周年記念式典

電子科学研究所が Academic Fantasia 2019で高校生に向けた講義を実施

本学では、平成24年度から「国民と科学・技術対話」推進に関する研究支援事業、通称「Academic Fantasia（アカデミックファンタジスタ）」を実施しています。9月28日（土）、本学に藤女子高等学校の生徒さんを迎え、電子科学研究所の根本知己教授（当時）による講義を実施しました。

根本教授は、生命現象の謎を解明するため、レーザー技術を駆使して高性能な顕微鏡を開発しています。「美しい画像を楽しむことができるのもこの研究分野の醍醐味」と話します。講義では、マウスの脳の神経細胞やがん細胞などを生きたまま撮影した映像を披露し、高校生たちを驚かせました。

続いて、堤 元佐特任助教から「ス

マホ顕微鏡」について解説があった後、高校生たちは自身のスマートフォンに顕微鏡を装着し、植物の花粉などを観察しました。肉眼では見られない世界が画面に映し出されると多くの歓声があがりました。

最後に、全国の研究者に最新の生物顕微鏡を利用できる環境を提供しているニコンイメージングセンターにて、イメージング解析グループの小林健太郎主任の案内のもと、蛍光顕微鏡で細胞内のミトコンドリアを観察しました。

今回参加した高校生はサイエンスの発展に欠かせない顕微鏡技術の最先端に触れ、刺激を受けたようです。将来、研究者としてニコンイメージング

センターでの研究にかかわる可能性もあるかもしれません。

Facebookでも講義レポートを随時掲載しています。ぜひご覧ください。

◆@Hokkaido.univ.taiwa

◆<https://www.facebook.com/Hokkaido.univ.taiwa/>

*10月から大学共同利用機関法人 自然科学研究機構に転出した根本教授にとって、本講義が本学での最後の講義となりました。看板授業のひとつとして、毎年当事業にご尽力くださった根本教授の、一層のご活躍をお祈りいたします。

（総務企画部広報課）

講義タイトル：脳の不思議、心の謎

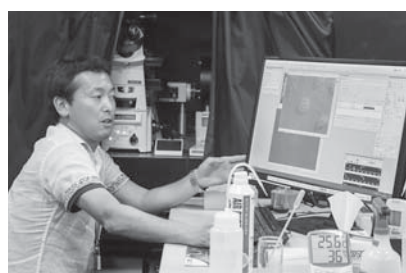
- ・ 日 時：令和元年 9月28日（土）13：30-15：30
- ・ 会 場：北海道大学電子科学研究所、ニコンイメージングセンター
- ・ 参加者：藤女子高等学校1年生8名、2年生6名 計14名
- ・ 講 師：電子科学研究所 根本知己教授（当時）



人の脳と人工知能の違いについて説明する根本教授



スマホ顕微鏡について解説する堤特任助教



蛍光顕微鏡について解説する小林主任



スマートフォンが顕微鏡に

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を發揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報

基金累計額（10月31日現在）

25,257件 4,967,311,108円

10月のご寄附状況

法人等30社、個人158名の方々から17,621,848円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいているの方々のご芳名、銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

医療法人社団小川会 アスティ歯科クリニック、医療法人社団井筒歯科医院、浦本歯科クリニック、有限会社エスパシオ、太田歯科医院、小野百合内科クリニック、北空知信用金庫、株式会社木村工務店、医療法人徳洲会 共愛会病院、協和キリン株式会社、医療法人社団朗立会 栄町ウェル歯科クリニック、一般財団法人札幌陸上競技協会、株式会社須田電気工事、医療法人社団仁和会 竹内歯科クリニック、医療法人社団康久会 中島産婦人科医院、ニューオータニイン札幌、医療法人社団箱木歯科、医療法人春林会 華岡青洲記念病院、北大全学教育基礎科目教科書『地球惑星科学入門』著者一同、前澤工業株式会社、マルホ株式会社、医療法人社団さくら会 ゆき小児歯科・歯科口腔外科

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	秋田谷 公子	秋田谷 徹	阿部 和厚	安藤 孝夫	石井 翼	石井 哲夫	石井 信行
磯田 弘	市島 晴司	伊藤 光生	井原 博	入澤 秀次	岩本 聖史	植村 敬一	江端 正祐
緑記 和也	大場 雄介	大原 正範	大森 哲郎	奥田 英信	奥村 研介	奥村 亮子	小田原一史
小内 透	折内久美子	金井 義明	金川 眞行	河本 充司	川本 和浩	北野 明宣	合田 成美
後閑 優	後藤 泰	小長井奎幸	近藤 信雄	斉藤 久	齋藤文志郎	斎藤瑠衣子	坂本 大介
佐々木亮子	定光 秀弥	鮫島 正純	三升畑元基	志済 聡子	信太 知	杉江 和男	鈴木 貴之
鈴木 充	瀬戸口 剛	瀬名波栄潤	高野 昌士	竹下 忠彦	田尻 稲雄	田中 貞之	谷口 直之
辻 京美	土家 琢磨	土屋 裕	坪井 由実	寺澤 睦	遠山 晴一	戸田 純子	豊田 威信
鳥山まどか	内藤 有恒	長島 健一	長瀬 清	永田 勝	中塚 英俊	中司 展人	中埜渡丈嘉
中村 研	中村 博行	西田 実弘	沼田 哲男	橋本 博行	長谷川 守	樋口 恵一	桧沢 仁宏
平井 康道	廣瀬 直人	廣田 綾美	福永 悟郎	藤澤 裕子	藤田 光	藤本 泰幸	布施 功馬
前田 博	牧野 憲一	政氏 伸夫	増山 邦彦	松家 治道	松田 健一	松原 謙一	三崎 ゆり
三田志津雄	皆川 一志	宮崎 隆志	宮田 信幸	宮本健太郎	三好 秀明	村尾 博司	村上 忠功
村上 幸夫	茂古沼 誠	八重樫幸一	山口 一史	山崎 裕	山下 徹郎	横井 成尚	横山 清
横山 考	吉田 広志	米山 潤一	渡邊 光明	渡辺 康了	渡邊 律子		

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（法 人）

有限会社エスパシオ，協和キリン株式会社，医療法人徳洲会 共愛会病院，医療法人社団康久会 中島産婦人科医院，医療法人春林会 華岡青洲記念病院，前澤工業株式会社，マルホ株式会社

（個 人）

大場 雄介，大森 哲郎，折内久美子，合田 成美，信太 知，遠山 晴一，中埜渡丈嘉，平井 康道，三田志津雄，三好 秀明

感謝状の贈呈



医療法人社団健心会 桑園病院 様
（令和元年10月16日）



北海道大学関西同窓会 様
（令和元年10月26日）



株式会社ジェイマックスシステム 様
（令和元年10月29日）

ご寄附のお申し込み方法

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスして下さい。

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html>

①給与からの引き落とし

ホームページから「北大フロンティア基金申込書（兼・給与口座からの引落依頼書）」をダウンロードし，ご記入の上，基金事務室に提出してください。

②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて，基金事務室にご持参ください。

申込書は，ホームページから「北大フロンティア基金申込書（教職員現金用）」をダウンロードしてご記入いただくか，基金事務室にもご用意していますので，基金事務室にお越しただいてからご記入いただくことも可能です。

④クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ

（<https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi>）の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）

（総務企画部広報課）

第2回及び第3回情報セキュリティセミナーを開催

情報環境推進本部では、10月4日（金）にフロンティア応用科学研究棟で、情報セキュリティ管理者を対象とした今年度第2回目の「北海道大学情報セキュリティセミナー」を開催しました。また、第3回目のセミナーとして、獣医学研究院講義棟講堂にて、昨年に続き教職員・学生及び獣医学研究院教職員を対象とした同セミナー兼獣医学部FD研修を、獣医学研究院と共催しました。

第2回セミナーは、情報セキュリティ分野で数多く講演をされている日本電気株式会社サイバーセキュリティ戦略本部セキュリティ技術センターの淵上真一センター長を講師に迎え、「今押さえておくべきリスクとセキュ

リティ」をテーマとする講演を行いました。最近のサイバー攻撃の脅威動向等に関する説明や最近注目されているキャッシュレス決済についての事例紹介もあり、受講者からは、平易な表現で理解しやすかったとの声が寄せられました。

第3回セミナーは2人の講師を迎え、前半は前述の淵上氏が、「無関心でも無関係ではないセキュリティ」を、また後半は、製品企画等から情報セキュリティまで幅広い経験を有するSPREAD情報セキュリティサポーターの簀内祥司氏が、「今だからこそ知っておきたいネットワーク利用犯罪とその対策」をテーマとする講演を行いました。どちらの講演も、偽ショッ

ピングサイト等、多くの被害が報道されている事例を取り上げ、受講者からはわかり易く、他の事例についてももっと聞きたい等の声が寄せられ、好評を得ました。

昨今、インターネットを利用する頻度がますます高くなり、手口も巧妙化しているため、最新動向を把握する必要性からも、情報環境推進本部では、本学構成員の情報セキュリティに対する意識向上を目指し、今後もセミナーの開催や研修会の実施等、情報セキュリティの支援に取り組んでいきます。

（情報環境推進本部）



第2回セミナー（管理者向け）淵上氏講演の様子



第3回セミナー（教職員・学生向け）淵上氏講演の様子



第3回セミナー（教職員・学生向け）簀内氏講演の様子

新入留学生オリエンテーションを実施

本年10月に入学する外国人留学生を対象として、新入留学生オリエンテーションを9月30日（月）に実施しました。

このオリエンテーションは、留学生が一日も早く北海道大学での学生生活に慣れ、戸惑いや不安を解消し、新しい環境へ適応してもらうことを目的としています。オリエンテーションは英語セッション、日本語セッションの2部構成で進められ、52の国と地域から渡日した合計532名の新入留学生が参加しました。

オリエンテーションでは、ラフェイ・ミシェル・ケイ総長補佐の挨拶に

つづき、留学生相談室の石井治恵カウンセラーから日本の学生生活で適応するためのヒントについての講演を行いました。続いて先輩留学生から、大学内外で必要な手続きや生活上の注意点を伝え、学生支援課から災害への備えや事故への対処法等、警察から日本の交通ルールやサイバーセキュリティについての説明を行いました。また、新渡戸カレッジ、情報セキュリティ、北図書館及び保健センターの紹介に加え、人材育成本部の飯田良親客員教授から卒業後の進路を見据えた学生生活を送ることについて講演があり、参加者は聞き入っていました。

オリエンテーション終了後は留学生サポート・デスクのスタッフが希望者に対し日本語・英語・中国語の3言語でキャンパスツアーを実施し、参加者はこれから過ごすキャンパスについて説明を受けました。また会場前のホワイエには留学生及び外国人支援を行っている様々な団体の活動紹介ブース及び防災情報に関するコーナーが設けられ、新入留学生が各団体担当者へ熱心に質問をする姿が見られました。

（学務部学生支援課）



52の国と地域から新しく渡日した留学生が熱心に聞き入っている様子



国際交流関連団体の紹介ブースやゴミ分別方法・防災グッズ紹介コーナーで有益な情報を得る留学生



キャンパスツアーで留学生サポートデスクスタッフから構内の説明を受ける新入留学生たち

秋のガレージセールを開催

10月9日（水）、学生交流ステーションロビー及び学生活動室において、秋のガレージセールを開催しました。これは、本学の教職員の妻と女性教職員で構成されている北海道大学国

際婦人交流会が春と秋の年2回行っているもので、留学生と外国人研究者に対して日常生活に必要な物資を提供しているものです。

当日は曇り空でしたが、約200名も

の来場があり、来場者は開場とともに小型家電製品、食器や調理器具などの日用品、自転車やスーツケース、衣料や寝具及び日本人形などのコーナーに詰めかけ、多くの留学生が手に大きな



冬服を選ぶ留学生たち



暖房機を購入した留学生



にぎわう食器コーナーの様子

荷物を抱えるなど、賑わいを見せていました。

毎年4月と10月の開催前には学内に
向けて物品提供依頼をしています。皆

様のご協力をお願いいたします。

(学務部学生支援課)



布団を選ぶ留学生たち

留学生と札幌市民で行く防災バスツアーを実施

学務部学生支援課では、札幌国際プラザと共同で、10月20日（日）に留学生と札幌在住の外国人を含む市民と一緒に防災について考えるバスツアーを実施しました。13名の本学留学生を含む24名の参加者が、札幌市白石区にある札幌市民防災センターを訪れ、模擬消火器を使って鍋から出た火を消す訓練や、風速30m/sの暴風体験、火事により煙が充満した部屋から逃げる訓練などを行いました。それぞれの参加者はリアルなシミュレーターに驚きなが

ら、真剣に、災害時に自分の身を守る方法を学んでいました。その後は、消防隊員による火災時の救助訓練を見学し、胸骨圧迫やAEDを用いた心肺蘇生方法を学びました。さらに希望者は屈折消防車に搭乗し、高さ25メートルのアームを体験しました。昼食後は、札幌国際交流館（リフレサポロ）に移動し、防災士から地震や洪水に関する対策の説明をうけ、ハザードマップの見方を学んだ後、自宅から近い避難場所を確認したり、震災時の簡易トイ

レの作成方法を学びました。

終了後は、札幌市を一望できる旭山記念公園へ行き、紅葉を楽しみながら散策し、記念撮影を行いました。

防災についての知識のみでなく、札幌市民との交流を通して日本での生活のヒントを得ることもできたようです。

(学務部学生支援課)



消火訓練の様子



心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ様子



屈折消防車に搭乗体験する留学生



地震や洪水の災害対策をワークショップで学ぶ様子



旭山記念公園で記念撮影

『大学生ものづくりビジネスアイデア「プレゼンテーション」』において、本学学生2グループが成果発表

10月21日（月）、ニューオータニイン札幌にて、『大学生ものづくりビジネスアイデア「プレゼンテーション」』（主催：札幌商工会議所他）が開催されました。

このイベントは、道内で学ぶ優秀な理系・技術系大学生の道内定着と、学生のビジネスアイデアによる北海道

の活性化を目的とした、『道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」』の取り組みの一環として実施され、道内6大学・17のグループがエントリーしました。

本学からは生命科学院・環境科学院及び農学院所属の学生から成る2グループが参加し、道内企業に向けてプ

レゼンテーションを行いました。

結果発表では、全グループ中トップとなる8件の企業からの面談申込があり、本学学生の研究の質の高さを産業界へアピール出来たイベントとなりました。

（研究推進部産学連携課）

■本学学生の発表アイデア一覧

①発表者：生命科学研究院・環境科学院（4名）

テーマ：「誰でも・手軽に・再現よく骨の状態をモニターする紙デバイス測定法の開発」

②発表者：農学院（4名）

テーマ：「目で見てわかる温度の変化:農畜水産物の生産流通における積算温度インジケータの活用」



プレゼンテーションの様子



結果発表の様子

国際連携研究教育局（GI-CoRE）食水土資源グローバルステーションが外部評価を実施

国際連携研究教育局（GI-CoRE）*では、グローバルステーション（GS）ごとに、設置から5年以内に自己点検及び外部評価を実施することとしています。外部評価は、日本人1名と外国人2名の計3名の学外有識者からなる外部評価委員会に委ねています。

食水土資源GSは、今年度が設置5年目であることから、自己点検評価を実施するとともに、外部評価委員が、同GSの活動視察・調査、教員へのヒアリングや施設見学、授業見学等を含む実地調査を実施、外部評価の結果として、総合評価の5段階評価基準において2番目の高評価である「非常に優れている（A）」の評価を獲得しました。

本学事務局において10月25日（金）に開催した外部評価報告書提出セレモニーには、食水土資源GS外部評価委員会を代表し、奥野員敏外部評価委員長（元筑波大学教授）が出席し、笠原正典総長職務代理（GI-CoRE局長職務代理）に評価報告書を提出しました。笠原総長職務代理からは、外部評価委員会の多大なる尽力と貴重な意見に感

謝する旨、謝辞が述べられました。

同セレモニーの後、同委員長にはGI-CoRE運営委員会に出席いただき、外部評価委員会が専門的見地からまとめた報告書に関する説明と、今後の活動に向けた包括的な提言をいただきました。

食水土資源GSは、今回の外部評価結果並びに評価委員から頂戴した意見を踏まえ、本GI-CoREにおける先進的な取組をさらに進展させ、今後の国際連携研究・教育の継承と発展、研究の一層の展開に向け、活動を続けていく予定です。

*国際連携研究教育局（GI-CoRE）

本学の強みや特色を活かした国際連携研究・教育の推進と部局が独自に進める国際連携研究・教育の支援を目的として、世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集した総長直轄の教員組織。平成26年度の開設以降、現在までに、量子医理工学（H26開設）、人獣共通感染症（同）、食水土資源（H27開設）、ソフトマター（H28開設）、ビッグデータ・サイバーセキュリティ（同）、北極域研究（同）の6つのグローバルステーション（研究拠点）が設置され、それぞれの分野で国際連携研究・教育を推進している。

（国際連携研究教育局）



奥野委員長（右）から報告書を受け取る笠原総長職務代理（左）



セレモニー出席者による記念撮影（左から笠原総長職務代理、奥野委員長、井上食水土資源GS長）

「WinGS Global Networking Award 2019」の受賞者を表彰

WinGS (Women in Global Science) Global Networking Awardは、本学が文部科学省「研究大学強化促進事業」の支援対象機関となったことを受け、人材育成本部女性研究者支援室が2014年度から実施しており、優秀な女性教員（准教授以下、特任教員を含む）を表彰し、副賞として国際学会への参加など国際的ネットワーク形成を促進するための費用を補助するものです。

今年度も9名の応募があり、審査の結果、公共政策大学院のHyunjoo Naomi Chi講師、医学研究院のOlga Amengual助教が受賞しました。

受賞されたお二人には、女性研究者支援室室長の矢野理香教授より、表彰

状が手渡されました。

女性研究者支援室では、本学の研究環境の一層の充実に向けてさらなる取組を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

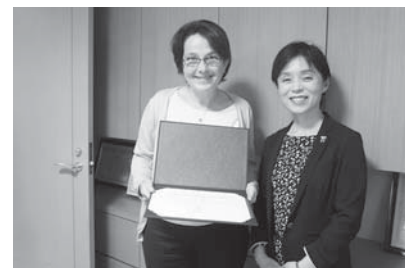


Hyunjoo Naomi Chi講師

女性研究者支援室の活動についてご興味のある方は、こちらのホームページをご覧ください。

◆<https://freshu.ist.hokudai.ac.jp/>

(人材育成本部)



Olga Amengual助教

衛生管理者連絡会を開催

10月2日（水）、事務局大会議室において、日頃から部局での安全衛生業務に従事している衛生管理者等の教職員を対象として、衛生管理者連絡会を開催しました。

川上貴教安全衛生本部教授からは、最近の安全衛生本部の活動報告や、大学に関係する事故事例やトピックス、各部局の衛生管理者の役割等についての説明がありました。また、久保直樹安全衛生本部特任准教授から、今年3月に全面改定した「安全の手引」の改訂のコンセプトの説明や、パワーポイント版教材の使い方等についての紹介がありました。さらに、平井克美安全衛生本部特定専門職から、安全衛生本部衛生管理者による職場巡視で指摘し

ている具体的な内容及び部局ごとの件数等の報告がありました。

これらの話題提供の後には、各部局からの参加者全員から、自己紹介と現在担当している業務、及びそこで困っていること、安全衛生本部への要望などについて話され、種々出された意見をもとに活発な意見交換が行われまし

た。

本連絡会は、衛生管理者を始め、安全衛生業務に携わっている方々の業務に役立てていただくため、次年度以降も定期的に開催する予定です。

(安全衛生本部)



連絡会の様子



「安全の手引」について説明する久保特任准教授

博士人材と企業の情報交換会 第39回「赤い糸会&緑の会」を開催

人材育成本部のS-cubicでは、9月19日（木）に学術交流会館にて本年度第1回（通算第39回）「赤い糸会&緑の会」を開催しました。

本会は、企業と若手研究者（DC、PD）の直接の情報交換会であり、企業には若手研究者の高い専門性や総合力を理解いただき、若手研究者には企業の研究開発活動や企業における博士人材の活躍状況等を知ってもらうことで、相互理解を深め、視野の複線化、活躍フィールドの拡大を図ることを目的としています。

今回で「赤い糸会&緑の会」は通算39回目の開催となり、若手研究者の参加も回を重ねるにつれ増加しています。今回は12部局からDC42名が参加、また、平成26年度末に採択された科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業で、他大学から若手研究者7名（東北大学3名、立命館大学1名、兵庫県立大学1名、沖縄科学技術大学院大学2名）も参加しました。企業から

は、総勢46名（各種業界17社37名、オプザーバ大学5校9名）に参加いただきました。

本会では、冒頭の人材育成本部部長の笠原正典理事・副学長による開会挨拶、赤い糸会担当の吉原拓也特任教授による趣旨説明の後、参加企業の皆様から業界動向や博士の活躍状況等の紹介が行われ、その後、若手研究者の自己紹介ポスター発表、企業ブースを訪問しての個別情報交換等が活発に行われました。

開催後の企業側のコメントからも、「研究熱心な博士人材との出会いの場になった。2019年卒の採用活動では赤い糸会でお会いした学生が入社となったなど、つながりが出来ている。今後とも参加させていただきたい」「例年より学生のプレゼン力（専門の説明や自己PR力、相手の知りたいことを読み取って伝える）が向上していた。博士学生の魅力を感じた」との声をいただきました。また参加した若手研究者か

らは、「将来のキャリアを考えるうえでとても参考になった」「面白い意見や、異なる価値観の意見があり、大変有用だった」といった嬉しい声も聞かれました。

人材育成本部では上記の活動に加えて、企業事業所視察、Advanced COSA、J-window、キャリアパス多様化支援セミナー、キャリアマネジメントセミナー、企業での長期インターンシップ等を通して、これまで以上に若手研究者の実践力を高めることへ注力して参ります。また、コンソーシアム結成により、東北大学や名古屋大学等が運営している、より多くの洗練されたプログラムも博士達に活用されておりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、興味のある方は人材育成本部のホームページを是非ご覧ください。

◆<http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp>

（人材育成本部）



笠原人材育成本部部長の開会挨拶



吉原人材育成本部特任教授の趣旨説明



企業からの業界動向説明



説明に聞き入る若手研究者



若手研究者のポスター発表



企業との個別情報交換

札幌国際プラザと「米国ポートランドを知るセミナー」を共催

10月26日（土）、札幌市と米国オレゴン州ポートランド市の姉妹都市提携60周年記念事業に関連して、札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念「米国ポートランドを知るセミナー～わたしの街、わたしの暮らし」を、公益財団法人札幌国際プラザ主催、本学と札幌市の共催にて、本学学術交流会館で開催しました。

本学は昭和47年にポートランド州立大学と協定校関係を結び、以来長きにわたる交流を続けてきました。令和元年6月1日には、同大学内に、平成29年に横浜国立大学が同学に開所していたオフィスを利用する形式で「北海道大学北米ポートランドオフィス」を開所しました。6月に実施したポートランドでの同オフィス開所式には、

札幌市から姉妹都市記念事業訪問団が参列しましたが、本セミナーには、テッド・ウィーラーポートランド市長を含む、ポートランド市の訪問団を迎えました。若い世代からの講演として、本学理学部生物学科の盛藤 舞さんら2名の大学生が自身のポートランドへの留学経験を発表しました。また、「街の人々が活躍するから楽しい、住みやすい!」と題したパネルディスカッションでは、本学北米ポートランドオフィス所長の川野辺創国際連携機構副機構長・教授が登壇しました。

本学からの登壇者のほか、ポートランド市開発局で事業開発オフィサーを務めた山崎満広氏、北海道教育大学学生で海外における日本語アシスタント

教師インターンシッププログラムに参加した佐々木珠希さん、ポートランド在住40年を超えるグールド洋子ポートランド・札幌姉妹都市協会理事や、本学工学部出身で札幌ポートランド姉妹都市提携60周年記念ビールプロジェクトの発起人である大阪匡史氏、ポートランド市での警察官経験もある在札幌米国総領事館のロバート・ピケット総務・経済・領事担当領事等が参加し、様々な視点からポートランド、そして札幌の今後の交流を展望する会となりました。本セミナーは、長谷川晃理事・副学長の閉会挨拶をもって、約150名の聴衆を前に、盛況のうちに終了しました。

（国際部国際連携課）



理学部盛藤さんの発表



パネルディスカッションの様子



長谷川理事・副学長の閉会挨拶



セミナー風景

■ 部局ニュース

医学部が創立100周年記念事業を挙

医学部は2019年4月に創立100周年を迎えたことを記念し、「医学部百年記念館落成式」、「医学部創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会」を挙

(医学部)

医学部百年記念館落成式を挙

医学部の北側に建築中だった「医学部百年記念館」が、令和元年9月に無事竣工となりました。これを記念して、10月8日(火)に落成式を挙

行いました。最後に、笠原総長職務代理、吉岡医学部長、秋田病院長、浅香同窓会長、齋藤和雄医学部創立100周年記念事業後援会副会長、吉木 敬同後援会副会長によりテープカットが行

のうちに終了しました。

本記念館は工学研究院の教員及び学生のデザインにより、周辺建物等の環境との調和を図りつつも、重厚感がある建築となっています。今後は医学研究・教育に関する各種活動や、同窓生の交流の場としての活用が期待されています。



式辞を述べる吉岡医学部長



祝辞を述べる笠原総長職務代理



祝辞を述べる秋田病院長



祝辞を述べる浅香同窓会長



建築説明を行う小澤教授



落成式でテープカットを行う笠原総長職務代理ら

医学部創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会を挙行政

10月12日（土）に京王プラザホテル札幌において、医学部創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会を挙行政し、医学部同窓生、関係教職員等約200名が出席する中、医学部創立100周年が祝われました。

記念式典は、北海道大学交響楽団によるファンファーレの歓迎演奏で始まり、吉岡充弘医学部長からの式辞に続き、笠原正典総長職務代理、浅香正博医学部同窓会長・北海道大学医学部創立100周年記念事業後援会長の挨拶の

後、丸山 浩文部科学省高等教育局医学教育課長、鈴木直道北海道知事、秋

元克広札幌市長、長瀬 清北海道医師会会長から祝辞が述べられました。



北海道大学交響楽団によるファンファーレの歓迎演奏



式辞を述べる吉岡医学部長



挨拶を行う笠原総長職務代理



挨拶を行う浅香同窓会長



祝辞を述べる丸山文部科学省高等教育局医学教育課長



祝辞を述べる鈴木北海道知事



祝辞を述べる秋元札幌市長



会場の様子

引き続き行われた記念講演会では、医学部第58期同窓生である武井弥生氏から「次世代へのバトン〜アフリカ・アジア開発途上国での医療支援を経験して」と題し、これまでの自身が体験してきた、エチオピア、東ティモ

ル、タンザニアでの医療支援活動について講演が行われ、引き続き、川口淳一郎国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）特任教授から「やれる理由こそが着想を生む。〜はやぶさ式思考法〜」と題し、小惑星探査機

「はやぶさ」プロジェクトについてのエピソードと共に制約に縛られずに挑戦をすることの重要性について講演が行われました。



講演する武井氏



講演する川口氏

記念講演会終了後、会場を移して行われた祝賀会では、北海道大学交響楽団による「楽劇ニルンベルクのマイスタージンガーより第1幕への前奏曲」の演奏で始まり、吉岡医学部長、浅香同窓会長から主催者挨拶、塚本泰司札幌医科大学学長から祝辞が述べられ、笠原総長職務代理、鈴木 章名誉教授・ユニバーシティプロフェッサー、吉岡医学部長、秋田弘俊北海道大学病院長、浅香医学部創立100周年記念事業後援会長、齋藤和雄同後援会副会長、長瀬 清同後援会副会長、吉木

敬同後援会副会長による鏡開きが行われた後、鈴木ユニバーシティプロフェッサーによる祝杯により祝宴が始まりました。和やかな雰囲気の中、田中伸哉北海道大学医学部創立100周年記念誌刊行委員会委員長から「医学部の紹介」がありました。会の結びには、田邊達三名誉教授から「大志BBAに培われて開基100周年」と題して、医学部及び北海道大学病院のこれまでの100年を振り返る講演が行われ、秋田北海道大学病院長の乾杯に引き続き、最後に、「都ぞ弥生」を出席者全員で

斉唱し、盛況のうちに終了しました。

医学部はこの記念事業を新たな幕開けとし、次の100年に向け、新たな心持ちで医学研究・教育に邁進していきます。



祝辞を述べる塚本札幌医科大学学長



鏡開きの様子



祝杯を行う鈴木名誉教授・ユニバーシティプロフェッサー



医学部の紹介を行う田中教授



講演を行う田邊名誉教授



乾杯を行う秋田病院長



会場の様子



出席者による記念撮影

教育学部創立70周年記念式典等を挙行



記念祝賀会での集合写真

教育学部は、昭和24年に設置され、本年は創立70周年にあたります。9月27日（金）、教育学部70周年記念式典を人文・社会科学総合教育研究棟で開催し、学内外から126名が出席しました。

式典では、横井敏郎副研究院長の開式の辞に始まり、宮崎隆志研究院長の式辞、長谷川晃理事・副学長の挨拶に続き、山本健慈国立大学協会専務理事から祝辞が述べられました。

式典に続いて、「北海道の教育課題にどう向き合うか」をテーマとしたパネルディスカッションを実施し、パネリストの赤間幸人北海道教育委員会学

校教育局長、北村善春北海道立教育研究所長、宮崎研究院長からの報告があり、指定討論者の山本国立大学協会専務理事及び羽田貴史広島大学・東北大学名誉教授を交え、活発な質疑応答、意見交換が行われました。

その後、会場を市内のホテルに移し、教育学部同窓会との共催で記念祝賀会を開催しました。玉井康之北海道教育大学副学長、竹田正直同窓会会長の祝辞、小内 透前教育学部長の祝杯の後、祝宴、テーブルスピーチと続き、更には同窓生や教員間で会話の花が咲き、あっという間の時間経過となりました。最後は和やかな雰囲気の中

全員で記念撮影を行い、盛況のうちに閉会となりました。

（教育学院・教育学研究院・教育学部）



宮崎研究院長からの挨拶



パネルディスカッションの様子

モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学日本語学科 ナタリア・クルネタ助教授を文学研究院に招聘

文学研究院では、10月14日（月）～18日（金）の期間、モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学（Institute of Asian and African Countries at Lomonosov Moscow State University）日本語学科のナタリア・クルネタ（Nataliya Krneta）助教授を招聘しました。本招聘は、HaRP “Human Resource Development Platform for Japan-Russia Economic Cooperation and Personnel Exchange”（平成29年度「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」プラットフォーム構築プログラム（タイプB）－日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム）の交流事業の一つとして、文学研究院で進めているモスクワ国立大学教員の招聘計画に関連して、3月の同日本語学科長招聘に続き、お招きしたものです。文学研究院では2020年4月より、モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学日本語学科から日本文学、日本語史、日本語の語彙論、日本語教育法などの専門家で、いずれも日本語の堪能な教員を

招聘する計画です。

今回、本計画の一環でお招きしたクルネタ助教授のご専門は、日本語の教育方法及び言語学で、特に社会言語学や女ことばと男ことば、日本語の代名詞をテーマに研究されています。滞在中は、本計画の受入教員である北方研究教育センター長の白木沢旭児教授の案内で学内外の施設の視察を行うとともに、山本文彦文学研究院長をはじめ、日本語教育や日本語学を専門とする教員・大学院生と研究交流を行いました。また、国際教育研究部現代日本語プログラムや日本語教育のユニット教員の授業見学や、日本語教育と多文化交流科目についての意見交換も行いました。

最終日の10月18日（金）には、エンレイソウ第1会議室において「日口両国における社会言語学研究の現在」と題した北方研究教育センター・言語科学講座共催セミナーを開催しました。早稲田大学に留学経験をもち、博士論文は「現代日本語における男性語・女性語」について書かれているクルネタ

助教授は「現代社会言語学におけるジェンダー表現の諸問題」について日本語で講演を行いました。さらに同じく言語学・日本語学を専門とする加藤重広教授（言語科学研究室）の講演「日本語における性差の変化と役割語」と、言語科学研究室博士後期課程の都 賢娥さんの講演「日本語の対称詞における選択意図とジェンダー差」も行われました。セミナーには、本学で日本語教育を専門としている教員や大学院生など15名が参加し、活発な意見交換が行われました。また、セミナー後は総合博物館内で懇親会を開催し、日本語学や言語学以外の話にも花を咲かせました。

文学研究院では、まずは2020年度に文学研究院とアジア・アフリカ諸国大学日本語学科の教員間の交流から始め、将来的には学生の受け入れや人材育成、共同研究等へ発展させたいと考えています。

（文学研究院・文学院・文学部）



教員招へい計画について意見交換する山本研究院長、白木沢教授、クルネタ助教授



山本研究院長よりクルネタ助教授へ文学研究院記念品贈呈



日本語で講演されるクルネタ助教授



講演後の記念撮影

法学研究科・法学部・公共政策大学院で留学生パーティーを開催



集合写真

10月10日（木）、外国人留学生とサポーター・チューター学生や交換留学経験者、関係教職員を対象とし、法学研究科・法学部・公共政策大学院合同の「留学生パーティー」を開催しました。

本パーティーは、留学生同士及び留学生と日本人学生・関係教職員との交流の機会を提供することにより、相互

に理解と親睦を深めてもらうことを目的として、毎年この時期に開催しているものです。

外国人留学生の入学者は、全学的にも年々増加しており、現在、法学研究科・法学部及び公共政策大学院には123名の外国人留学生が在籍しています。

当日は、学生ら82名が出席し、留学



ビンゴゲームに臨む留学生達

経験のある日本人学生が司会を務めました。主催者を代表して池田清治法学研究科長の挨拶で始まり、参加者は自己紹介やビンゴゲームなどを通じて大いに盛り上がり、互いに親交を深めました。

（法学研究科・法学部・公共政策大学院）

公共政策大学院が国際フェロー「ナルワン・プログラム」を実施 —台湾外交部，台湾日本関係協会等を訪問—

公共政策大学院（公共政策学教育部・公共政策学連携研究部）では、9月1日（日）から8日（日）の8日間、国際フェロープログラム「ナルワン・プログラム」を実施し、大学院所属学生10名及び引率教員3名が台湾を訪れました。このプログラムは、公共政策大学院独自で設定した短期研修プログラムのひとつで、台湾の政治・経済・文化及び日本を取り巻く東アジアの国際環境について集中的に学ぶことを目的に、政府機関、大学、市民団体などを訪問し、ブリーフィングや意見交換などを行っているものです。

今年のナルワン・プログラムでは、台湾外交部（外務省）、台湾日本関係協会（対日窓口機関）、日本台湾交流協会、台湾安全保障会議、そして台湾の与党である民進党本部を訪問し、台湾の対外関係や日台関係について意見交換を行いました。また、台湾総統府、2.28平和記念館、ジェンダー問題に取り組んでいる市民団体である新知婦女基金や、貧困やホームレスの問題に従事している台湾ホームレス協会などを訪問し、台湾の歴史や政治、台湾社会を取り巻く問題について理解を深めました。台湾の国立台湾大学や台

中科技大学では、学生間の交流会などを実施し、日台の若者たちが直面する共通の課題について議論をし、親睦を深める機会も得ました。

公共政策大学院では、本年度よりナルワン・プログラムに加えて、韓国を訪問する短期研修プログラム「セナ・プログラム」も創設し、アジア近隣諸国との教育・研究交流をより一層充実させていく所存です。

（公共政策学教育部・公共政策学連携研究部）



台湾民進党本部国際部での意見交換会の様子



台中科技大学応用日本語学科との交流会の様子

公共政策大学院が「日韓市民社会・ジャーナリスト対話：未来につなげるダイアログ」を開催



関係者集合写真

公共政策大学院（公共政策学教育部・公共政策学連携研究部）では、9月25日（水）、韓国の韓日未来フォーラムとの共催で「日韓市民社会・ジャーナリスト対話：未来につなげるダイアログ」を開催しました。日韓関係の現状を踏まえ、その関係改善に向けて、日韓合わせて20名の研究者、市民団体関係者、ジャーナリストが登壇し、議論を深めました。

第一パネル「日韓市民社会対話」では、朝鮮人強制労働犠牲者の調査と遺骨発掘などに従事している浄土真宗本願寺派一乗寺の住職である殿平善彦氏や、東京大空襲で亡くなった朝鮮人の調査や浮島丸事件などで犠牲になった朝鮮人の遺骨が安置されている祐天寺の調査などを行っている東京朝鮮人強制連行調査団のリャン・デリュク氏、

北海道と韓国の交流事業に携わっている北海道総合政策部国際局国際課の高田恵美氏、そして労働問題や特にブラック企業問題に携わっているNPO法人Posseの今野晴貴氏の登壇を得て、これまで各氏が携わった日韓の民間交流の活動の紹介や、民間交流の重要性について報告いただきました。

第二パネル「日韓ジャーナリスト対話」では、日本側から東京新聞の五味洋治氏、毎日新聞の大貫智子氏、北海道新聞の松本創一氏、韓国側からは東亜日報ソ・ヨンア氏、世界日報のキム・チョンジュン氏、そしてハンギョレ新聞のキル・ユンヒョン氏が登壇し、日韓双方の報道の在り方について議論を深めました。

約70名の学生、研究者、一般市民の参加があり、会場では活発な質疑応答



第一パネル「日韓市民社会対話」のパネリスト諸氏



第二パネル「日韓ジャーナリスト対話」のパネリスト諸氏

が展開されました。いままでの日韓の市民社会・民間交流の歴史は決して浅くなく、様々な成果も蓄積されていますが、本会の発表者の元毎日新聞記者で現在清泉女子大学教授の大野 俊氏が述べた「国家のメンツや利害に飲み込まれない市民社会の成熟が必要である」という認識を改めて共有するフォーラムとなりました。

（公共政策学教育部・公共政策学連携研究部）

経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターでシンポジウムを開催

経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センター（REBN）では、10月10日（木）、人文・社会科学総合教育研究棟において、シンポジウム「持続的な地域交通のゆくえ」を開催しました。シンポジウムでは、十勝バス株式会社の野村文吾代表取締役社長、関西大学経済学部宇都宮浄人教授による講演が行われました。

最初に野村社長から「人口減少時代におけるサステナブルな『街づくり』のための地域交通の在り方 ～十勝バス40年ぶりの利用者増加の実例～」と題した講演で、人口減少・高齢化の中で、十勝地域の交通事業者として乗客増加を実現させた経験から、地域からみた将来の持続的な交通についての説明が行われました。また、現在十勝地域で実証が進められているMaaS（Mobility as a Service）の可能性についても論じられました。

続いて宇都宮教授からは、「地域公共交通政策を考える ～欧州の動向を踏まえて～」と題した講演で、諸外国、日本各地の交通をめぐり、地域における公共交通が生き残る道について、統計経済をベースに多角的にとらえ、将来のまちづくりの提案に繋げている実状について、事例も交えて語っていただきました。講演では、北海道との比較もされながら、地域交通の「ゆくえ」をご紹介いただきました。

さらにシンポジウムの後半では、経

済学研究院の吉見 宏教授をコーディネーターとしてパネルディスカッションを実施し、質疑応答では活発な議論が行われました。このシンポジウムには、学内外から100名を超える参加があり、平日の開催にもかかわらず多数の参加者で会場は熱気にあふれていました。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）



講演する十勝バス野村社長



関西大学宇都宮教授の講演を熱心に聴く参加者

経済学院・経済学研究院・経済学部で外国人留学生懇親会を開催

経済学研究院・経済学院・経済学部では、10月31日（木）に、研究棟において、令和元年度外国人留学生懇親会を開催しました。

本学院・研究院・学部では、外国人留学生が年々増加しており、特に大学院修士課程現代経済経営専攻においては、在籍する学生の大半を占めています。そのため、留学生、日本人学生、教職員が相互に理解と親睦を深め、交流を通して生まれた絆が留学生の生活適応や日本人学生の国際経験に資することを目的とし、本懇親会を開催しています。

12回目の開催となる今回は、司会進行とゲームの企画を日本人学生、カザフスタンからの留学生、中国からの留学生の3名が務め、在籍する留学生や、そのチューター・サポーター、そして国際交流に関心のある日本人学生

と関係教職員など、計52名が参加しました。参加者は軽食を取りながら、歓談やゲームへの参加を通して互いに親交を深め、盛況のうちに閉会しました。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）



親睦を深める参加者たち



集合写真

動物慰霊式を挙行

医学研究院附属動物実験施設

医学研究院附属動物実験施設では、10月2日（水）、医学部学友会館「フラテ」ホールにおいて令和元年度動物慰霊式を執り行いました。

本慰霊式は、医学並びに生命医科学の教育研究のために多数の動物の尊い生命が犠牲になっていることを厳粛に

受け止め、動物の霊を追悼するとともに、生命の尊厳と倫理について啓発することを目的に実施しているもので、多数の教職員、学生等が参列しました。

はじめに渡邊雅彦施設長から追悼の辞を述べた後、吉岡充弘研究院長の挨拶、参列者全員による黙祷・献花を行

いました。最後に渡邊施設長から適正な動物実験の実施について、一層の理解と協力を願う旨の挨拶があり、厳粛のうちに慰霊式を終了しました。

（医学院・医学研究院・医学部）



追悼の辞を述べる渡邊施設長



吉岡研究院長による挨拶



参列者による献花

遺伝子病制御研究所

遺伝子病制御研究所では、10月8日（火）、遺伝子病制御研究所セミナー室において、昨年9月からの1年間に学術研究の礎として実験に供せられた動物の御霊を慰霊するため、動物慰霊式を執り行いました。

慰霊式には多数の研究所教職員、大学院生・学生等関係者が参列し、始め

に村上正晃所長から、生命の尊さを常に考え、動物福祉に一層配慮した研究態勢を考えていくことを願う旨の挨拶がありました。引き続き、参列者全員による黙祷、研究分野等代表者による献花が行われ、最後に高岡晃教動物実験施設長から追悼の辞と共に、今後とも諸法令を遵守し、適切な動物実験の

実施について、理解と協力を願う旨の挨拶がありました。

この動物慰霊式を通して、参列者全員が生命の尊厳、倫理観について改めて認識し、厳粛のうちに慰霊式を終了しました。

（遺伝子病制御研究所）



献花を行う村上所長



挨拶を述べる高岡施設長

技術部による理学部共同利用施設説明会2019を開催

10月17日（木）、理学部大講堂において、理学研究院等技術部主催による理学部共同利用施設説明会2019を開催しました。冒頭に女池竜二技術長から「私たちの持つ高度な技術や設備を教職員や学生の皆さんの研究や実験に役立てていただきたい」と、本説明会を開催するにあたり挨拶がありました。その後、理学研究院にある機械工作室、ガラス工室、薄片技術室、地球惑星固体物質解析システム研究室、高分解能核磁気共鳴装置研究室、附属ゲノムダイナミクス研究センター実験生物

共同利用部門、極低温液化センターの7つの施設から、保有する設備・スキルについての説明がありました。

本学の研究教育を推進・強化するために存在する技術部ですが、その存在・活用方法をより多くの方に知ってもらうことこそその第一歩と捉え、技術職員が主体となり、初めて施設説明会を開催しました。今回は、部局を超えた連携で支援の充実化を図るために、工学研究院・農学研究院・触媒科学研究所にある全学共同利用施設の7施設を招き、施設紹介も行いました。

今回の開催にて、普段なかなか交流できない他部局・異分野の技術職員同士が関わりを持ち情報交換などができたことも、大きな意義があったと感じています。

理学研究院等技術部は、より充実した研究教育支援を目的として、日々の支援だけでなく、このような取り組みも行っていきたいと考えています。

（理学研究院等技術部）



本説明会の趣旨を説明する女池技術長



理学研究院機械工作室による施設説明



工学研究院 ナノ・マイクロマテリアル分析研究室の説明

ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点が「NoMaps釧路・根室」を共催

ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点は、9月11日（水）、釧路プリンスホテルにおいて、大地みらい信用金庫、一般財団法人大地みらい基金と共に、「NoMaps釧路・根室」を開催しました。

「NoMaps」は、北海道を舞台に新しい発想や技術によって、より良い未来を創ろうとする人々の交流を目的としたコンベンションであり、今大会は、釧路・根室管内の基幹産業である水産・酪農・観光業と、最先端の工学・情報技術をつなぐ場を設け、大学研究機関、情報工学関連企業と地元企業のマッチングによる新技術の開発、新規事業の創出及び地域基盤産業の強靱化とイノベーションを目的に、「NoMaps釧路・根室」の名称で、初めて札幌以外で開催されたものです。プログラムは、セッション1「観光業×テクノロジー」、セッション2「情報技術」、セッション3「水産・酪農業×テクノロジー」の3部に分かれ、本学ロバスト拠点はセッション3を担当しました。

セッション3は、モデレーターを務める瀬戸口剛工学研究院長からの趣旨説明で始まり、増田隆夫工学研究院教授から「北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点の取り組み」と題して、当拠点事業の目的と組織・運営体制、活動実績について説明がありました。次いで、田熊秀行工学研究院特任教授から「北大ロバスト拠点研究シーズ」と題して、当拠点が手がける温室プロジェクトや、ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォームの各分科会の代表的な研究シーズ、そして釧路・根室地域の農林水産業に関連すると考えられる研究シーズの紹介がありました。続いて、岡本博史農学研究院准教授から「ICTを活用した

スマート農業 ～農業のロボット化と情報化～」という表題で、田植機の自動操舵や安全センサー、リモートセンシング技術について動画を交えた説明がありました。また、説明の中ではスマート農業の推進を目的とした、タイ王国との連携協定の活動にも触れました。最後に、和田雅昭公立はこだて未来大学教授から「2030年の水産業」と題して、情報処理技術を融合した新たな研究分野である「マリンIT」について、水産試験場や漁業者と一体で取り組んでいる持続可能な沿岸漁業の実践の紹介がありました。

今大会には、民間企業や行政機関などから234名が参加し、セッション終了後、多くの参加者が当研究会に入会を希望するなど、先端技術に対する地域の関心の高さがうかがえました。

（工学研究院）



モデレーターを務める瀬戸口工学研究院長



発表を行う増田工学研究院教授



発表を行う田熊工学研究院特任教授



発表を行う岡本農学研究院准教授



発表を行う和田公立はこだて未来大学教授



会場の様子

ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点が 「第2回防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAIシンポジウム」を開催

ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点は、10月1日（火）、北海道大学大学院工学研究院フロンティア応用科学研究棟鈴木本章ホールにおいて、「第2回防災技術イノベーション研究会 Robust BOSAIシンポジウム」を開催しました。

近年、北海道の農林水産業のフィールドは、従来の発想では対応できないような自然災害に脅かされており、「新たなステージ」に進みつつある自然災害に対する防災力強化、フィールドのロバスト化（堅牢化）は喫緊の課題です。この現状を踏まえ、北海道大学とロバスト農林水産工学科学技術先導研究会は、Society 5.0を目指した高度な技術やノウハウの共有、新たな研究開発、防災教育と人材育成までを実現するため、昨年度「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」を立ち上げ、現場ニーズに基づく次世代農林水産工学の技術開発を進めています。

今回のシンポジウムでは、北海道胆振東部地震から学ぶ複合災害対策に焦点を当て、産学官のこれまでの調査で得た知見について解説すると共に、昨

年度設立した「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」の活動成果報告も交え、今後の課題や発展について議論しました。

本シンポジウムは、瀬戸口剛工学研究院長の開会挨拶で始まり、宮坂尚市朗厚真町長による「平成30年北海道胆振東部地震からの教訓」と題した、震災被害や当時の苦労、復興の現状についての特別講演が行われました。次に、小林利道株式会社大林組設計本部プロジェクト設計部長による「森林と共に生きる街『LOOP50』建設構想」と題した基調講演が行われ、木材を用いた循環型都市の将来像が提示されました。続いて、古川泰人株式会社MIERUNE取締役による「“Open”であること・・・OpenData・OpenScience・

OpenSource・OpenGovernment」と題した基調講演が行われ、インタラクティブな情報の重要性が示されました。

後半は、パネルディスカッションの話題提供として、渡部要一工学研究院教授、中嶋唯貴工学研究院准助教、佐藤久工学研究院教授、田部豊工学研究院教授の4名から講演があり、地震から一年間追跡した調査内容や、震災時に必要な工学技術などについて紹介されました。続いて、泉典洋工学研究院教授がコーディネーターを務め、宮坂氏、小林氏、古川氏と話題提供者、計8名によるパネルディスカッションが行われました。会場からの質問・意見を集約するシステム「Slido」の利用により、参加者とパネリ



開会挨拶を行う瀬戸口工学研究院長



特別講演を行う宮坂厚真町長



基調講演を行う株式会社大林組設計本部プロジェクト設計部 小林部長



基調講演を行う株式会社MIERUNE 古川取締役



コーディネーターを務める泉工学研究院教授



パネルディスカッションの様子



会場の様子



閉会挨拶を行う岡田広域複合災害研究センター特任教授

ストの間で双方向に活発な意見交換が行われました。

最後に、岡田成幸広域複合災害研究センター特任教授の閉会挨拶により、本シンポジウムは盛会にて終了しまし

た。

今回のシンポジウムには、行政機関、農林水産業の関連団体、民間企業などから約100名が参加し、多くの方々から「興味深いシンポジウム」との意

見を頂くとともに、防災への関心の高さがうかがえました。

(工学研究院)

保健科学研究院公開講座「ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ」を開催

保健科学研究院では、「ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ」というテーマのもと公開講座を開催しました。今年も3名の講師陣が各々専門とする研究を紹介し、62名の参加がありました。今年、特に次代の保健医療を担う若手の講師による講演を企画し、盛会のうちに終えることができました。

千見寺貴子准教授が「細胞老化と健康寿命」と題して、老化した細胞がどのように健康寿命に影響するのか、どのような治療法が開発されているのかについて、最新の知見をもとに講演しました。

続いて、宮崎太輔准教授が「神経細胞における情報の送り手と受け手：シナプスはどのように作られ、維持されるのか?」と題して、まだ解明されて

いないことが多いシナプスの作製・維持におけるメカニズムについて、遺伝子工学的、分子生物学的手法をマウスに用いた実験研究をもとに講演しました。

最後に、杉森博行准教授が「医用画像における人工知能～現状と未来～」と題して、人工知能技術の現状と医療画像における人工知能技術の応用について、研究室における取り組みなどを

交えながら講演しました。

参加者からは大変好評を博し、様々な質問があり、各講師はわかりやすく丁寧に解説を行いました。

今後も毎年、その時代を反映するようなテーマや、興味を持って参加いただけるようなテーマを設定して、公開講座を開催していく予定です。

(保健科学院・保健科学研究院)



齋藤 健研究院長からの挨拶



講師による講演の様子

国際食資源学院でFD研修会を開催

国際食資源学院では、10月2日（水）に農学研究院 近藤 巧教授を迎え、FD研修会を開催しました。研修テーマは、「JSPS事業とその応募に際して」でした。近藤教授は、2017～2019年の3年間にわたって、学術システム研究センター（RCSS）専門研究員を務めました。

現在、国際食資源学院では、GI-CoREに参画する外国人研究者との協力関係をより一層深め、科研費などの競争的資金獲得に向けた取り組みを加速させています。さらに、本年度は本学院で研究活動を開始した第一期博士課程学生に研究者養成事業への積極的な応募を奨励していることもあって、本FD研修会を企画、実施しました。

当日は1時間という短い時間でしたが、農学研究院を含む教員30名、学生6名が出席しました。井上 京国際食資源学院長によるFD研修の趣旨説明に続き、近藤教授からは、学術システム研究センターの概要、科研費事業の

理念と科研費改革が求められる背景、事業内容などについて説明がありました。農学の細目分野・種目別の10年間の科研費への応募件数の変化について、基盤研究（C）の増加とは対照的に基盤研究（B）が減少しており、研究者が全般的に内向志向にあること、また、審査方式が「2段階審査方式」から「2段階書面審査方式（小区分）」、「総合審査（中区分、大区分）」へ変更されたことによる審査の負担増、客観的な評価を下せる体制の必要性が述べられました。総合審査においては研究課題の採否はすべて審査員の責任において決定されるため、審査員は自身の専門分野の近さにかかわらず積極的に議論を交わし理解を深めることが必要で、一研究者としての広い見識が求められるとのことです。

最後に、将来の研究を担う若手研究者養成のための特別研究員制度について触れられ、申請件数が増えてもおおむね採択率が一定であるため、農学分

野の積極的な申請による採択件数の絶対的増加への期待も述べられました。また、特別研究員DC採択者の追跡調査結果によると、常勤研究職への就職率がDC修了直後の63.6%から、1年後には72.6%、5年後以降では69.6%以上となることが紹介され、博士号取得者が継続して研究できる環境整備への期待の意が述べられました。

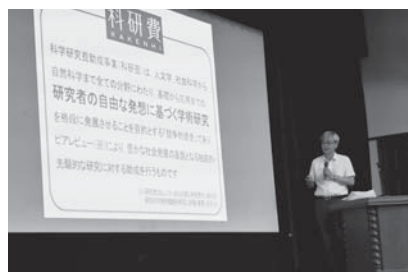
質疑応答では、科研費助成事業の申請書の作成について議論が交わされました。明確な回答は難しいところであるが、調書の作成に際しては、核心をなす学術的「問い」を明確に示すこと、研究の意義と目的はもちろんのこと、研究計画・方法をより具体的に書き込むことが肝要とのコメントをいただきました。

講演者の近藤教授には、大変分かり易く説明いただき、感謝申し上げます。

（国際食資源学院）



挨拶する井上学院長



講演する近藤教授



質疑応答の様子

『「平成30年北海道胆振東部地震を振り返り、今後の減災・復興を考える」シンポジウム & 現地見学会』を開催

広域複合災害研究センターは、10月27日（日）に厚真町総合福祉センターにて、厚真町と共催で『「平成30年北海道胆振東部地震を振り返り、今後の減災・復興を考える」シンポジウム & 現地見学会』を開催しました。このシンポジウムは地震から1年を経過したことを機に、地震発生や斜面崩壊と土砂流動、及び地震防災などに関する研究成果などを、研究者から地域住民に向けて紹介することを目的として開催したものです。午前中のシンポジウムには約80人、午後の現地検討会には約30人の参加がありました。

シンポジウムでは、広域複合災害研究センター長で農学研究院の山田 孝教授から開会挨拶があった後、厚真町宮坂尚市朗町長から「平成30年北海道胆振東部地震からの教訓」と題して基

調講演をいただきました。その後、広域複合災害研究センターに所属する理学研究院の谷岡勇市郎教授から「胆振東部地震の特徴」、山田教授から「地震による急傾斜地の崩壊と土砂移動の特徴、対策」、工学研究院の石川達也教授から「北海道の火山灰質土の工学的性質と斜面災害」、工学研究院の渡部要一教授から「胆振東部地震で発生した液状化被害を振り返って」、広域複合災害研究センターの岡田成幸特任教授から「地震動による人的被害と室内被害軽減のための自助マネジメント」と題してそれぞれ話題提供がありました。引き続いて行われた質疑応答では、厚真町防災アドバイザーで東北大学の定池祐季助教をコーディネーターに迎え、事前に受け付けた質問や会場からの質問に回答しました。

午後に開催した現地検討会では、大規模な河道閉塞が発生した日高幌内川で対策を実施する国土交通省から現象や対策状況に関する説明、広域で斜面崩壊が発生した東和地区では石川教授から斜面崩壊機構に関する説明、山田センター長から崩壊土砂の流動状況に関する説明があり、参加した住民との活発な質疑応答や意見交換がありました。

広域複合災害研究センターでは、今後も多様な災害に焦点を当て、このようなシンポジウムを毎年開催し、専門的な見地からアウトリーチ活動を継続していく予定です。

（広域複合災害研究センター）



開会挨拶



会場との質疑応答



現地見学会

函館キャンパスで「秋のキャンパス一斉清掃」を実施

11月1日（金）に、函館キャンパスにおいて「秋のキャンパス一斉清掃」を実施しました。

当日は晴天に恵まれ、函館キャンパス構内とその周辺の清掃を行うことができ、大変きれいになりました。

収集されたごみ等は、一般ごみ、産業廃棄物（金属やプラスチックの混合物）、木の枝等を合わせて約1m³になりました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



協力し合いながらの清掃作業



清掃作業を行う学生たち

メディア・コミュニケーション研究院公開講座「観光とメディアの新たな出会い」が終了

メディア・コミュニケーション研究院では、9月25日（水）から10月30日（水）までの毎週水曜日、計6回にわたり、令和元年度公開講座「観光とメディアの新たな出会い」を実施しました。

本講座では、インターネットの普及、特にSNSなど新たなメディアを活用した双方向通信の活発化に伴い、観光のあり方が大きく変化するなかでの観光とメディアの関係について、写真や音楽、文学作品等の様々なメディアコンテンツやそれをめぐるコミュニケーションの様態を取り上げながら、多角的に考える内容となりました。各

回のテーマに関する個別の質問に加えて、インターネットの負の側面に対して観光が具体的に成しうることは何かといったような本質に関わる質問もありました。先進的なテーマにもかかわらず、ご参加いただいた方々は熱心に

受講されていました。

最終日には、受講生に修了証書を授与し、本講座は盛況のうちに無事終了しました。

（メディア・コミュニケーション研究院）



講義中の様子



講義終了後の修了証書授与式の様子

消防訓練・防災訓練を実施

薬学研究院・薬学部で消防訓練を実施

薬学研究院・薬学部では、10月18日（金）、総合研究棟2階学生実習室からの出火を想定した消防訓練を実施しました。当日は通報連絡班、避難誘導班、消火班、応急救護班に加え、教員も避難誘導に加わり、佐藤美洋薬学研究院院長を隊長とする自衛消防本部を組織しての訓練が行われました。

今回も所属する教職員及び学生が参

加する訓練でしたが、自衛消防本部との連携によってすべての参加者が速やかに避難を完了するなど、訓練参加者の防災意識の高さが確認できました。避難完了後は、一連の進行状況を確認いただいた札幌市北消防署から、全体に向けた講評をいただきました。最後に、佐藤研究院長から教職員及び学生の防災意識を啓発する挨拶があり、全

体での消防訓練は終了しました。

消防訓練終了後は、防災設備業者の指導の下、消火器を使用した消火訓練、布担架による救助訓練が行われました。

（薬学研究院・薬学部）



佐藤研究院長による挨拶



布担架による救助訓練

工学系部局で自衛消防訓練等を実施

工学系部局では、10月4日（金）に情報科学研究院棟を被災想定現場とした自衛消防訓練を実施しました。当日は、雨天のため、避難場所の代替スペース、避難者数を考慮し、規模を縮小しての訓練となりましたが、120名ほどの教職員及び学生が参加しました。

訓練では、事務職員及び技術職員で構成される自衛消防隊がトランシーバーを使用し、自衛消防隊長である大道^{はじめ}元工学系事務部長による指示の下、初期消火、安全防护、負傷者救護、避難誘導などの任務を速やかに遂行し、無事、消防署員に引き継ぎ、自衛消防隊としての役割を終えました。

終了後は、北消防署員から、防護体

勢の実演等を交えた講評が行われ、続いて、瀬戸口剛工学研究院長、北裕幸情報科学研究院長から防災の心構えなどについての挨拶があり、無事に訓練を終えました。

なお、今年度は7月18日（木）に、新規自衛消防隊員及び自衛消防隊班長を対象として、消防計画による自衛消

防隊の業務及び出動時の注意事項等の共通認識を深めるため自衛消防業務説明会を開催し、9月19日（木）には、教室内を実際の災害場所等に見立て、災害時の自衛消防隊の行動についての机上訓練を実施しました。この訓練では自衛消防活動全体の動きや流れを把握するために、一つの教室に災害現



自衛消防隊に指示する大道事務部長



負傷者を搬送する自衛消防隊員



講評を行う北消防署員



挨拶を行う瀬戸口工学研究院長



挨拶を行う北情報科学研究院長

場、事務室（平時勤務場所）、避難場所等を模して配置し、活動状況に応じて実際に隊員が場所を移動して行いました。また、連絡手段として実際にトランシーバーを使用し、座学での机上訓練のみではなく、緊張感を持って訓



講評を聞く自衛消防隊員と避難者

練を実施することができました。

災害時には、必ずしも人員が確保できる保証はありません。想定を超える事態が発生する可能性も少なくありません。工学系部局では、実際の災害時に迅速かつ確実な対応を行うため、今



自衛消防業務説明会の様子

後、訓練のあり方を含め、工夫を凝らした企画運営を進めていく予定です。

（工学院・工学研究院・工学部、情報科学院・情報科学研究院、量子集積エレクトロニクス研究センター）



机上訓練の様子

獣医学研究院・獣医学部で防火訓練を実施

獣医学研究院では、10月15日（火）に防火訓練を実施しました。

今回の訓練は、本研究院自衛消防隊を主体とした通報、避難誘導、初期消火等の訓練であり、非常時における学生、教職員等の安全確保を図ることを目的とし、約150名が参加して行われました。

避難訓練では出火時における初動体制の確立を目的として、午前11時30分に本館2階の動物分子医学第二実験室から出火したとの想定で始まり、自衛消防隊各班ごとの訓練計画に基づいた職務分担に従い、通報、初期消火、避難誘導を行い、被害を最小限に食い止める訓練を実施しました。

避難訓練後、堀内基広獣医学研究院

長より、10月12日から13日にかけて日本列島に大きな被害をもたらした台風19号の教訓を踏まえ、命を守る行動の意味を改めて考えて欲しいとの話がありました。

避難訓練に引き続き、消火器を使った放水による消火訓練及び4階からの



消火器を使った訓練

救助袋による降下訓練を防災設備業者指導の下で実施し、使用方法に理解を深め、一連の防火訓練を行うことができました。

（獣医学研究院・獣医学部）



救助袋による降下訓練

水産科学院・水産科学研究院・水産学部で消防訓練・防災訓練等を実施

10月31日（木）に函館キャンパスにおいて防災訓練を実施しました。

訓練当日は、地震災害及び地震災害による二次災害を想定した自衛消防隊による通報連絡、避難誘導の各訓練を、防災行動の能率・統制推進と防災意識の高揚を図ることを目的に行いました。防災訓練完了後、函館市消防本部より災害時の自衛消防隊員の行動についての講評があり、また、自衛消防隊長の木村暢夫研究院長から訓練参加

者への慰労の辞と今回の訓練を実際の災害時に活かすことの重要性についての講評があり、一連の訓練を終了しました。

した。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



統括管理者からの指示の様子



函館北消防署による講評

北海道大学病院で総合防災訓練を実施

北海道大学病院では、10月23日（水）、地震の発生及びこれに伴う病棟5階乾燥室からの出火という想定で、総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練は地震発生の放送で始まり、迅速な自衛消防組織対策本部及び各地区隊の編成の訓練を行いました。

火災発生のアナウンスがされると、出火病棟の地区隊が初期消火や避難誘導にあたり、また自衛消防隊各班も、救護所の設置や消火の応援、危険物の管理、重要物品の搬出など、各々の役割に基づいて行動しました。

訓練終了後には、札幌市消防局北消防署の担当官から「災害が発生した際には、今回の訓練での経験を生かして

ほしい」との講評がありました。

（北海道大学病院）



模擬患者の搬送



散水栓による初期消火

低温科学研究所で消防訓練を実施

低温科学研究所では、10月24日（木）午後1時30分から、防災設備業者の指導と協力を得て、自衛消防訓練を実施しました。

当日は、研究棟新館3階給湯室から火災が発生したことを想定し、出火時の体制を確立するために、自衛消防隊が直ちに活動し、出火場所に対応して各職務分担の任務（通報連絡・避難誘導・初期消火・防火措置・救護・重要書類搬出等）を行い、被害を最小限に食い止める初動訓練を行いました。

避難完了後には、防災設備業者の指導により、水消火器を使用して消火訓練を行いました。

その後、福井 学所長から日頃の防

災に対する意識の向上について要請があり、訓練を終了しました。

（低温科学研究所）



消火班による初期消火訓練中の様子



水消火器の操作方法について指導を受ける様子

附属図書館で防災訓練を実施

附属図書館本館では、10月28日（月）に地震が発生し、東棟1階休憩室から出火したとの想定のもと、図書館利用者及び職員79名が参加して防災訓練を実施しました。

英語による館内放送並びに掲示も行い、火災発生後、直ちに「通報連絡係、避難誘導係、消火係、防護措置係、救護係、搬出係」の自衛消防隊の各担当に分かれ、現場の確認、消防署への通報、非常放送、避難誘導、消火活動等、実践さながらの訓練が行われました。

防災訓練に続いて防災設備業者指導のもと、避難はしごの取扱説明及び緩

降機による実地訓練を実施し、使用方法についてより一層の理解を深め、一連の訓練を無事に終了しました。

（附属図書館）



負傷者役を誘導する職員



緩降機訓練をする職員

「北極基礎市民講座～北極の不思議 もっと知ろうその魅力～」 第3回を開催

10月9日（水）、北極域研究共同推進拠点[※]主催、日本極地研究振興会共催で、複数の民間企業の後援を受けた産学連携の体制により「北極基礎市民講座～北極の不思議 もっと知ろうその魅力～」第3回を東京にて開催しました。本講座は北極にフォーカスし、それに関連するテーマを網羅する市民講座としては初めてのもので、今年度6回開催し、1回2テーマ、計12個のテーマを挙げて行うプログラムとなっています。これらを全部聴講すると、現在注目されている北極に関する分野について、ほとんど全ての課題の理解が深まるプログラム構成になっています。

今回の講座では、「海洋」については「北極の海の科学」を題材に、また「氷河・氷床」については「北極を彩る氷のかたまり」を題材として取り上げました。特に、北極と南極の氷の違いや北極海の氷が減る仕組みについて、更には氷河氷床の減少による海面

上昇の影響など身近な話にも迫りました。参加者は、30代から70代まで幅広く、全員から、大変満足した、興味深い・興味がわいたとの声が寄せられました。また、わかり易く丁寧に説明してくれたので本当によく理解が出来たといった感想もいただきました。さらに、多くの参加者から、いつか北極に行ってみたいとの感想が寄せられ、更なる探求心の芽生えもありました。

北極は地球温暖化の影響を顕著に受け、海水減少や生態系の変化、更には海洋や大気を通じて地球規模の異変を起こす可能性があります。一方で、このような環境変化は北極海航路や石油・天然ガスなどの資源開発を促進させると共に、環境汚染、動植物の生態系や人間社会への影響、それに国家間の摩擦などを引き起こす可能性もはらんでおり、持続可能な社会・経済活動に向けて北極諸国だけでなく周辺国も巻き込んだ国際協力が必要となっています。

以上のような状況を受け、本講座は自然科学だけでなく工学、人文社会科学を含む第一線の専門家より最新情報をわかりやすく解説します。北極の将来に向け新たな視座で見つめてその魅力を知ってもらう取組を通して、日本が北極に関する研究を行うことの重要性を認知してもらうことを狙いとしています。次回は12月3日（火）開催予定です。今後もご期待いただきたいと思います。

[※]北極域研究共同推進拠点

国立大学法人北海道大学北極域研究センター（中核施設）、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所国際北極環境研究センター（連携施設）、国立研究開発法人海洋研究開発機構北極環境変動総合研究センター（連携施設）の3機関による連携ネットワーク型共同利用、共同研究拠点

（北極域研究センター）

＜プログラムとテーマ＞

- 第1回 2019年6月21日（金）「地理と歴史」、「陸の生態系」
- 第2回 2019年8月9日（金）「海の生態系」、「大気」
- 第3回 2019年10月9日（水）「海洋」、「氷河・氷床」
- 第4回 2019年12月3日（火）「北極ロシア資源開発」、「北極北欧資源開発」
- 第5回 2020年1月27日（月）「北極海航路とその利用」、「エネルギー輸送」
- 第6回 2020年3月27日（金）「ガバナンス」、「人間と社会」

＜申込・詳細＞

<https://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/news/22012/>



「海洋」講義の様子
（海洋研究開発機構 渡邊英嗣研究員）



「氷河・氷床」質疑応答の様子
（本学 杉山 慎教授）

環境健康科学研究教育センターが市民講演会 「SDGs達成に向けた私たちの取り組み」を開催

10月2日（水）に学術交流会館小講堂において、世界保健機関（WHO）による環境化学物質による健康障害の予防に関する研究協力センター再認証記念、及び「国立大学フェスタ2019」イベント活動の一環で、持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals（SDGs）」の達成を考える場として本市民講演会を開催しました。

はじめに、岸 玲子本学特別招へい教授・WHO研究協力センター長から、WHO研究協力センターとしての4年間の活動及び、今後4年間での活動計画の報告の後、引き続きSDGsについての3つの講演が行われました。

はじめに、吉田早苗独立行政法人国際協力機構（JICA）課長補佐から、「国際協力の現場でSDGsを考える」と題し、特に途上国での活動事例紹介及び私たちが今日から始められる活動について講演が行われました。

次に、山内太郎保健科学研究院兼大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授から、「地域の人々と未来のサニテーションをデザインする」と題し、ザンビア及びインドネシアの都市スラムにおけるサニ

テーションの取り組みについて、動画も交えて講演が行われました。また、し尿を「価値」として捉え、地域住民がそれらを有効に利用するサニテーション価値連鎖というプロジェクトについて紹介がありました。

続いて、アイツバマイゆふ環境健康科学研究教育センター特任講師から、「環境と私たちの健康とSDGs」と題し、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」を軸に、「環境」「健康」「子ども」をキーワードに、当センターが長年実施している出生コホート研究と研究成果の講演が行われ、併せてSDGs目標達成に貢献するためのWHO研究協力センターの活動の紹介

があった後、活発な質疑応答が行われました。

参加者から「SDGsについて理解が深まった」「興味深い講演であった」「とてもわかりやすかった」「こういう機会を多く創出していくべきだ」など多くの意見が寄せられ、本講演会はSDGs達成について参加者に理解を深めていただく良い機会となりました。

今後も、研究機関としての成果を社会に還元する場として、また、市民・行政・企業などとともにSDGsを考えていく機会として、市民講演会を継続して実施していく予定です。

（環境健康科学研究教育センター）



講演の様子



講演後の記念撮影

「脳科学研究教育センター合宿研修」の開催



参加者の集合写真

11月2日（土）から1泊2日で、北広島クラッセホテルにおいて脳科学研究教育センターの合宿研修を行いました。平成25年度から、多くの関係者が参加しやすいように札幌近郊で開催しています。

研修には、渡辺雅彦センター長をはじめ、文学、教育学、理学、生命科学、医学、薬学、保健科学の各研究院・学院・学部・に属する教員14名、大学院生16名、学部生1名、事務職員2名の合計33名が参加しました。2日間の研修では、大学院生の口頭による研

究発表（研修Ⅰ～Ⅳ）、基幹教員の講演（研修Ⅴ～Ⅷ）、センターが提供する大学院共通科目や学部生の一般教育科目などについての意見交換（研修Ⅸ）を行いました。大学院生の発表では、研究が始まったばかりの修士課程1年生に加え、昨年も合宿に参加した修士課程2年生や博士課程の履修生の研究成果を見聞きすることができ、研究の進捗を知ることができました。例年通り、発表会では大変活発な質疑応答があり、合宿後のアンケートでも「もっと討論する時間を取って欲し

い」という要望が多数寄せられました。今年度は14名の基幹教員の講演があり、それぞれ最先端の知見を織り交ぜた研究室紹介が行われました。これらの研修を通して脳科学研究への理解を深めるとともに、深夜におよぶ懇親会も含め、部局を越えた学生と教員の間で大変有意義な交流を行うことができました。また、今年度は、昨年から学部1年生向けにはじめてフレッシュマンセミナー「北大脳科学への招待」を履修して脳科学に興味を持った学部1年生1名がはじめて参加しました。

この合宿研修は、とすると所属研究室の研究テーマや実験手法のみに偏りがちな大学院教育を、分野の垣根を越えて融合させることを目指す本センターの最も重要な活動の一つとなっています。平成25年度から受け入れている本専攻修士や将来の履修生の参加や、温泉付きのリゾートホテルでの開催も大変好評で、来年度も多くの関係者の参加を期待したいと思います。

（脳科学研究教育センター）



研修会・発表の様子



懇親会の様子



発表最優秀表彰の様子

天塩研究林で「最北のエゾシカ調査ツアー」を開催

北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション天塩研究林では、10月19日（土）・20日（日）に、研究林での活動や動物と人間との共生について学んでいただくことを目的とした「最北のエゾシカ調査ツアー」を開催しました。高校生以上を対象としており、札幌市などから高校生を含む9名の参加がありました。

初日は、齊藤 隆教授の「エゾシカの生態と管理について」、高木健太郎天塩研究林長の「天塩研究林の動物と植物」という講義のあと、約20年間継続している「ライトセンサス」にかかるデータを紹介しました。「ライトセンサス」とは、エゾシカの個体数の増減を把握するため、夜間にライトを用いて行う調査のことで、データを紹介した後は、3班に分かれ、実際に使用している5つのルートでの調査を体験しました。生憎の雨模様でしたが、エゾシカ53頭や真っ白な毛に生え変わったウサギ10羽などを見ることができました。2日目には、まず、意見交換会や食害地の見学を行いました。食

害地の見学中には、ヒグマの足跡が発見されるなど、動物と人間との共生を目の当たりにしました。その後、日本海・利尻富士・オホーツク海を眺めることもできる高所から研究林全体の自然豊かな様子を見学し、ツアーは終了

となりました。

本ツアーは今回が初めての試みでしたが、参加者から好評でした。来年度以降も開催を検討しています。

（北方生物圏フィールド科学センター）



エゾシカの生態と管理についての講義



ライトセンサスの体験



食害地の見学



ヒグマの足跡を発見！

生物生産研究農場で「畜魂祭」を挙

北方生物圏フィールド科学センター
耕地圏ステーション生物生産研究農場
では、10月25日（金）に、アグリフ
ードセンター傍に位置する畜魂碑前にお
いて畜魂祭を執り行い、山田敏彦農場
長をはじめとする本センターの教職員
や本センターを利用する農学部、農学
部、畜産科学科の学生など、約60名
の関係者が参列しました。農場では、
飼料畑で栽培されるトウモロコシや牧
草から飼料を生産して家畜・家禽を飼
養し、得られる牛乳や食肉を加工して
畜産製品を製造するという、自給飼料
を主体とする物質循環型の持続的な家

畜生産が営まれており、様々な教育・
研究に利用されています。これらの活
動に対して多大な貢献をした家畜・家
禽に感謝し、その御霊を供養するた
めに、毎年畜魂祭を行っています。

当日は、三谷朋弘助教による進行の
もと、はじめに、中小家畜生産研究
施設、酪農生産研究施設及び畜産製
造施設より、家畜・家禽の利用実績
等について報告があり、続いて、参
列者全員で畜魂碑に拝礼しました。最
後に、山田農場長から、飼料の生産・
家畜や家禽の飼育・畜産製品の製造
という一連の流れを学習できるのは全
国の大学の

なかでも珍しいこと、食べ残しやフ
ードロスに加えて豚コレラといった病
気が世界的な問題となっているなか
で、農場を利用した教育・研究には
大きな期待が持てることなどが述べ
られました。参列者一同は、持続的
な畜産生産システムや高付加価値生
産システムの構築に向けて、教育・
研究の推進や技術の向上が不可欠
であるという思いを新たにしました。

（北方生物圏フィールド科学センター）



利用実績について報告をする職員



畜魂碑に御神酒を捧げる山田農場長



参列者を前に話をする山田農場長

和歌山研究林で一般公開事業「和歌山研究林の歴史的建造物と照葉樹天然林」を開催

10月26日（土）に、北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林において、一般市民向けの施設見学会「和歌山研究林の歴史的建造物と照葉樹天然林」を開催しました。本見学会は、2013年に和歌山研究林の本館が国指定の登録有形文化財となったことを機に、毎年10月下旬頃に開催しているものです。昨年は台風と大雨による甚大な被害を被った影響で建物見学のみ

の実施となりましたが、その後復旧作業が進み、ある程度の安全が確保できたため、本年は2年ぶりに林内見学も企画することができました。

当日は、近隣市町村や東京都などから合計10名の参加者が集まり、中村誠宏林長や技術職員による案内のもと、午前には和歌山研究林の紹介や築90年を超える研究林本館の見学を、午後には手付かずの照葉樹林が広がる保存林

の見学を実施しました。参加者からは、建物や林内の自然環境に関する話題ばかりでなく、北海道大学が和歌山県の山奥に森林を所有している背景や、森林などの屋外フィールドを利用した研究・教育活動についても積極的な質問やコメントが寄せられ、見学会は盛況のうちに終了となりました。

（北方生物圏フィールド科学センター）



中村林長による和歌山研究林の紹介



本館2階の標本室の見学



小型モノレールで天然林の中を見学しながら移動

和歌山研究林でアートプロジェクト「森のちからXI・森の中へ」による作品制作・展示を実施

10月4日（金）から29日（火）にかけて、北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林において、アートプロジェクト「森のちからXI・森の中へ」にかかる作品の制作や展示が行われました。本プロジェクトは、NPO法人和歌山芸術文化支援協会（waccs）により企画されたもので、芸術家による森の中での作品制作や地域交流を通じ、熊野の自然豊かな森の魅力を発信していくことを目的としています。「森のちからXI」は11回目の開催となりますが、今回初めて和歌山研究林

が実施会場に選ばれました。

期間中は、美術家の南条嘉毅氏を招き、普段は研究林内の休憩所として使われている2階建ての小屋の中を作品の制作と展示の場所として活用していただきました。石や木の根などの自然物と音響や照明を組み合わせで完成した作品は、川や海を循環する水の記憶、そして森の中でかつて行われていた人の営みの記憶をテーマとしたインスタレーション作品で、鑑賞中は時間が経つのを忘れてしまいそうな感覚を覚えながらも「時間の流れ」を可視化

できるという、不思議な体験をすることができました。

作品完成後は、台風の襲来によりスケジュールの変更などを余儀なくされた場面もあったものの、作品鑑賞と和歌山研究林の見学会を組み合わせたアート・ツアーの参加者や個別の見学者が多数訪れ、プロジェクトは盛況のうちに終了となりました。

（北方生物圏フィールド科学センター）



作品制作前に林内の河川の源頭部を取材



アート・ツアーでの作品鑑賞会の様子



展示作品「森の縁」の一部

レクリエーション

教職員テニス大会の開催

9月28日（土）、教職員硬式庭球同好会主催により、工学部コートにてミックスダブルス大会を開催しました。
参加者は総勢24名で、結果は次のとおりです。

（教職員硬式庭球同好会）

令和元年度 学内ミックスダブルス大会結果

【オープンリーグ戦】 令和元年9月28日（土）
会場：工学部クレートコート3面

Aブロック

氏名	藤田(進) 奥泉	浅野 溝端	藤田(和) 湯原	勝：負 (ゲーム数)	順位
藤田 進一郎(工) 奥泉 綾乃(工)		5 - 6 ×	6 - 2 ○	1 - 1 (11/19)	1
浅野 泰寛(工) 溝端 小百合(事)	6 - 5 ○		2 - 6 ×	1 - 1 (8/19)	3
藤田 和之(低) 湯原 綾子(低)	2 - 6 ×	6 - 2 ○		1 - 1 (8/16)	2

Bブロック

氏名	佐川 品川	清水 三浦	高橋 松原	勝：負 (ゲーム数)	順位
佐川 浩太(工) 品川 和絵(薬)		6 - 4 ○	6 - 1 ○	2 - 0	1
清水 泰貴(産連) 三浦 千穂(図)	4 - 6 ×		6 - 2 ○	1 - 1	2
高橋 英嗣(財務) 松原 友姫(教育)	1 - 6 ×	2 - 6 ×		0 - 2	3

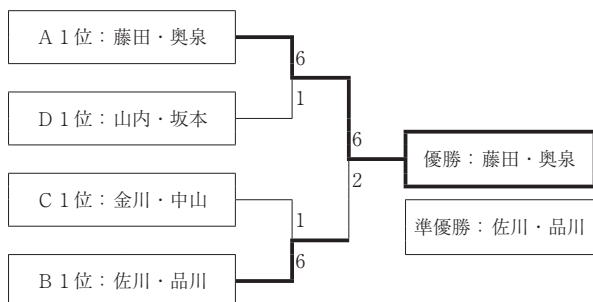
Cブロック

氏名	金川 中山	平田 山田	是安 大塚	勝：負 (ゲーム数)	順位
金川 真行(事) 中山 琴絵(事)		6 - 0 ○	6 - 2 ○	2 - 0	1
平田 康史(低) 山田 美和(電)	0 - 6 ×		6 - 0 ○	1 - 1	2
是安 晴樹(財務) 大塚 美波(財務)	2 - 6 ×	0 - 6 ×		0 - 2	3

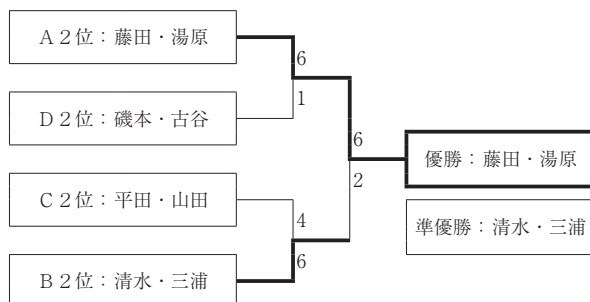
Dブロック

氏名	山内 坂本	磯本 古谷	塩田 進	勝：負 (ゲーム数)	順位
山内 隆嗣(事) 坂本 ゆう子(図)		6 - 1 ○	6 - 1 ○	2 - 0	1
磯本 善男(図) 古谷 久美子(図)	1 - 6 ×		6 - 0 ○	1 - 1	2
塩田 悠貴(学務) 進 万里奈(病)	1 - 6 ×	0 - 6 ×		0 - 2	3

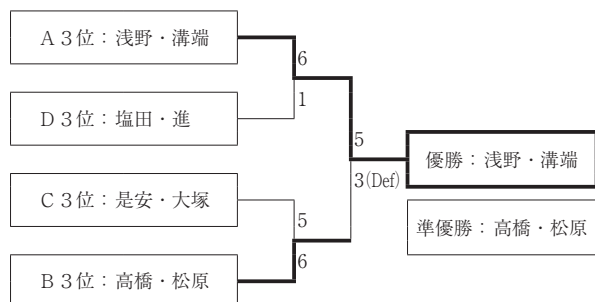
【決勝トーナメント（1位グループ）】



【決勝トーナメント（2位グループ）】



【決勝トーナメント（3位グループ）】



1位グループ優勝



1位グループ準優勝



2位グループ優勝



2位グループ準優勝



3位グループ優勝



3位グループ準優勝

令和元年度学内教職員フットサル大会の開催

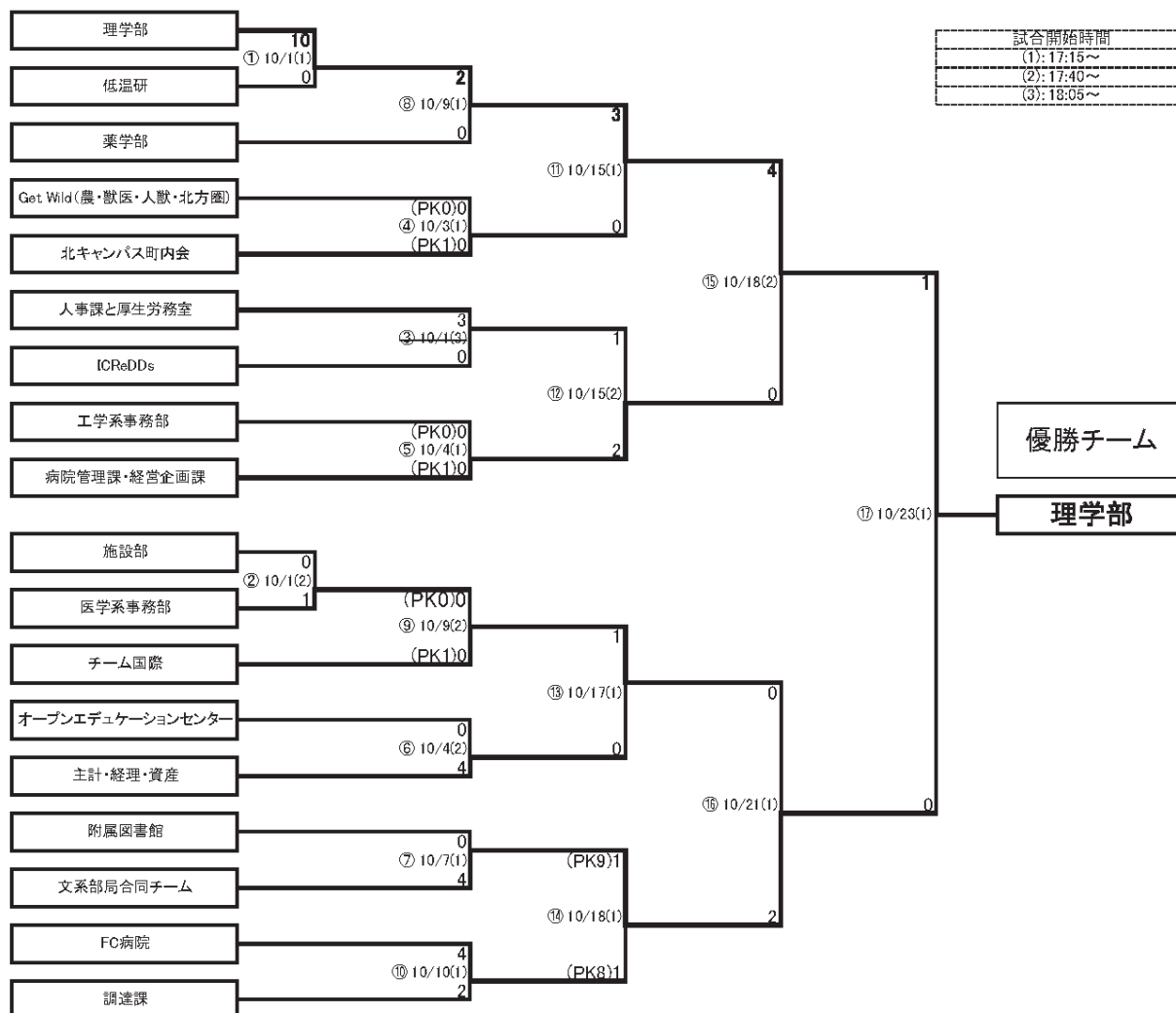
10月1日（火）から10月23日（水）にかけて学内教職員フットサル大会を第2体育館にて開催しました。各部局から多くご参加いただき、（部局合同チームを含めて）18チームにより、連日熱戦が繰り広げられました。

決勝戦では、理学部が文系部局合同チームに勝利し、優勝を飾っています。対戦結果は下記のとおりです。

また、教職員サッカークラブは入部・見学を随時受け付けています。興味のある方は、お近くの部員、もしくはホームページの問い合わせ先までご連絡ください。

◆北大教職員サッカークラブHP：<http://hokudaikyousyokuinsc.web.fc2.com/>

（教職員サッカークラブ）



大会での試合の様子



優勝した理学部チーム

■ 諸会議の開催状況

役員会（令和元年10月7日）

協議事項・学生の大学院入学資格について

報告事項・国立大学経営改革促進事業の選定結果について

- ・北海道大学ホームカミングデー2019の実施報告について
- ・平成30事業年度決算剰余金の繰越承認について
- ・会計検査院会計実地検査の実施について

教育研究評議会（令和元年10月15日）

議 題・学生の大学院入学資格について

報告事項・国立大学経営改革促進事業の選定結果について

- ・北海道大学ホームカミングデー2019の実施報告について
- ・学生の懲戒について
- ・産業創出講座等の設置について
- ・平成30事業年度財務諸表の承認について
- ・平成30事業年度決算剰余金の繰越承認について

役員会（令和元年10月28日）

議 案・学生の大学院入学資格について

- ・博士課程教育リーディングプログラムへの補助事業期間終了後の支援について

報告事項・令和元年度北海道大学進学相談会の開催結果について

- ・超過勤務実績について

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

■ 学内規程

国立大学法人北海道大学安全保障輸出管理規程の一部を改正する規程

（令和元年11月1日海大達第203号）

安全保障輸出の管理を行う部局等を見直すことに伴い、所要の改正を行ったものです。

■ 研修

研修名：令和元年度Excelを用いたテキストデータ取扱講座

開催期間：10月15日（火）

開催場所：情報基盤センター

研修目的：基本的な情報セキュリティ等の知識及びExcelを用いてテキストファイルやCSVファイル等を活用するための知識を習得すること



研修の様子

（総務企画部情報企画課）

研修名：令和元年度アドビイラストレータ研修

開催期間：10月28日（月）～29日（火）

開催場所：情報基盤センター

研修目的：アドビイラストレータの基本操作の実習を通して、既存データの編集、簡単な図面を組み合わせたイラスト作成など、業務上使用する上で必要となる基礎知識を習得する



研修の様子

（総務企画部情報企画課）

研修名：令和元年度北海道地区国立大学法人等会計基準研修

開催期間：令和元年10月1日（火）～3日（木）

開催場所：北海道大学学術交流会館第1会議室

研修目的：北海道地区国立大学法人等の会計事務に従事して間もない職員等に対し，国立大学法人（独立行政法人）会計基準，同注解及び実務指針に係る知識を習得させることを目的とする。



監査法人による講義



受講の様子



宮脇 淳教授による講義



修了証書を授与される受講生

（財務部主計課）

表敬訪問

海外

年月日	来 訪 者	来 訪 目 的
1.10.21	コロラド州立大学（アメリカ）Mark Stetter 獣医学・生物医科学部学部長	両大学の交流に関する懇談
1.10.31	国家留学基金管理委員会（中国）Li Qing 副秘書長	両国の交流に関する懇談



コロラド州立大学（アメリカ）Mark Stetter
獣医学・生物医科学部学部長（後列左から4番目）



国家留学基金管理委員会（中国）Li Qing 副秘書長（右から4番目）

（国際部国際連携課）

人事

令和元年11月1日付発令

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
【教授】 大学院水産科学研究院教授 大学院教育学研究院教授 大学院教育学研究院教授 国際連携研究教育局・大学院地球環境科学研究院教授 大学院歯学研究院教授 北方生物圏フィールド科学センター教授	工 藤 秀 明 河 西 哲 子 白 水 浩 信 山 本 正 伸 菅 谷 勉 宗 原 弘 幸	大学院水産科学研究院准教授 大学院教育学研究院准教授 大学院教育学研究院准教授 国際連携研究教育局・大学院地球環境科学研究院准教授 大学院歯学研究院准教授 北方生物圏フィールド科学センター准教授

新任教授紹介

令和元年11月1日付



水産科学研究院教授に

く どう ひで あき
工藤 秀明 氏

海洋生物資源科学部門海洋共生学分野

生年月日

昭和43年 4 月 3 日

最終学歴

北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了(平成 8 年 3 月)
博士（水産学）（北海道大学）

専門分野

魚類生理学，サケ母川回帰，地域特異の水産資源



教育学研究院教授に

か さい てつ こ
河西 哲子 氏

教育学部門教育心理学分野

生年月日

昭和44年 2 月 8 日

最終学歴

北海道大学大学院教育学研究科教育学専攻博士後期課程修了(平成14年 3 月)
博士（教育学）（北海道大学）

専門分野

視知覚認知過程論



教育学研究院教授に

しろ うず ひろ のぶ
白水 浩信 氏

教育学部門教育基礎論分野

生年月日

昭和44年 4 月26日

最終学歴

東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士課程修了(平成13年11月)
博士（教育学）（東京大学）

専門分野

教育思想



地球環境科学研究院教授に

やまもと まさ のぶ
山本 正伸 氏

地球圏科学部門環境変動解析学分野

生年月日

昭和39年 2 月23日

最終学歴

東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了(昭和63年 3 月)
理学博士（名古屋大学）

専門分野

古気候学・有機地球化学



歯学研究院教授に

すが や つとむ
菅谷 勉 氏

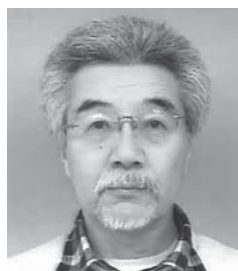
口腔医学部門口腔健康科学分野
歯周・歯内療法学教室

最終学歴

北海道大学歯学部卒業（昭和60年3月）
歯学博士（北海道大学）

専門分野

歯周病学，歯内療法学



北方生物圏フィールド科学
センター教授に

むね はら ひろ ゆき
宗原 弘幸 氏

共生生態系保全領域水圏生物資
源環境分野

最終学歴

北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了（平成元年3月）
水産学博士（北海道大学）

専門分野

魚類生態学・生態遺伝学

資料

役 職 員 数

令和元年10月1日現在

職 種	総 長	理 事	監 事	小 計	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	小 計	URA職	専門職	事務職員	技術職員	合 計
部 局 等	1人	5人	2人	8人	人	人	人	人	人	人		人	人	人	8人
役 員															
政策調整室													4		4
監査室													5		5
事務局	総務企画部											4	95	13	112
	財務部												79		79
	学務部												91		91
	研究推進部												35	1	36
	施設部												11	27	38
	国際部												14		14
附属図書館													89		89
法学研究科・法学部					36	16		3	2	57		3	18		78
水産科学院・水産科学研究院・水産学部					25	35		23		83				38	121
函館キャンパス事務部													23	4	27
環境科学院・地球環境科学研究院					18	24		9	1	52					52
環境科学事務部													11		11
理学院・理学研究院・理学部					71	66	10	40	1	188		1		18	207
理学・生命科学事務部													41	2	43
薬学研究院・薬学部					16	6	10	22		54				3	57
薬学事務部													9		9
農学院・農学研究院・農学部					44	34	31	16		125				11	136
農学・食資源学事務部													26	2	28
生命科学院・先端生命科学研究院					12	4	3	5		24					24
教育学院・教育学研究院・教育学部					12	20		4	1	37					37
教育学事務部													8		8
国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院					25	26	1	6		58					58
メディア・観光学事務部													10		10
保健科学院・保健科学研究院					21	13	7	31		72					72
工学院・工学研究院・工学部					88	95	3	85		271		2		50	323
工学系事務部													66	3	69
総合化学院															
経済学院・経済学研究院・経済学部					26	17				43		2			45
経済学事務部													8		8
医学院・医学研究院・医学部					32	27	17	65	2	143				13	156
医学系事務部													45	2	47
歯学院・歯学研究院・歯学部					17	19	1	40		77				4	81
歯学事務部													10	1	11
獣医学院・獣医学研究院・獣医学部					17	14	1	14		46				3	49
獣医学系事務部													18		18
文学院・文学研究院・文学部					50	29		8		87	3				90
文学事務部													16		16
情報科学研究院					39	33		17		89					89
医理工学院															
国際感染症学院															
国際食資源学院															
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部					13	4	2			19					19
北海道大病院					4	14	53	84		155			120	656	931
低温科学研究所					13	10	1	21		45			8	9	62
電子科学研究所					14	14		21		49				10	59
遺伝子病制御研究所					8	4	5	12		29				7	36
触媒科学研究所					8	5		6		19				6	25
スラブ・ユーラシア研究センター					7	2		2	1	12					12
情報基盤センター					7	5		2		14					14
人獣共通感染症リサーチセンター					5	3	3			11				2	13
アイソトープ総合センター					1	1		1		3				2	5
量子集積エレクトロニクス研究センター					3	3				6					6
北方生物圏フィールド科学センター					13	19		8		40			20	69	129
観光学高等研究センター					3	2				5					5
アイヌ・先住民研究センター					1	6		1		8					8
社会科学実験研究センター															
環境健康科学研究教育センター															
北極域研究センター					4	1		4		9					9
広域複合災害研究センター						1		1		2					2
脳科学研究教育センター															
外国語教育センター															
数理・データサイエンス教育研究センター															
総合博物館					3	3		3		9					9
大学文書館						1				1		2			3
学生相談総合センター						3	1			4		3			7
保健センター					1					1				8	9
埋蔵文化財調査センター								1		1					1
国際連携研究教育局					21(41)	9(28)	4(8)	7(19)		41					41
技術支援本部															
情報環境推進本部												1			1
アドミッションセンター															
人材育成本部															
創成研究機構						1		1		2		1		8	11
高等教育推進機構					5	12		9		26				4	30
サステイナブルキャンパスマネジメント本部															
安全衛生本部					2					2		1			3
大学力強化推進本部											10				10
産学・地域協働推進機構					2					2		6			8
総合 I R 室															
国際連携機構					1					1	1	3			5
北キャンパス合同事務部													17		17
合 計	1	5	2	8	688	601	153	572	8	2,022	14	29	897	976	3,946

※国際連携研究教育局の教職員数の()内は、北海道大学ユニットの本務者数で内数。当該教職員は、原籍組織の教職員数に計上

(総務企画部人事課)

在籍学生数（令和元年10月1日現在）

- （注）1（ ）内は女子の内数，〈 〉内は女子の比率。
 2〔 〕内は2年次編入学定員で外数。
 3〔 〕内は3年次編入学定員で外数（工学部は高専卒業者の受入れ）。
 4以下の表は，すべて外国人留学生数を含む。

■学部

学部等名	入学定員	在籍者数							研究生	聴講生	科目等 履修生	特 別 聴講学生	合 計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文 学 部	185人〔人〕	一人	185人	197人	222人	一人	一人	604人 (275<45.5%〉)	53人	13人	3人	65人	738人 (364<49.3%〉)
教育学部	50〔10〕	—	48	65	69	—	—	182 (69<37.9〉)	20	1	7	7	217 (95<43.8〉)
法 学 部	200〔10〕〔10〕	—	217	224	231	—	—	672 (191<28.4〉)		3	2	18	695 (206<29.6〉)
経済学部	190	—	203	196	233	—	—	632 (154<24.4〉)	38			12	682 (188<27.6〉)
理 学 部	300	—	320	316	357	—	—	993 (224<22.6〉)			1	14	1,008 (229<22.7〉)
医 学 部	287〔5〕	—	295	315	290	114	107	1,121 (482<43.0〉)	2			4	1,127 (485<43.0〉)
歯 学 部	53	—	57	50	47	56	52	262 (106<40.5〉)	1				263 (106<40.3〉)
薬 学 部	80	—	79	82	78	31	29	299 (128<42.8〉)			7		306 (129<42.2〉)
工 学 部	670〔10〕	—	688	727	815	—	—	2,230 (288<12.9〉)		1		36	2,267 (297<13.1〉)
農 学 部	215	—	224	220	246	—	—	690 (262<38.0〉)	2	6		11	709 (269<37.9〉)
獣医学部	40	—	40	43	43	40	49	215 (109<50.7〉)				1	216 (110<50.9〉)
水産学部	215	—	230	223	196	—	—	649 (173<26.7〉)	2			10	661 (179<27.1〉)
現代日本学 プログラム課程	—	—	14	12	16	—	—	42 (30<71.4〉)					42 (30<71.4〉)
総合教育部	—	2,661	—	—	—	—	—	2,661 (767<28.8〉)				254	2,915 (912<31.3〉)
合 計	2,485〔15〕〔30〕	2,661	2,600	2,670	2,843	241	237	11,252 (3,258<29.0〉)	118	24	20	432	11,846 (3,599<30.4〉)

※学部の入学定員は，学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

■研究所等

研 究 所 等 名	研 究 生	特別研究学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合 計
人獣共通感染症リサーチセンター	1人	人	人	人	1人(0<0.0〉)
量子集積エレクトロニクス研究センター	2		—	—	2(1<50.0〉)
アイヌ・先住民研究センター	1		—	—	1(1<100.0〉)
低温科学研究所	3		—	—	3(3<100.0〉)
電子科学研究所	4	1	—	—	5(2<40.0〉)
遺伝子病制御研究所	5		—	—	5(3<60.0〉)
触媒科学研究所	6		—	—	6(0<0.0〉)
スラブ・ユーラシア研究センター	1		—	—	1(1<100.0〉)
情報基盤センター	3		—	—	3(1<33.3〉)
北方生物圏フィールド科学センター	9		—	—	9(5<55.6〉)
高等教育推進機構	5		61	31	97(59<60.8〉)
合 計	40	1	61	31	133(76<57.1〉)

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。
生命科学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数。
医学院の修士課程1年次の上段は公衆衛生学1年コースの学生数。

■大学院

研究科名	修士課程(博士前期)				専門職学位課程					博士課程(博士後期及び博士一貫)						研究 生	聴 講 生	科目 等履修 生	特別 研究 生	特別 聴講 生	合 計
	入学 定員	1年次	2年次	小 計	入学 定員	1年次	2年次	3年次	小 計	入学 定員	1年次	2年次	3年次	4年次	小 計						
文 学 院	90人	106人		106人 (49/ 46.2%)	一人	一人	一人	一人	一人	35人	30人			一人	30人 (9/30.0%)		6人	2人	7人	4人	155人 (72/ 46.5%)
文学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10					10 (7/ 70.0)
文学研究科	—	4	112	116 (73/ 62.9)	—	—	—	—	—	—	2	39	84	—	125 (60/48.0)						241 (133/ 55.2)
法学研究科	20	24	20	44 (21/ 47.7)	50	16 13	12 16	13 —	70 (16/22.9)	15	8	7	14	—	29 (9/31.0)	26			3	5	177 (68/ 38.4)
情報科学院	179	205		205 (24/ 11.7)	—	—	—	—	—	43	44			—	44 (6/13.6)				1	1	251 (31/ 12.4)
情報科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15					15 (5/ 33.3)
情報科学研究科	—		228	228 (19/ 8.3)	—	—	—	—	—	—		41	63	—	104 (18/17.3)						332 (37/ 11.1)
水産科学院	90	118	122	240 (59/ 24.6)	—	—	—	—	—	35	15	17	24	—	56 (14/25.0)				1		297 (74/ 24.9)
水産科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3					3 (0/ 0.0)
環境科学院	159	157	163	320 (104/ 32.5)	—	—	—	—	—	63	41	44	69	—	154 (61/39.6)		1		2	6	483 (169/ 35.0)
地球環境科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28					28 (15/ 53.6)
理 学 院	127	146	143	289 (58/ 20.1)	—	—	—	—	—	55	45	39	70	—	154 (26/16.9)				2		445 (86/ 19.3)
理学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17					17 (8/ 47.1)
農 学 院	142	195	189	384 (133/ 34.6)	—	—	—	—	—	36	52	37	65	—	154 (48/31.2)				3	1	542 (183/ 33.8)
農学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18					18 (9/ 50.0)
生命科学院	132	130	155	285 (115/ 40.4)	—	—	—	—	—	44 6	41 2	34 5	66 6	— 9	163 (41/25.2)				1		449 (156/ 34.7)
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1					1 (1/100.0)
教育大学院	45	50	53	103 (60/ 58.3)	—	—	—	—	—	21	23	17	55	—	95 (49/51.6)			2	1		201 (112/ 55.7)
教育学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6					6 (4/ 66.7)
国際広報メディア・ 観光学院	47	52	59	111 (84/ 75.7)	—	—	—	—	—	12	15	7	50	—	72 (33/45.8)			3		5	191 (124/ 64.9)
メディア・コミュニ ケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25					25 (20/ 80.0)
保健科学院	40	58	50	108 (64/ 59.3)	—	—	—	—	—	10	14	8	19	—	41 (16/39.0)						149 (80/ 53.7)
保健科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22					22 (13/ 59.1)
工 学 院	326	397	395	792 (125/ 15.8)	—	—	—	—	—	69	85	47	97	—	229 (42/18.3)				9	19	1,049 (175/ 16.7)
工学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	39					39 (11/ 28.2)
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0/ 0)						0 (0/ 0)
総合化学院	129	153	163	316 (76/ 24.1)	—	—	—	—	—	38	43	38	59	—	140 (39/27.9)				3		459 (117/ 25.5)
経済学院	35	47	55	102 (66/ 64.7)	20	18	20	—	38 (14/36.8)	8	8	7	10	—	25 (12/48.0)				1	4	170 (96/ 56.5)
経済学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2					2 (1/ 50.0)
経済学研究科	—	—	1	1 (1/100.0)	—	—	—	—	0 (0/ 0)	—	—	—	8	—	8 (0/ 0.0)						9 (1/ 11.1)
医 学 院	20	32	32	55 (24/ 43.6)	—	—	—	—	—	90	112	105	79	—	296 (71/24.0)		1		3		355 (96/ 27.0)
医学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8					8 (4/ 50.0)
医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	11	148	161 (38/23.6)						161 (38/ 23.6)
歯 学 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	39	47	17	—	103 (34/33.0)						103 (34/ 33.0)
歯学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15					15 (9/ 60.0)
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	41	46 (18/39.1)						46 (18/ 39.1)
獣医学大学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	13	12	16	—	41 (14/34.1)						41 (14/ 34.1)
獣医学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4					4 (2/ 50.0)
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	27	30 (13/43.3)						30 (13/ 43.3)
医理工学院	12	16	11	27 (4/ 14.8)	—	—	—	—	—	5	7	6	8	—	21 (2/ 9.5)						48 (6/ 12.5)
国際感染症学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	12	17	14	—	43 (18/41.9)						43 (18/ 41.9)
国際食資源学院	15	19	17	36 (18/ 50.0)	—	—	—	—	—	6	6	—	—	—	6 (4/66.7)				1		43 (22/ 51.2)
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	27	38	—	65 (18/27.7)	—	—	—	—	—	—		1	2			68 (18/ 26.5)
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4					4 (1/ 25.0)
合 計	1,608	1,900	1,968	3,868 (1,177/ 30.4)	100	74	86	13	173 (48/27.7)	659	657	578	910	225	2,370 (695/29.3)	243	9	9	37	46	6,755 (2,101/ 31.1)

(学務部学務企画課)

広 報 誌 等 一 覧

令和元年10月調査

部 局 名		広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
事 務 局	企画課	北海道大学近未来戦略150（英語・日本語併記版）	不定期	H26年 8 月	北海道大学創基150年に向けた近未来戦略	冊子
	広報課	ビジュアルブック	不定期	R 1 年 9 月	色彩豊かで伝統と趣のあるキャンパス風景を四季ごとに紹介	冊子
		北海道大学概要	年 1 回	H31年度版	本学の沿革、組織、職員数等、大学の概要を掲載	冊子、HTML版、PDF版
		北海道大学概要（英語版）	年 1 回	H31年 7 月	本学の沿革、組織、職員数等、大学の概要を掲載	冊子、PDF版
		リテラボプリ	年 2 回	R 1 年 9 月	北海道大学の新たなプロジェクトや変革、教育研究、及び緑豊かなキャンパス等を紹介	冊子、PDF版
		リテラボプリ（英語版）	年 2 回	R 1 年 9 月	北海道大学の新たなプロジェクトや変革、教育研究、及び緑豊かなキャンパス等を紹介	冊子、PDF版
		北大時報	月 1 回	R 1 年10月	その月の大学や部局のニュース、お知らせ等を掲載	冊子、PDF版
		キャンパスガイドマップ	不定期	H31年 1 月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	冊子
		Campus Guide Map（キャンパスガイドマップ 英語版）	PDF：年1回 冊子：不定期	R 1 年 7 月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	冊子、PDF版
		Campus Guide Map（キャンパスガイドマップ 繁体字版）	不定期	H30年 3 月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	冊子、PDF版
		Campus Guide Map（キャンパスガイドマップ 簡体字版）	不定期	H30年 3 月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	冊子、PDF版
		Tackling Global Issues	年 1 回	H31年 3 月	世界の課題解決を目指す北海道大学の先端研究を紹介	冊子、PDF版
		Spotlight on Research	不定期	H31年 3 月	北海道大学の多彩な研究成果（該当年の英文プレスリリースから10本程度掲載）	冊子、PDF版
		HU At a Glance	不定期	H31年 3 月	一目でわかる北海道大学の概要	冊子、PDF版
		Portable Paper Clark	不定期	H30年12月	英文SNSの紹介	フライヤー
		ACADEMIC FANTASISTA 国民との科学・技術対話事業	年 1 回	H30年度版	北海道大学における「国民との科学・技術対話」推進に関する研究支援事業の紹介	冊子、PDF版
		Strategy for Making Innovation 理の社会実装を目指して	不定期	H29年度版	北海道大学の研究者の紹介と、産学・地域協働を支えるシステムの紹介	冊子、PDF版
		Reach アウトリーチイベントのつくりかたハンドブック	不定期	H28年 3 月	教職員を対象としたアウトリーチのイベント企画のためのハンドブック	冊子、PDF版
		大地と森と海とー農林水産学の発展をめざしてー	不定期	H31年 3 月	札幌農学校時代から140年以上受け継がれた、北海道大学の農林水産学の「今」を紹介するフォトブック。	冊子、PDF版
	主計課財務管理室	財務レポート	年 1 回	R 1 年10月	財務諸表では伝わりにくい財務情報をわかりやすく分析し、併せて本学の活動のうち特徴的なものを財務情報を交えて紹介	冊子、PDF版
	教育推進課	新渡戸カレッジ（学部教育コース）パンフレット	年 1 回	R 1 年 8 月	新渡戸カレッジ（学部教育コース）の概要を掲載	冊子
		新渡戸カレッジ（学部教育コース）パンフレット（企業向け）日本語版	不定期	H30年 2 月	新渡戸カレッジ（学部教育コース）の概要を掲載（企業向け）	冊子
		新渡戸カレッジ（学部教育コース）パンフレット（企業向け）英語版	不定期	H30年 4 月	新渡戸カレッジ（学部教育コース）の概要を掲載（企業向け）	冊子
		新渡戸カレッジ（学部教育コース）募集チラシ	年 1 回	H31年 2 月	新渡戸カレッジ（学部教育コース）の募集案内	チラシ
		新渡戸カレッジ（大学院教育コース）リーフレット	年 1 回	H31年 2 月	新渡戸カレッジ（大学院教育コース）の概要を掲載	リーフレット
		新渡戸カレッジ（大学院教育コース）大学院合格者対象広報チラシ	年 2 回	R 1 年 7 月	新渡戸カレッジ（大学院教育コース）の募集案内	チラシ
	学生支援課	えるむ	年 2 回	H31年 4 月	学生向けに学内行事・ニュース・お知らせ等を掲載	冊子、HTML版
		北大元気プロジェクト実施報告書	年 1 回	R 1 年 5 月	北大元気プロジェクトの活動報告を掲載	PDF版
		学生生活の案内	年 1 回	H31年 4 月	学部学生向けの学生生活案内	冊子
		学生相談室 広報用カード	不定期	H30年 3 月	学生相談室の概要	冊子
		アクセシビリティ支援室リーフレット	不定期	H28年 7 月	アクセシビリティ支援室の概要	冊子、PDF版
		キャンパスライフサポートマップ	不定期	H28年 7 月	アクセシビリティ調査の結果と学内の関係機関と支援学生の協力により作成した環境情報を掲載	冊子
		北大生のための相談先お助けガイド	年 1 回	H31年 4 月	学内のサポート機関の紹介及びフローチャートを用いた相談先の紹介	パンフレット・PDF版
		とってま北大生	4 年に 1 回	H30年 9 月	学生生活実態調査の結果を元に北大生の学生生活を紹介	冊子、PDF版
		北海道大学学生寮入寮案内－恵迪寮－	年 1 回	H31年 1 月	学生寮（恵迪寮）の概要・入寮出願手続き等を掲載	冊子、PDF版
		北海道大学学生寮入寮案内－霜星寮－	年 1 回	H31年 1 月	学生寮（霜星寮）の概要・入寮出願手続き等を掲載	冊子、PDF版
		北海道大学学生寮入寮案内－北大インターナショナルハウス北23条 2 号棟－	年 1 回	H31年 1 月	学生寮（北大インターナショナルハウス北23条 2 号棟）の概要・入寮出願手続き等を掲載	冊子、PDF版
	入試課	Be ambitious（大学案内）	年 1 回	R 1 年 6 月	学部等の紹介、修学コースマップ、入試・教育・学生生活の紹介	冊子、デジタルパンフレット

部 局 名		広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態	
事務局	入試課	オープンキャンパス	年 1 回	R 1 年 5 月	オープンキャンパスの実施内容を掲載	冊子、PDF版	
		AO入試案内	年 1 回	R 1 年 5 月	AO入試の概要について掲載	冊子、デジタルパンフレット	
		入学者選抜要項	年 1 回	R 1 年 7 月	入学者選抜に関する概要	PDF版	
		北大キャンパスビジットプロジェクト 北大ぐるぶらマップ	不定期	H30年 7 月	北大キャンパスビジットプロジェクト概要紹介、キャンパス案内	冊子	
		知のフロンティア ー北海道大学の研究者は、いまー	不定期	H30年 1 月	本学教員の研究内容紹介	冊子、デジタルパンフレット	
		外国人留学生のための北海道大学案内	年 1 回	H31年 3 月	外国人留学生のための本学紹介	冊子、PDF版	
		INTERNATIONAL STUDENT PROSPECTUS（『外国人留学生のための北海道大学案内』の英語版）	年 1 回	H31年 3 月	外国人留学生のための本学紹介	冊子、PDF版	
		DEGREE PROGRAMS IN ENGLISH	年 1 回	H31年 3 月	英語で修得できる学位プログラムの紹介	冊子、PDF版	
	教育推進課・入試課	Modern Japanese Studies Program（MJSP）	年 1 回	H31年 3 月	現代日本学プログラムの概要を掲載	冊子、PDF版	
		Modern Japanese Studies Program（MJSP）Flyer(English)	年 1 回	R 1 年 7 月	現代日本学プログラムの概要をより簡潔にまとめた内容を掲載（英文）	Web掲載	
		Integrated Science Program（ISP）	年 1 回	H31年 1 月	ISPのプログラム概要を掲載	冊子、PDF版	
		Integrated Science Program（ISP）Flyer(English)	年 1 回	R 1 年 7 月	ISPの概要をより簡潔にまとめた内容を掲載（英文）	Web掲載	
	キャリア支援課 （キャリアセンター名義で発行）	キャリア通信	年 3 回	R 1 年 9 月	キャリアセンター利用案内、各種就職ガイダンス・セミナー情報、インターンシップ情報等を掲載（発行時期により内容は異なる）	冊子、PDF版	
		就職活動のためのキャリアハンドブック	年 1 回	R 1 年 9 月	各種就職関連情報等を掲載	冊子	
		就職活動のためのキャリアハンドブック（日本語・英語併記版、日本語・中国語併記版）	不定期	R 1 年 9 月	日本での就職を希望する外国人留学生向けに日本独自の慣習や就職活動の流れ等を掲載	冊子	
	国際交流課	HANDBOOK FOR INTERNATIONAL STUDENTS	年 1 回	R 1 年 8 月	在学中の留学生に必要な手続き及び生活情報を提供	冊子、PDF版	
		Exchange Possibilities at Hokkaido University	年 1 回	H30年12月	本学の交換留学プログラムの紹介	冊子	
		Hokkaido University Short-Term Exchange Program	年 1 回	H30年12月	北海道大学短期留学プログラムHUSTEPの紹介及び開講科目の授業内容等を掲載	冊子、PDF版	
		JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE STUDIES PROGRAM（JLCSP）	年 1 回	H30年12月	北海道大学短期留学プログラムJLCSPの紹介及び開講科目の授業内容等を掲載	冊子、PDF版	
		日本語・国際教育研究紀要	年 1 回	H31年 3 月	研究論文、研究ノート、実践報告、調査報告	冊子、PDF版（HUSCUP配信）	
		北海道大学国際教育研究センターブックレット	不定期	H31年 3 月	留学生・日本人学生の共修教育における大学と地域の連携	冊子、PDF版	
		北海道大学日本語スタンダード2019年度版	不定期	H31年 3 月	日本語教育におけるレベル別言語行動目標、Can-Do Listなど	冊子、PDF版	
		北海道大学一般日本語コース授業ガイド（日英両言語版版）	不定期	H31年 3 月	北大留学生向け日本語コース紹介	冊子、PDF版	
		多文化交流科目リーフレット	年 1 回	H31年 3 月	多文化交流科目についての案内と2019年度開講科目一覧など	冊子、PDF版	
		北大生のための留学ハンドブック	年 1 回	H31年 3 月	北大生のための留学情報提供誌	冊子	
		全学教育科目 一般教育演習（フレッシュマンセミナー）グローバル・キャリア・デザイン [通称：ファースト・ステップ・プログラム（FSP）]	不定期	H31年 3 月	FSP概要	冊子	
		国際インターンシップ	不定期	H31年 3 月	国際インターンシップ概要	冊子	
		Hokkaidoサマー・インスティテュートリーフレット（英語版のみ）	年 1 回	H30年12月	HSIプログラム概要	冊子	
		Hokkaidoサマー・インスティテュートポスター（日本語版・英語版）	年 1 回	H30年12月	HSIプログラム概要	紙媒体	
		Hokkaidoサマー・インスティテュート三つ折りリーフレット（日本語・英語併記）	年 1 回	H30年12月	HSIプログラム概要	冊子	
		Hokkaidoサマー・インスティテュートPOP（日本語・英語併記）	年 1 回	H30年12月	HSIプログラム概要	紙媒体	
		Hokkaidoサマー・インスティテュート学部学生用リーフレット	年 1 回	H30年12月	HSIプログラム概要	紙媒体	
		RJE3リーフレット（日本語・英語）	不定期	H31年 3 月	RJE3プログラム概要	リーフレット	
		PAREリーフレット（日本語・英語）	不定期	H28年 3 月	PAREプログラム概要	リーフレット	
		施設企画課	北海道大学キャンパスマスタープラン2018	不定期	H30年 3 月	北大の新しい大学像の実現を期するために、キャンパス空間利用の大綱となる計画。1996年に策定し、2006年の改訂を経て2018年に改訂したもの。	冊子
			北海道大学キャンパスマスタープラン2018 リーフレット	不定期	H30年 3 月	キャンパスマスタープラン2018の概要を掲載	リーフレット
施設整備課		歴史的資産ガイドマップ	不定期	H31年 3 月	北海道大学の歴史的資産（建造物等）をマップと写真で紹介	冊子、PDF版	
		HISTORIC HERITAGE VISITOR GUIDE AND MAP（歴史的資産ガイドマップ 英語版）	不定期	H31年 3 月	北海道大学の歴史的資産（建造物等）をマップと写真で紹介	冊子、PDF版	
国際連携課		HaRPリーフレット（日本語・ロシア語）	不定期	H31年 3 月	HaRPプログラム概要	冊子	

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
国際連携機構	ソウルオフィス リーフレット（日本語版、韓国語版）	不定期	H28年4月	韓国ソウルオフィス及び北海道大学の紹介	冊子
	北海道大学留学案内ガイド（韓国語版）	不定期	H28年5月	韓国人留学生向けの入学案内（発行：韓国ソウルオフィス）	冊子
	北海道大学留学案内ガイド（中国語版）	不定期	R1年10月	中国人留学生向けの入学案内（発行：中国北京オフィス）	冊子
	アフリカルサカオフィス リーフレット（英語版）	不定期	R1年8月	アフリカルサカオフィスの紹介	冊子
文学院・文学部	北海道大学大学院文学研究院・文学部概要	年1回	R1年8月	文学部の沿革、歴代学部長、組織運営等の概要を掲載	PDF版
	北海道大学大学院文学院案内	年1回	R1年6月	文学院の特徴、学院の担当教員や専攻・研究室紹介、学生生活、授業内容、入試情報、進路・就職情報等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学文学部案内	年1回	R1年7月	学部の担当教員や履修コース紹介、学生生活、授業内容、留学情報、入試情報、進路・就職情報等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学文学部学外評価委員会報告書	不定期	H27年12月	外部評価報告書	冊子
	北海道大学文学研究院紀要	年3回	R1年7月	文学研究科専任教員の研究成果を論文として掲載	WEB（機関リポジトリ）
	北海道大学大学院文学研究科研究論集	年1回	H30年12月	文学研究科大学院学生の研究成果を論文として掲載	冊子、WEB（機関リポジトリ）
	北海道大学大学院文学研究科研究叢書	年1～3回	H30年11月	文学研究科専任教員の研究成果や共同研究の公表	冊子
	Journal of the Graduate School of Letters	年1回	H31年3月	文学研究科教員及び大学院学生の研究成果を英文論文として掲載	冊子、WEB（機関リポジトリ）
	北海道大学大学院文学研究院ライブラリ	年1～2回	R1年8月	文学研究院専任教員の研究成果や共同研究の成果、公開講座のテキストを掲載	冊子
	北海道大学大学院文学院 若手研究者支援リーフレット	不定期	H31年4月	文学研究院が大学院生向けに実施している独自の支援事業の概要を紹介するリーフレット	冊子
	文学院紹介動画	不定期	H30年6月	2019年4月設置予定の文学院の特徴を紹介する動画	動画
	文学院大学院進学説明会配付資料（教養深化プログラム）	不定期	R1年6月	2019年4月開設の教養深化プログラムの特徴を紹介するリーフレット	冊子、PDF版
	文学院大学院進学説明会配付資料	年1回	R1年6月	文学院の入試情報、カリキュラム、支援情報、進路情報、学位論文題目などを掲載	冊子
	Faculty of Humanities and Human Sciences/ Graduate School of Humanities and Human Sciences/ School of Humanities and Human Sciences	不定期	R1年7月	文学研究院・文学院・文学部の海外向け英文パンフレット、文学研究院・文学院・文学部の概要をコンパクトにまとめて掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院 文学院（仮称）紹介リーフレット	不定期	H29年10月	2019年4月設置予定の文学院の特徴を紹介するリーフレット	冊子
	留学ガイドブック	年1回	H31年3月	部局間協定校へ留学を希望する、文学研究科・文学部の学生向けガイドブック	冊子
法学研究科・法学部	法学部案内 Be Ambitious	年1回	R1年6月	法学部での学生生活、学修内容や教員等の紹介	冊子、PDF版
	北大法学論集	年6回	R1年9月	文献の論説、資料の紹介及び判例研究を掲載	冊子、PDF版
	北大法政ジャーナル	年1回	H30年12月	法学研究科の「秀」及び「優」に相当する修士論文及びリサーチペーパー、並びに法科大学院修了者が修了の次年度1月末までに提出し「秀」及び「優」相当の修士論文と同等の水準を有すると認められた論文	冊子
	附属高等法政教育研究センター NewsLetter j-mail	不定期	H28年9月	主催シンポジウムの報告、所属教員・研究会の研究内容等を掲載	PDF版
	大志ある法曹をめざして（法科大学院パンフレット）	年1回	H31年3月	法科大学院の教育プログラム、教員の紹介、入試制度等を掲載	冊子、PDF版
	自己点検評価・外部評価報告書	不定期	H26年11月	法学研究科・法学部の自己点検・評価報告書 法学研究科・法学部の外部評価報告書	冊子、PDF版
	自己点検・評価報告書評価資料集	不定期	H26年11月	法学研究科・法学部の自己点検・評価に関する資料集	冊子
	知的財産法政策学研究	年2回	R1年10月	知的財産法政策学研究に関する研究報告	冊子、PDF版
情報科学院・情報科学研究院	北海道大学大学院情報科学院パンフレット	年1回	H31年4月	情報科学院の研究内容等に関する紹介	冊子、PDF版
	北海道大学大学院情報科学院（日本語・英語併記リーフレット）	年1回	H31年4月	情報科学院の紹介	冊子、PDF版
	IST NEWS	年4回	R1年10月	情報科学院・情報科学研究院のニュースを掲載	冊子、PDF版
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部概要	年1回	R1年度版	沿革、組織、講座等の紹介（一般向け）	冊子、PDF版
	北海道大学水産学部 PR誌 aQua	年1回	R1年7月	学部、学院、各学科及び各専攻の紹介（学生向け）	冊子、PDF版
	北海道大学水産学部附属練習船おしよろ丸	不定期	H27年1月	附属練習船おしよろ丸の概要紹介	冊子
	北海道大学水産学部附属練習船うしお丸	不定期	H14年3月	附属練習船うしお丸の概要紹介	冊子
	北海道大学水産科学研究彙報（Bulletin of Fisheries Sciences, Hokkaido University）	年2回	R1年8月	英文・和文で書かれた報文、短報等をまとめたもの	PDF版
	Memoirs of the Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University（北海道大学大学院水産科学研究院紀要）	年1回	H29年12月	学術的価値を有し、まとまった研究成果を公表する報文、特定分野に従来の研究を総合的にまとめた総合論文（レビュー）等を掲載	PDF版

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
水産科学院・ 水産科学研究院・ 水産学部	Data Record of Oceanographic Observations and Exploratory Fishing (海洋調査漁業試験要報)	年1回	H31年1月	本学部練習船を用いて行った海洋観測、生物調査、漁業試験結果の紹介	PDF版
	北海道大学水産科学研究科・水産学部の現状と課題－自己点検評価報告書－	不定期	H20年3月	水産学部の現状と今後の課題をまとめたもの	冊子
	北海道大学水産科学研究科・水産学部の現状と課題－外部点検評価報告書－	不定期	H20年4月	水産学部の現状と今後の課題をまとめたもの	冊子
	学生寮入寮案内－北晨寮	不定期	H28年12月	学生寮(北晨寮)の概要・入寮手続き等を掲載(WEB版)	PDF版
環境科学院・ 地球環境科学研究院	北海道大学大学院環境科学院の紹介	年1回	H31年度版(H31年4月)	学院の組織、各専攻の紹介等、環境科学院の概要を掲載	冊子
	英文リーフレット	年1回	H31年度版(H31年4月)	学院の組織、各専攻の紹介等、環境科学院の概要を掲載	冊子、PDF版
理学院・ 理学研究院・ 理学部	理学部 学部案内	2～3年に1回	H31年4月	理学部各学科の概要や附属施設の紹介及び卒業生の進路、メッセージ等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学理学部広報誌「彩」	年2回	R1年8月	理学部各学科を特集で紹介、理学部OB・OG紹介、識者による理学と理学部への期待、学生受賞情報、理学部の歴史等を掲載	冊子、PDF版
	理学部ハンドアウト(簡易版パンフレット)	不定期	H28年12月	理学部各学科の簡単な紹介	冊子
	School of Science(理学部リーフレット)	不定期	H29年8月	理学部各学科の簡単な紹介(英文)	冊子、PDF版
	International Course in Graduate School of Science(理学院パンフレット)	年1回	H31年4月	理学院の紹介(英文)	冊子、PDF版
	Faculty of Science(理学研究院パンフレット)	不定期	H31年4月	理学研究院の紹介(英文)	冊子、PDF版
	北海道大学大学院理学院数学専攻パンフレット	年1回	R1年6月	数学専攻スタッフ一覧、専門紹介、修士課程の履修について掲載	冊子、WEB(PDF版)
	Hokkaido Mathematical Journal(紀要)	年3回	R1年10月	研究論文	冊子
	数学科目ガイド	不定期	H30年4月	数学科の学部学生向け科目案内(全学教育科目、専門科目)	WEB(PDF版)
	Hokkaido University Preprint Series in Mathematics	不定期	R1年8月	研究論文速報(HPにて公開)	WEB(HUSCAP)
	Hokkaido University Technical Report Series in Mathematics	不定期	R1年7月	研究集会、特別講演等、本学で講演されたもののアブストラクト集	WEB(HUSCAP)、冊子
	北海道大学理学部数学科ガイド	年1回	R1年5月	1年生向け数学科の案内	冊子
	北海道大学理学部化学科パンフレット	不定期	H27年6月	化学科の研究室・研究内容等の紹介	パンフレット
	Annual Report2018(化学部門)	年1回	R1年7月	各研究室の研究業績・外部資金獲得状況等の紹介、各種大学院教育プログラム実績の紹介	WEB(PDF版)
	物理学部門年次報告書	年1回	H29年4月	部門の活動一覧、各研究グループの成果報告	
	北海道大学理学部物理学科パンフレット	不定期	H29年4月	カリキュラム、研究室等の紹介	
	北海道大学理学部生物科学科(生物学)学科案内	年1回	R1年5月	高校生・一般向け講座紹介、入学から卒業までの過程、授業内容、卒業実習について、大学院への進学、卒業後の進路掲載、教員名簿	冊子
	北海道大学理学部生物科学科(生物学)広報	不定期	R1年10月	高校生・一般向け講座紹介、教員紹介、各種お知らせ、いきものがたり、生物学者列伝、入学から卒業までの過程、授業内容等を掲載(HPにて公開)	WEB
	北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)パンフレット	年1回	R1年7月	学科内容、研究室紹介	パンフレット
	北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)「学部・学科紹介」	年1回	H31年4月	【1年生対象】高分子機能学が分かる！身近に感じる！「学部・学科紹介」	リーフレット
	北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)広報	不定期	H31年4月	学科内容、研究室紹介、留学・国際交流、卒業生の声、動画・高分子図鑑など	WEB
	理学部SDGsチャンネル	不定期	H31年4月	理学部のSDGsの取り組みの広報	デジタルサイネージ(理学部2号館玄関)
	北海道大学大学院理学院宇宙理学専攻 専攻案内パンフレット	不定期	H25年6月	専攻内容及び各研究室研究内容メンバーの紹介	
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻概要	年1回	H28年5月	専攻の組織、カリキュラム、講座紹介・教員紹介等を掲載	
	北海道大学理学部地球惑星科学科パンフレット	不定期	H29年4月	学科内容の紹介、教員紹介	
	北海道大学地球物理学研究報告	年1回以上	H31年3月	研究論文の発表	WEB(HUSCAP)
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星ダイナミクス講座	不定期	H29年3月	ダイナミクス講座の研究教育活動及び構成員名簿を掲載	パンフレット
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星システム科学分野	不定期	H28年3月	システム科学講座の研究教育活動及び構成員名簿を掲載	パンフレット
	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター	不定期	H29年4月	学部学生を対象として、沿革、分野の紹介等、センターの概要を掲載	パンフレット
	The Institute of Seismology and Volcanology Faculty of Science, Hokkaido University	不定期	H24年3月	外国人研究者及び留学生等を対象として、沿革、分野の紹介等、センターの概要を掲載	パンフレット
	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター年報	年1回	H30年8月	センターとしての活動・研究活動・教育活動及び構成員名簿を掲載	WEB(PDF版)、冊子

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
薬学研究院・薬学部	生命科学の最先端へ	隔年	R 1 年 6 月	学部紹介パンフレット	冊子
	北海道大学大学院薬学研究院・薬学部外部点検評価報告書	不定期	H26年 3 月	点検評価	冊子
	北海道大学大学院薬学研究院・薬学部自己点検評価報告書	不定期	H25年10月	点検評価	冊子
農学院・ 農学研究院・ 農学部	北海道大学大学院農学研究院・大学院農学院・農学部概要	年 1 回	R 1 年 7 月	農学研究院・農学院・農学部の沿革等の概要を掲載（和文・英文併記）	冊子、PDF版
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要	年 1 回	H31年 3 月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌	冊子、PDF版
	Journal of the Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University（北海道大学大学院農学研究院欧文紀要）	年 1 回	H31年 3 月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌	冊子、PDF版
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要別冊「農経論叢」	年 1 回	H30年 3 月	農業経済に関する学術研究論文誌	冊子、PDF版
	Insecta Matsumurana	年 1 回	H30年11月	昆虫学に関する学術研究論文誌	冊子、PDF版
	農学部学部案内	不定期	R 1 年 7 月	各学科・附属施設の内容紹介（冊子）	冊子、PDF版
	20th Anniversary Commemorative Bulletin of the Special Post Graduate Program in English Graduate School of Agriculture Hokkaido University: 1997-2017	不定期	H29年11月	農学院英語コース20周年記念誌	冊子、PDF版
	北海道大学大学院農学院（リーフレット）	不定期	H31年 3 月	農学院の内容紹介	冊子、PDF版
	北海道大学大学院先端生命科学研究院パンフレット	不定期	H26年 3 月	構成、研究活動、連携、支援体制、人材育成、研究室紹介	
生命科学院・ 先端生命科学研究院	先端生命科学研究院リーフレット	不定期	H30年 4 月、9 月	構成、研究活動、産学連携、支援体制、人材育成、研究室紹介	冊子、PDF版
	先端生命科学研究院 広報	不定期	H30年 4 月	研究活動、研究室紹介	WEB
	次世代物質生命科学研究センター Annual Report 2018年度	年 1 回	R 1 年10月	研究活動、研究業績、研究資金、設備紹介	冊子、PDF版
	北海道大学大学院生命科学院パンフレット	年 1 回	2019年度版	大学院受験生への学院紹介、研究概要、入試概要、施設・設備紹介	冊子、PDF版
	北海道大学薬学部 大学院生命科学院 生命科学専攻 生命医薬科学コース 臨床薬学専攻 パンフレット	隔年	R 1 年 6 月	薬学部、生命医薬科学コース、臨床薬学専攻の概要、カリキュラム、研究活動、施設・設備紹介	冊子
	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻生命融合科学コース パンフレット	不定期	H24年 5 月	コース概要	冊子
	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻生命融合科学コース 研究室紹介	不定期	R 1 年 4 月	コース概要、研究室紹介	冊子
	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻生命融合科学コース 広報	不定期	R 1 年 4 月	研究活動、研究室紹介	冊子、WEB
	北海道大学大学院生命科学院 生命システム科学コース	年 1 回	H28年度版	コース概要	
	北海道大学大学院生命科学院 ソフトマター専攻 研究室紹介	不定期	H30年 4 月	コース概要、研究室紹介	冊子
	北海道大学大学院生命科学院ソフトマター専攻 広報	不定期	H31年 4 月	研究活動、研究室紹介	冊子、WEB
	Graduate School of Life Scienceパンフレット	不定期	H29年 3 月	生命科学院の紹介（英文）	
教育学院・ 教育学研究院・ 教育学部	北海道大学教育学部案内	3 年に 1 回	H31年 3 月	各研究室の紹介、卒業後の進路、学生の声、卒業生の声、国際交流状況等を掲載	冊子
	北海道大学大学院教育学院入学案内	3 年に 1 回	H31年 3 月	各研究室を紹介	冊子
	北海道大学大学院教育学研究院紀要	年 2 回	R 1 年 6 月	研究の成果を論文として掲載	冊子、PDF版
	北海道大学教職課程年報	年 1 回	H31年 3 月	北海道大学教職課程に関連した調査研究及び授業実践等に関する論文や各種資料を掲載	冊子、PDF版
国際広報メディア・ 観光学院、 メディア・コミュニ ケーション研究院	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院案内	年 1 回	H31年 4 月	学院の沿革、組織、職員数等の概要を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院案内 （新学院紹介用の臨時発行版）	臨時発行	H30年 7 月	新学院設立の方針、新しい教育内容、組織、職員数等の概要を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院案内 英語版	年 1 回	H27年 4 月	学院の沿革、組織、職員数等の概要を掲載（英語版）	冊子
	国際広報メディア・観光学ジャーナル	年 2 回	R 1 年10月	教員の教育・研究成果の公表、博士後期課程学生の研究発表	冊子、PDF版
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア専攻 観光創造専攻（リーフレット）	年 1 回	R 1 年10月	学院の紹介、入試日程概要	冊子、PDF版
	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア専攻 観光創造専攻（リーフレット） 中国語版	年 1 回	H29年度版	学院の紹介、入試日程概要（中国語版）	冊子、PDF版
	メディア・コミュニケーション研究	年 1 回	H31年 3 月	教員の研究報告	冊子、PDF版
	自己点検・評価報告書 外部評価報告書	不定期	H28年 3 月	自己点検・評価報告、外部評価報告	冊子
保健科学院・ 保健科学研究院	北海道大学大学院保健科学研究院・大学院保健科学院・医学部保健学科概要	年 1 回	R 1 年度版	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学科の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載（英文併記）	冊子、PDF版

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
保健科学院・保健科学研究院	北海道大学大学院保健科学研究院広報「ブラテュス」	年2回	R1年10月	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学科のニュース、トピックス、お知らせ等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学医学部保健学科パンフレット	年1回	R1年6月	医学部保健学科各専攻紹介、卒業研究、在校生・卒業生からのメッセージを掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院保健科学院パンフレット	隔年	H30年6月	保健科学院担当教員紹介及び保健科学研究院研究プロジェクト等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院保健科学研究院・大学院保健科学院（医学部保健学科）年報	年1回	R1年9月	沿革、組織、研究活動、教育活動等を掲載	CD-ROM
	北海道大学医学部保健学科・大学院保健科学院・大学院保健科学研究院フロアガイド	不定期	H27年6月	北海道大学医学部保健学科・大学院保健科学院・大学院保健科学研究院フロアガイド（日本語版、英語版）	冊子、PDF版
工学院・工学研究院・工学部	北海道大学大学院工学研究院・工学院・工学部概要（和文・英文）	年1回	R1年7月	沿革、組織、職員数等、工学研究院・工学院・工学部の概要を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院工学研究院・工学院広報誌「えんじにあRing」	年4回	R1年10月	工学研究院・工学院の研究紹介、ニュース等を掲載	冊子、HTML版、PDF版
	北海道大学工学系教育研究センターリーフレット（和文／英文併記）	不定期	H31年3月	工学系教育研究センターの紹介	冊子
	北大CEED（工学系教育研究センター）eラーニングのご案内（和文・英文）	不定期	H31年4月	工学系教育研究センターeラーニングシステム開発部で提供しているeラーニングに関する紹介、視聴方法等案内、多言語化への取組	パンフレット
	北海道大学工学部のすべて2019・2020（学部紹介パンフレット）	隔年	R1年7月	工学部への入学を目指す高校生等を対象に、工学部の概要、特に4学科15コースの内容を中心に紹介	冊子、PDF版
	Girls, Be ambitious!	不定期	H28年3月	工学部への入学を目指す女子学生を対象に、工学部を紹介するパンフレット	冊子、PDF版
	就職に強い！工学部	不定期	R1年7月	工学部・工学系大学院の就職状況を紹介	冊子、PDF版
	english engineering education PROGRAM	不定期	H31年3月	グローバル工学人材養成プログラム（e3）の概要紹介	冊子・PDF版
	北海道大学工学部 情報エレクトロニクス学科（パンフレット）	年1回	H31年4月	工学部情報エレクトロニクス学科の紹介	冊子、PDF版
	E.O	不定期	H31年4月	工学部情報エレクトロニクス学科の紹介	冊子、PDF版
	北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センターパンフレット（和文・英文）	隔年	R1年6月	センターの沿革、組織、研究内容、業績等統計を掲載	冊子
	大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター複合量子ビーム超高圧顕微解析研究室	不定期	H30年10月	超高圧電子顕微鏡及び周辺機器の仕様、研究例、沿革等を掲載	冊子
総合化学院	北海道大学大学院総合化学院概要（英語併記）	不定期	H31年3月	沿革、組織、総合化学院の概要、研究室紹介等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院総合化学院自己点検評価書	不定期	H26年11月	総合化学院創設から5年間の自己点検評価を掲載	冊子
	北海道大学大学院総合化学院外部点検評価書	不定期	H27年4月	H27年2月開催の外部中間評価概要、評価資料、外部委員による評価	冊子
	ANNUAL REPORT 2017	年1回	H31年3月	総合化学院の特色ある教育活動、学生状況、分野（研究室）の教育研究活動を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院総合化学院紹介ポスター（パネル）	不定期	H27年4月	総合化学院の概要等を紹介	ポスター
経済学院・経済学研究院・経済学部	北海道大学大学院経済学研究院・大学院経済学院・経済学部概要	年1回	H31年4月	経済学研究院・経済学院・経済学部の沿革、組織、学生数、職員数等の概要を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院経済学院（紹介パンフレット）	不定期	H29年4月	経済学院への入学を目指す方を対象に、研究科の構成、入試情報、研究内容等を紹介	冊子、PDF版
	北海道大学アカウンティングスクール（紹介パンフレット）	不定期	H29年4月	会計専門職大学院への入学を目指す方を対象に、入試情報、講義科目等を紹介	冊子、PDF版
	経済学部のすべて（紹介パンフレット）	不定期	H29年4月	経済学部への入学を目指す方を対象に、学部の構成、授業科目、入試情報、学生生活等を紹介	冊子、PDF版
	経済学研究（紀要）	年2回	R1年6月	経済学研究院・経済学院所属の教員・大学院生の研究論文を掲載	冊子、PDF版
	地域経済経営ネットワーク研究センター年報	年1回	H31年3月	経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターの研究成果を発信	冊子、PDF版
医学院・医学研究院・医学部	北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部医学科概要（日本語版）	年1回	R1年9月	医学研究院・医学院・医学部の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院医学研究院・医学院・医学部医学科概要（英語版）	年1回	H30年11月	医学研究院・医学院・医学部の沿革、組織、職員数、学生数等の概要を掲載（英文）	冊子、PDF版
	北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部医学科広報	年4回	R1年9月	医学研究院・医学院・医学部医学科のニュース、トピックス、お知らせ等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部医学科紹介DVD	不定期	H29年7月	入学志願者、一般向けにカリキュラム、医学研究院・医学院・医学部医学科の特色等を紹介	DVD
	北海道大学医学部医学科紹介動画（日本語版）	不定期	H30年10月	入学志願者、一般向けに医学部医学科の特色等を紹介	YouTube動画
	北海道大学医学部医学科紹介動画（英語版）	不定期	H30年10月	入学志願者、一般向けに医学部医学科の特色等を紹介	YouTube動画
	北海道大学医学部医学科案内	年1回	R1年6月	入学志願者、一般向け医学科案内	冊子、PDF版

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
医学院・ 医学研究院・ 医学部	VIS-Voice of the International Students- 国際連携部門だより（英語版）	年数回 程度	R 1 年10月	留学生（大学院生・交換留学生）、医学科学 生の意見、国際交流イベントの紹介・参加者 の感想等を掲載	冊子、HTML版、 PDF版
	北海道大学 大学院医学院 修士課程案内（日本語版）	年 1 回	R 1 年 5 月	入学志願者、一般向け医学院修士課程案内	冊子、PDF版
	北海道大学 大学院医学院 修士課程案内（英語版）	年 1 回	R 1 年 7 月	入学志願者、一般向け医学院修士課程案内 （英文）	冊子、PDF版
	北海道大学 大学院医学院 修士課程公衆衛生学コース 学生募集チラ シ	不定期	H30年 5 月	入学志願者向けに募集案内	チラシ
	北海道大学 大学院医学院 修士課程公衆衛生学コース 学生募集チラ シ（英語版）	不定期	H29年 1 月	入学志願者向けに募集案内（英文）	チラシ
	北海道大学 大学院医学院 博士課程案内（日本語版）	年 1 回	R 1 年 5 月	入学志願者、一般向け医学院博士課程案内	冊子、PDF版
	北海道大学 大学院医学院 博士課程案内（英語版）	年 1 回	R 1 年 7 月	入学志願者、一般向け医学院博士課程案内 （英文）	冊子、PDF版
	北海道大学大学院医学研究院 連携研究セ ンター「フラテ」概要	年 1 回	R 1 年10月	センターの組織、研究概要、セミナー、研究 業績等を掲載	冊子、PDF版
	北海道大学医学部保健学科案内	年 1 回	H29年度版	受験生向け保健学科案内	
歯学院・ 歯学研究院・ 歯学部	北海道大学大学院歯学研究院・大学院歯学 院・歯学部概要	年 1 回	R 1 年 9 月	沿革、組織等、研究院・学院・学部の概要を 掲載	冊子、PDF版
	北海道大学歯学部学部紹介	年 1 回	R 1 年 7 月	歯学部を志願する高校生向けの学部案内	冊子、PDF版
	北海道大学大学院歯学院紹介	年 1 回	R 1 年 7 月	歯学院の志願者向けの大学院案内	冊子、PDF版
獣医学院・ 獣医学研究院・ 獣医学部	光れる北を	不定期	R 1 年 6 月	獣医学部案内	冊子
	The Japanese Journal of Veterinary Research	年 4 回	R 1 年 8 月	欧文による研究論文の発表、広報	冊子、PDF版
	大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣 医学部 概要 （日本語・英語版）	不定期	H30年 2 月	獣医学研究院・獣医学部の沿革・組織・職員 数等の概要を掲載	冊子
	大学院獣医学研究院・獣医学部 年報	不定期	H30年12月	研究院の概要、組織、研究活動、教育活動等 を掲載	冊子、PDF版
	獣医学研究院 附属動物病院	不定期	H27年10月	動物病院の施設・設備等診療案内	冊子
	大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣 医学部 動物実験施設	不定期	H30年 5 月	動物実験施設の概要を掲載	冊子
	外部評価報告書	4 年に 1 回	H27年 6 月	外部評価委員による、獣医学研究科・獣医学 部の施設・設備等の評価を公表	冊子、PDF版
	自己点検評価報告書	4 年に 1 回	H27年 6 月	獣医学研究科・獣医学部の点検・評価事項を 公表	冊子（外部評価 報告書に同梱）、 PDF版
	One Healthフロンティア卓越大学院プロ グラム（パンフレット日本語版）	1 回	H31年 2 月	One Healthフロンティア卓越大学院プロ グラムの概要を掲載	冊子、PDF版
	WISE Program for One Health Frontier Graduate School of Excellence（パンフ レット英語版）	1 回	H31年 2 月	One Healthフロンティア卓越大学院プロ グラムの概要を掲載	冊子、PDF版
	One Healthフロンティア卓越大学院プロ グラムNEWS LETTER Vol.1	年 2 回	R 1 年 6 月	プログラムの特徴、学生支援制度、イベン ト案内、活動報告、教員・学生のメッセージを 掲載	冊子、PDF版
医理工学院	北海道大学 大学院医理工学院 修士・博士後期課程案内（日本語版）	年 1 回	R 1 年 5 月	医理工学院修士課程・博士後期課程案内	冊子、PDF版
	北海道大学 大学院医理工学院 修士・博士後期課程案内（英語版）	年 1 回	R 1 年 5 月	医理工学院修士課程・博士後期課程案内（英 文）	冊子、PDF版
国際感染症学院	北海道大学 大学院国際感染症学院 設置 案内（日本語・英語版）	未定	H28年 8 月	大学院国際感染症学院の開設・カリキュラム 案内	冊子、PDF版
国際食資源学院	北海道大学大学院国際食資源学院 入学希 望者向けガイドブック	年 1 回	R 1 年 6 月	国際食資源学院の紹介	冊子、PDF版
	北海道大学大学院国際食資源学院概要	年 1 回	R 1 年 7 月	国際食資源学院の沿革等の概要を掲載（和 文・英文併記）	冊子、PDF版
公共政策学教育部・ 公共政策学連携研究部	外部評価委員会評価報告書	不定期	R 1 年 5 月	公共政策学連携研究部・教育部の外部評価報 告書	冊子、PDF版
	年報公共政策学	年 1 回	H31年 3 月	公共政策に関する研究論文	冊子、PDF版
	大学院案内（日本語版）	年 1 回	R 1 年 5 月	本大学院の特色、カリキュラム、学修環境等 を紹介	冊子、PDF版
	リーフレット	不定期	H28年 3 月	本大学院の特色、カリキュラム、学修環境等 を簡略に紹介	リーフレット
	大学院案内（英語版）	不定期	H27年 3 月	本大学院の特色、カリキュラム、学修環境等 を紹介	冊子
	大学院案内（中国語版）	不定期	H27年 3 月	本大学院の特色、カリキュラム、学修環境等 を紹介	冊子
	大学院案内（韓国語版）	不定期	H27年 3 月	本大学院の特色、カリキュラム、学修環境等 を紹介	冊子
北海道大学病院	北海道大学病院概要	年 1 回	R 1 年 9 月	診療実績等の概要を掲載	冊子
	CSRレポート	不定期	H30年 9 月	“わたしたちの社会貢献活動”をテーマに5 つの取り組みを紹介するほか、病院の概要や データを掲載	冊子、PDF版

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
北海道大学病院	北海道大学病院 初期医師臨床研修プログラム	年 1 回	R 1 年 6 月	医師臨床研修プログラムを掲載	冊子, PDF版
	北海道大学病院 歯科医師臨床研修プログラム	年 1 回	H31年 3 月	歯科医師臨床研修プログラムを掲載	冊子, PDF版
	北海道大学 臨床研修センター Resident NEWS letter「AMBITION」	年 4 回	R 1 年 8 月	当院医師臨床研修に係る最新情報を掲載	紙媒体, PDF版
	北海道大学病院 内科専門研修プログラム	不定期	R 1 年 9 月	当院内科領域の専門研修に係る情報を掲載	リーフレット, PDF版
	北海道大学病院 外科専門研修プログラム	不定期	R 1 年 9 月	当院外科領域の専門研修に係る情報を掲載	リーフレット
	北海道大学病院 地域医療連携福祉セン ター ニュースレター	年 2 回	R 1 年 6 月	各診療科外来診療等紹介や院内の最新情報等 を掲載	冊子, PDF版
	北海道大学病院 腫瘍センター NEWS	年 2 回	H27年 6 月	腫瘍センターの活動やがん診療に関する情報 を掲載	PDF版
	北海道大学病院 看護部キャリア支援室だ より「つながり」	年 3 回	R 1 年 5 月	当院看護師の成長支援に繋がる情報を掲載	冊子, PDF版
	北大病院 薬剤部NEWS	年 4 回	R 1 年 9 月	薬剤師業務及び医薬品に係る情報を掲載	冊子, PDF版
	北海道大学病院 臨床研究開発センター News	年12回	R 1 年10月	臨床研究開発センターに係る情報を掲載	PDF版
低温科学研究所	北海道大学低温科学研究所概要	隔年	H30年 7 月	研究所の沿革, 組織, 職員数等の概要を掲載	冊子
	北海道大学低温科学研究所年次自己点検評 価報告書－年報－	年 1 回	R 1 年 9 月	研究所の活動状況, 研究成果, 自己点検評価 の結果を掲載 (年報)	冊子
	北海道大学低温科学研究所外部点検評価報 告書	不定期	H25年 3 月	研究所の組織及び運営, 教員人事, 研究活 動, 大学院教育及び社会教育等の外部評価を 掲載	冊子
	低温研ニュース	年 2 回	R 1 年 6 月	研究紹介, シンポジウム報告, 共同研究, 人 事異動等を掲載	冊子
	環オホーツク観測研究センターリーフレッ ト (日本語版・英語版)	不定期	H26年 9 月	環オホーツク観測研究センターの研究内容を 紹介	冊子
	北海道大学低温科学研究所「ダイジェスト ガイド」	不定期	H29年 1 月	研究所の歴史, 最新の研究内容, 組織を紹介	冊子
電子科学研究所	北海道大学電子科学研究所 (概要)	隔年	H31年 4 月	研究所の概要の紹介用パンフレット (日本語 と英語の併記)	冊子
	研究活動－点検評価報告書－	毎年	R 1 年 9 月	研究所の研究教育活動の年次報告	冊子
遺伝子病制御研究所	北海道大学遺伝子病制御研究所概要	隔年	H31年 2 月	目的と使命, 沿革, 歴代所長・施設長及び名 誉教授, 機構, 職員・学生, 研究活動, 附属 施設, 教育活動, 代表論文, 北海道大学配置 図を掲載	冊子, PDF版
	北海道大学遺伝子病制御研究所年報	年 1 回	H31年 1 月	総論, 機構, 管理運営, 社会貢献, 附属施 設, 予算規模等, 研究成果, 教育活動, 共同 利用・共同研究拠点, 研究活動, 施設・設 備, 各種委員会等を掲載	冊子, PDF版
	北海道大学遺伝子病制御研究所外部評価報 告書	不定期	H26年 8 月	理念・目標, 沿革, 研究体制と将来構想, 中 期目標・中期計画, 研究, 教育, 社会貢献活 動, 国際交流, 管理運営等, 施設, 共同利 用・共同研究拠点, 附属施設, 各分野におけ る研究概要と成果等を掲載	冊子
	IGM News Letter	年 1 回	R 1 年 8 月	トピックス, お知らせ, 研究業績紹介, 新任 教員紹介, 新講座開設等を掲載	冊子, PDF版
触媒科学研究所	触媒科学研究所概要	年 1 回	R 1 年 5 月	研究所の沿革, 組織, 研究概要を掲載 (英文 併記)	冊子
	触媒科学研究所年報	年 1 回	R 1 年 7 月	沿革, 組織, 研究活動状況, 教育活動状況を 掲載	冊子
附属図書館	北海道大学附属図書館年報	年 1 回	R 1 年 7 月	附属図書館の活動のトピックス紹介, 統計, 組織, 人事往来等を掲載	PDF版
	北海道大学附属図書館本館利用案内 (リー フレット) 日本語版	不定期	H29年 9 月	附属図書館本館の利用に関する案内等を掲載	冊子
	Hokkaido University Library Guide (リー フレット) 英語版	不定期	H29年 4 月	附属図書館本館の利用に関する案内等を掲載	冊子
	北海道大学附属図書館北図書館利用案内 (リーフレット) 日本語版	不定期	H31年 4 月	附属図書館北図書館の利用に関する案内等を 掲載	冊子
	Hokkaido University North Library Guide (リーフレット) 英語版	不定期	H31年 4 月	附属図書館北図書館の利用に関する案内等を 掲載	冊子
	北海道大学附属図書館北方資料概要	不定期	H30年 6 月	附属図書館所蔵北方資料の利用に関する案内 等を掲載	冊子
	Hokkaido University Library Northern Studies Collection	不定期	H30年 3 月	附属図書館所蔵北方資料の利用に関する案内 等を掲載 (英文)	冊子
	榆蔭 (北海道大学附属図書館報)	年 2 回	R 1 年10月	学生向けに附属図書館のサービス紹介, ニュース等を掲載	冊子, PDF版
	HUSCAPレター	廃刊	H26年 3 月	北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP) 取載文献の紹介記事等を掲載	PDF版
スラブ・ユーラシア 研究センター	SLAVIC RESEARCH CENTER HOKKAIDO UNIVERSITY (概要)	不定期	H28年10月	センターの沿革, 組織, 職員紹介, 研究活動 等を掲載	冊子
	北海道大学スラブ・ユーラシア研究セン ターニュース	年 4 回	R 1 年 7 月	センターの最新の研究・行事・人事等の活動 状況を掲載	冊子, PDF版

部 局 名		広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
スラブ・ユーラシア 研究センター		スラブ・ユーラシア研究センターを研究する（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター点検評価報告書）	不定期	H26年 8 月	センターの自己点検評価報告、外部評価報告、活動記録報告	冊子、PDF版
		ACTA SLAVICA IAPONICA（欧文学術雑誌）	年 1 回	H30年 5 月	投稿論文を欧文で掲載（レフェリー制）	冊子、PDF版
		スラヴ研究（和文学術雑誌）	年 1 回	R 1 年 9 月	投稿論文を和文で掲載（レフェリー制）	冊子、PDF版
		スラブ・ユーラシア研究報告集	不定期	H30年 9 月	研究報告会等での報告抄録等を掲載	冊子、PDF版
		Slavic Research Center News	年 1 回	H30年 3 月	センターの研究・行事・人事等の活動状況を欧文で掲載	冊子、PDF版
		Slavic Eurasian Studies（欧文論集）	不定期	H30年 8 月	シンポジウムのペーパー等を欧文で掲載	冊子、PDF版
		Eurasia Border Review	年 1 回	H31年 2 月	グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」に関する報告抄録等を掲載	冊子、PDF版
		境界研究	年 1 回	H31年 3 月	グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」に関する投稿論文を和文で掲載（レフェリー制）	冊子、PDF版
		スラブ・ユーラシア研究者名簿	不定期	H24年 3 月	スラブ・ユーラシア地域研究者の名簿	冊子
		スラブ・ユーラシア研究センター（SRC）メールマガジン	月 1 回	R 1 年10月	センターの行事や研究会の予定、募集等について掲載	メールマガジン
		スラブ・ユーラシア研究センター（SRC）Twitter	随時	H30年12月	センターの行事や研究会の予定、募集等について掲載	twitterR
情報基盤センター		情報基盤センター概要	年 1 回	R 1 年10月	センターの沿革、組織、研究概要を掲載	冊子、PDF版
		情報基盤センター概要（英語版）	隔年	H30年10月	センターの沿革、組織、研究概要を英文で掲載	冊子、PDF版
		情報基盤センター年報	年 1 回	R 1 年10月	センターの沿革、組織、研究活動状況、教育活動状況を掲載	冊子、PDF版
		大型計算機システム（iiC-HPC）ニュース	年 2 回	H30年 9 月	大型計算機システムに関する情報提供	冊子、PDF版
		情報セキュリティ及びネットワークの手引き HINES-WORLD	不定期	H30年 4 月	北海道大学情報ネットワーク利用案内、情報セキュリティの手引き、規定集	冊子、PDF版
		情報セキュリティ及びネットワークの手引き HINES-WORLD（英語版）	不定期	H30年10月	北海道大学情報ネットワーク利用案内、情報セキュリティの手引きを英文で掲載	冊子、PDF版
		情報セキュリティガイド（リーフレット）	不定期	H30年 4 月	情報セキュリティの手引き	リーフレット、PDF版
		情報セキュリティ－事例と基本的対策－	不定期	R 1 年10月	学内で発生したインシデントや対策、チェックリスト等	リーフレット、PDF版
人獣共通感染症 リサーチセンター		北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター（日本語・英語版）	年 1 回	R 1 年 7 月	人獣共通感染症リサーチセンターの概要を掲載	冊子
		人獣共通感染症リサーチセンター年報	年 1 回	H31年 3 月	センターの概要、組織、研究活動、教育活動等を掲載	冊子
		外部評価報告書	6 年に 1 回	H27年 3 月	外部評価委員による、人獣共通感染症リサーチセンターの研究業績・施設・設備等の評価を公表	冊子
		自己点検評価報告書	6 年に 1 回	H27年 3 月	人獣共通感染症リサーチセンターの点検・評価事項を公表	冊子（外部評価報告書に同梱）
アイソトープ総合 センター		センター概要	隔年	H31年 2 月	センターの施設案内、沿革等を掲載	冊子
		アイソトープ総合センター利用マニュアル	不定期	R 1 年 9 月	センターの利用に関する規程等、利用に関する情報をわかりやすく掲載	冊子
		北海道大学アイソトープ総合センター自己点検・評価報告書	年 1 回	R 1 年 7 月	センターの利用状況、共同研究一覧、活動報告等を掲載	冊子
		センターニュース（CIS NEWS）	年 1 回	H31年 3 月	センターの最新機器の紹介、講義、講習会のお知らせ等のニュースを掲載	冊子
量子集積エレクトロ ニクス研究センター		北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター（概要・和文）	不定期	H26年 4 月	センターの目的、組織、研究内容等を掲載	HTML(PDF)版
		北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター（概要・英文）	不定期	H26年 4 月	センターの目的、組織、研究内容等を掲載	HTML(PDF)版
		量子集積エレクトロニクス研究（研究報告）	年 1 回	R 1 年 6 月 第18巻	センターの研究目的、組織、研究内容、施設・設備と、研究活動及び研究成果の報告	冊子
		量子集積エレクトロニクス研究センター自己点検評価書	年 1 回	R 1 年 6 月	研究・教育活動成果に基づく自己点検評価書	冊子、HTML（PDF）版
北 方 生 物 園 フ ィ ー ル ド 科 学 セ ン タ ー	企画調整室	北海道大学北方生物園フィールド科学センター概要	不定期	H27年 2 月	沿革、組織、研究内容等の概要を掲載	冊子・PDF版
		北海道大学北方生物園フィールド科学センター年報	年 1 回	R 1 年 9 月	各施設の教育・研究動向、職員の研究業績一覧、施設の利用状況等を掲載	PDF版
		北海道大学北方生物園フィールド科学センター News Letter	年数回	R 1 年 6 月	センターの活動紹介、イベントなどのお知らせ、ショートエッセイ等を掲載	PDF版
	森林園ステーション	演習林研究報告	不定期	R 1 年 5 月	森林科学関連分野及び森林園ステーション関連の研究論文（和文）を掲載。国内外の関係機関等にも送付	冊子
		Eurasian Journal of Forest Research	不定期	H29年12月	「演習林研究報告」の英語論文分冊。国内外の関係機関等にも送付	冊子
		森林園ステーション年度報告	年 1 回	H31年 2 月	森林園ステーション管理面の資料を掲載	印刷発行
		北方森林保全技術	年 1 回	H31年 2 月	森林園ステーション技術系職員が試験年報報告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機関等にも送付	印刷発行
		森林園ステーション概要	不定期	H30年 3 月	施設の紹介	印刷発行
		森林園ステーション概要（英語版）	不定期	H31年 1 月	施設の紹介	印刷発行

部 局 名		広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
北方生物圏フィールド科学センター	耕地圏ステーション	北海道大学生物生産研究農場概要	不定期	H14年 9 月	農場の沿革，部門紹介，組織等の概要を掲載	印刷発行
		北海道大学生物生産研究農場研究報告	不定期	H17年12月	農場を利用した研究の報告	冊子
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場技術業務報告	不定期	H21年 3 月	農場における圃場管理や家畜飼養に関する技術業務を掲載	印刷発行
		北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園（概要パンフレット）英語併記	不定期	H29年 8 月	植物園の沿革，組織等の概要を掲載	冊子
		植物園だより（リーフレット）	年 6 回	R 1 年10月	日高山脈の植物	チラシ，PDF
		北海道大学植物園（リーフレット）日本語版	年 1 回	H28年 7 月	植物園内の解説	リーフレット，PDF
		北海道大学植物園（リーフレット）英語版	年 1 回	H27年 4 月	植物園内の解説	リーフレット，PDF
		北海道大学植物園（リーフレット）中国語版	年 1 回	H28年 7 月	植物園内の解説	リーフレット，PDF
		北海道大学植物園（リーフレット）韓国語版	年 1 回	H28年 7 月	植物園内の解説	リーフレット，PDF
		北大植物園技術報告・年次報告	年 1 回	H31年 3 月	植物園の活動内容	冊子，PDF
		北大植物園研究紀要	年 1 回	R 1 年 5 月	研究報告	冊子，HUSCAP
		北大植物園資料目録	不定期	H28年 2 月	資料目録	冊子，PDF
観光学高等研究センター		CATS2019 パンフレット	年 1 回	R 1 年 6 月	観光学高等研究センターの紹介	冊子
アイヌ・先住民研究センター	アイヌ・先住民研究センター案内（パンフレット日本語版）	不定期	H31年 4 月	アイヌ・先住民研究センターの役割，特徴及び同センターで実施するプロジェクトを日本語で紹介	冊子	
	アイヌ・先住民研究センター案内（パンフレット英語版）	不定期	H31年 4 月	アイヌ・先住民研究センターの役割，特徴及び同センターで実施するプロジェクトを英語で紹介	冊子	
	アイヌ・先住民研究センター案内（パンフレット中国語版）	不定期	H31年 4 月	アイヌ・先住民研究センターの役割，特徴及び同センターで実施するプロジェクトを中国語で紹介	冊子	
	アイヌ・先住民研究センター案内（パンフレットロシア語版）	不定期	H31年 4 月	アイヌ・先住民研究センターの役割，特徴及び同センターで実施するプロジェクトをロシア語で紹介	冊子	
	日本国憲法と先住民族であるアイヌの人びと（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット1号）	不定期	H25年 2 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年10月に主催した講演会の講演内容を紹介	冊子	
	トンコリの世界（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット2号）	不定期	H26年 3 月	アイヌの伝統的楽器トンコリ伝承者の富田友子氏に対するインタビューをまとめて楽曲だけでなくトンコリの作り方なども紹介	冊子	
	The Ainu : Indigenous People of Japan（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット3号）	不定期	H29年 3 月	ワシントンD.C.での国際シンポジウムにおける報告をまとめ，現代のアイヌ民族の活動等を海外に向けて英文で紹介	冊子	
	花とイナウー世界の中のアイヌ文化―（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット4号）	不定期	H31年 3 月	アイヌ民族の信仰や儀式等において用いられるイナウの意味や特徴を各国のイナウとも比較しながら紹介	冊子	
	台湾の原住民族政策―民族認定と博物館―（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット5号）	不定期	H27年 4 月	アイヌ・先住民研究センターが2012年と2014年に主催した台湾の原住民族政策に関するシンポジウムの講演内容を紹介	冊子	
	古川アシンノカルの生涯―新冠地方の故事と伝承―（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット6号）	不定期	H28年 3 月	北海道日高郡新ひだか町在住の狩野義美氏が書き記した文章の中から大祖父の古川アシンノカル氏らに係るものを集成	冊子	
	The World of Tonkori（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット7号）	不定期	H29年 3 月	アイヌの伝統的楽器トンコリ伝承者の富田友子氏に対するインタビューをまとめて楽曲だけでなくトンコリの作り方なども紹介したブックレット2号の英語版	冊子	
	An Introduction to Ainu Studies（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット8号）	不定期	H30年 3 月	アイヌ・先住民研究センターの研究内容を海外に向けて英文で紹介	冊子	
	Flowers and Inaw-Ainu Culture in the World-（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット9号）	不定期	H30年 3 月	アイヌ民族の信仰や儀式等において用いられるイナウの意味や特徴を各国のイナウとも比較しながら紹介したブックレット4号の英語版	冊子	
	アイヌ・先住民研究センターの10年-2007～2017-	不定期	H30年 9 月	アイヌ・先住民研究センターの10年間の研究成果と今後の展開について主要なプロジェクトごとにとりまとめた報告書	冊子	
	民族のあり方と先住民族政策-台湾平埔族の原住民族認定をめぐる―（北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット11号）	不定期	H31年 4 月	ブックレット第5号に続く，台湾平埔族をめぐる原住民族政策の新しい展開についての報告書	冊子	
	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活と意識	不定期	H24年 1 月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査（アンケート調査）に関する報告書	冊子	
	2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活の歩みと意識の変容	不定期	H24年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2009年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査（インタビュー調査）に関する報告書	冊子	
	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書 現代アイヌの生活と意識の多様性	不定期	H26年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施した北海道アイヌ民族生活実態調査の結果を再分析した報告書	冊子	

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
アイヌ・先住民研究センター	2014年アイヌ民族多住地域住民調査報告書 地域住民のアイヌ政策への評価とアイヌの 人々との社会関係	不定期	H27年 9 月	アイヌ・先住民研究センターが2014年に札幌 市とむかわ町で実施したアイヌ民族多住地域 住民調査の結果に関する報告書	冊子
	Report on the 2008 Hokkaido Ainu Living Conditions Survey	不定期	H23年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施 した北海道アイヌ民族生活実態調査に関する 報告書の英語版	冊子
	2017年アイヌ民族多住地域調査報告書 帯 広市におけるアイヌ民族の現状と地域住民	不定期	H30年 6 月	アイヌ・先住民研究センターが2017年に帯広 市で実施したアイヌ民族多住地域住民調査の 結果に関する報告書	冊子
	2018年アイヌ民族多住地域調査報告書 旭 川におけるアイヌ民族の現状と地域住民	不定期	R 1 年 7 月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に旭川 市で実施したアイヌ民族多住地域住民調査の 結果に関する報告書	冊子
	沖縄におけるガイドツアーの運営実態に関 する事例調査	不定期	H23年 3 月	アイヌ・先住民研究センターがエコツーリス ム・プロジェクトの一環として実施した事例 調査の報告書	冊子
	世界のなかのアイヌ・アート	不定期	H28年 1 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施 した「先住民アートプロジェクト」の研究 成果に関する報告書	冊子
	先住民アート・プロジェクト報告書 アイ ヌ・アートが担う新たな役割－米国先住 民アートショーに学ぶ	不定期	H27年 4 月	アイヌ・先住民研究センターが2014年に国立 民族学博物館との共催で開催した国際シンポ ジウムの記録	冊子
	先住民文化遺産とツーリズム－アイヌ民族 における文化遺産活用の理論と実践	不定期	H28年 6 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施 した「先住民文化遺産とツーリズムプロジェ クト」の研究成果に関する報告書	冊子
	Indigenous Heritage and Tourism- Theories and Practices on Utilizing the Ainu Heritage-	不定期	H26年 1 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施 した「先住民文化遺産とツーリズムプロジェ クト」の研究成果に関する報告書の英語版	冊子
	teetasinrit tekrukoci 先人の手あと 北大 所蔵アイヌ資料－受けつぐ技－	不定期	H21年 2 月	アイヌ・先住民研究センターと北大総合博物 館の企画展示の記録	冊子
	teetasinrit tekrukoci -The Handprints of our Ancestors- Ainu Artifacts Housed at Hokkaido University-Inherited Techniques	不定期	H24年 3 月	アイヌ・先住民研究センターと北大総合博物 館の企画展示の記録の英語版	冊子
	北海道新冠地方におけるアイヌ語地名の調 査と分析	不定期	H28年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2013年から 2015年に行ったアイヌ語地名調査の成果報告	冊子
	にかほ市象潟郷土資料館所蔵森家旧蔵「蝦 夷方言藻汐草 全」翻刻・解題	不定期	H25年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2012年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所 所蔵 田藩文庫旧蔵「東蝦夷彙考」翻刻・ 解題	不定期	H26年 5 月	ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所 所蔵の和文写本の概要を日本で初めて紹介	冊子
	国立公文書館内閣文庫所蔵 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」 元・亨 影印・翻刻	不定期	H29年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2016年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	国立公文書館内閣文庫所蔵 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」 利・貞 影印・翻刻	不定期	H30年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2017年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	国立公文書館内閣文庫所蔵 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」索引 アイヌ語-日本語編	不定期	H31年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	国立公文書館内閣文庫所蔵 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」索引 日本語-アイヌ語編	不定期	H31年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	藤山ハル口述・村崎恭子採録・著 樺太ア イヌ語例文集 (2)	不定期	H28年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2015年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子・CD付
	和田文治郎 樺太アイヌ説話集4	不定期	H31年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	アイヌ語調査資料のデータベース化に関す る基礎的研究 (8)	不定期	H31年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	アイヌ語十勝方言例文集 1	不定期	H26年 3 月	アイヌ語十勝方言の研究に際して基礎となる 例文を提示し、言語学的研究の一助とする目 的で日常語例文を収録	冊子
	アイヌ語厚別方言語彙集	不定期	H29年 2 月	北海道日高町豊田に在住した松島トミ氏によ るアイヌ語語彙と例文の記録	冊子
	アイヌ語十勝方言會話小辞典	不定期	H29年10月	アイヌ・先住民研究センターが行ったアイヌ 語十勝方言の言語調査で得られた資料を意味 分類に従って配列したもの	冊子
	アイヌ語浦河方言語彙集	不定期	H29年 5 月	アイヌ・先住民研究センターが行った調査に よるアイヌ語浦河方言の語彙集	冊子
	アイヌ叙景詩鑑賞 押韻法を中心に	不定期	H30年 8 月	アイヌ・先住民研究センターが2017年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
社会科学実験研究 センター	北海道大学社会科学実験研究センター自己 点検評価	年 1 回	R 1 年 6 月	社会科学実験研究センターの概要、教育研究 活動の実績、組織構成を掲載 (HPよりダウ ンロード可能)	冊子、PDF
	北海道大学社会科学実験研究センター案内 (パンフレット) 英語版	不定期	H27年 8 月	社会科学実験研究センターの概要、実験室等 の研究設備とその利用状況、研究成果を紹介	冊子

部 局 名		広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
環境健康科学研究教育センター		北海道大学環境健康科学研究教育センター年報	隔年	H30年 5 月	環境健康科学研究教育センターの概要、部門報告、業績一覧、委員会名簿等を掲載	冊子
		環境健康科学研究教育センターチラシ（英語版、日本語版）	不定期	H28年 3 月	環境健康科学研究教育センターの組織、概要、活動内容を分かりやすく掲載	リーフレット
脳科学研究教育センター		北海道大学脳科学研究教育センター概要	隔年	R 1 年 5 月	センターの組織、発達脳科学専攻（バーチャル専攻）の概要等を掲載	冊子
外国語教育センター		HOKKAIDO UNIVERSITY CENTER FOR LANGUAGE LEARNING	不定期	H21年 4 月	外国語教育センターの紹介	冊子
		自己点検・評価報告書 外部評価報告書	不定期	H28年 3 月	自己点検・評価報告、外部評価報告	冊子
数理・データサイエンス教育研究センター		数理・データサイエンス教育研究センターパンフレット	不定期	R 1 年10月	数理・データサイエンス教育研究センターの概要	冊子
		数理・データサイエンス教育研究センターリーフレット	不定期	H31年 3 月	数理・データサイエンス教育研究センターの概要	冊子
総合博物館		重要文化財札幌農学校第2農場パンフレット（見学者配付用資料）	1 回	H29年 3 月	重要文化財札幌農学校第2農場を見学者に紹介	冊子
		総合博物館展示リーフレット（見学者配付用資料）	1 回	H28年 7 月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利用案内を見学者に紹介	冊子、PDF版
		An Introduction to The Hokkaido University Museum	1 回	H28年 7 月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利用案内を見学者に紹介（リーフレット）	冊子、PDF版
		北海道大学総合博物館外部点検評価報告書（平成22年度～平成27年度）	不定期	H29年 3 月	外部点検評価委員会による総合博物館の評価	冊子
		北海道大学総合博物館点検評価報告書（平成22年度～平成27年度）	不定期	H28年12月	北海道大学総合博物館点検評価委員会委員による総合博物館の評価	冊子
		北海道大学総合博物館研究報告	年 1 回	H28年 3 月	研究報告 No.1（2003.3）-No.8（2016.3）	冊子
		北海道大学総合博物館年報	年 1 回	R 1 年 7 月	博物館及び博物館教員の活動記録 H16年度 H18・19年度 H20・21年度 H22・23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度	
		北海道大学総合博物館ニュース	年 2 回	R 1 年 9 月	博物館の活動状況・出来事・ニュース・特別寄稿等を掲載 No.1(1999.7)-No.39(2018.9)	冊子、PDF版
		Guidebook : Museum Meister Course, The Hokkaido University Museum	年 1 回	R 1 年度版	総合博物館ミュージアムマイスター認定コースの案内	冊子、PDF版
大学文書館		北海道大学大学文書館年報	年 1 回	H31年 3 月	研究論文、資料紹介・目録、業務記録等を掲載	冊子、PDF版
		北海道大学大学文書館資料叢書	不定期	H22年 3 月	資料翻刻、解説等を掲載	冊子、PDF版
		北海道大学大学文書館自己点検・外部評価報告書	不定期	H30年 3 月	自己点検・外部評価報告書	冊子
		北海道大学大学文書館概要	年 1 回	H31年 4 月	大学文書館の概要、案内図等を掲載	冊子
		北海道大学大学文書館リーフレット	年 1 回	H31年 1 月	大学文書館の概要、所蔵資料の紹介、利用に関する案内等を掲載	冊子
		北海道大学大学文書館利用案内	年 1 回	H31年 1 月	大学文書館の利用方法に関する案内を掲載	冊子
		北海道大学150年史編集準備室リーフレット	年 1 回	H31年 4 月	150年史編集準備室の概要、活動案内等を掲載	冊子、PDF版
		北海道大学150年史編集ニュース	年 2 回	R 1 年 7 月	150年史編集準備室の活動内容、北大史小話を掲載	冊子、PDF版
埋蔵文化財調査センター		北海道大学埋蔵文化財調査センターニュースレター	年 3 回	H31年 3 月	構内の遺跡、埋蔵文化財調査センターの活動内容を紹介	冊子、PDF版
		北大構内の遺跡	年 1 回	H31年 3 月	北大構内（札幌キャンパス）における埋蔵文化財の調査報告	冊子、PDF版
人材育成本部	上級人材育成ステーション S-cubic	S-cubic通信	不定期	H31年 3 月	DC・PDを対象とした進路選択のガイドブック	冊子
	I-HoP	Career Management Guide for the Doctorates	不定期	H31年 3 月	外国人英語コース博士のためのキャリアマネジメントガイド	冊子
	連携型博士研究人材育成推進室	科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業 連携型博士研究人材総合育成システムの構築	不定期	H31年 9 月	コンソーシアム事業の紹介	冊子
	女性研究者支援室	女性研究者支援室FResHU リーフレット	不定期	H30年 2 月	女性研究者支援室の紹介	冊子
創成研究機構		創成ニューズレター CRIS TIMES	年 1 回	H28年度版	創成研究機構の活動紹介	冊子、PDF版
		北海道大学 創成研究機構	不定期	H28年 1 月	創成研究機構の組織紹介	冊子、PDF版
		北海道大学 創成研究機構（DVD）	不定期	H23年 9 月	創成研究機構の紹介DVD（改訂版）	DVD
		Creative Research Institution	不定期	H23年10月	創成研究機構の紹介DVD（英語・改訂版）	DVD
		北大を特徴づける研究機関 創成研究機構 構成組織	不定期	H25年10月	創成研究機構各構成組織の紹介及び研究・活動内容の紹介	冊子、PDF版
		オープンファシリティプラットフォーム	不定期	H29年 5 月	オープンファシリティプラットフォームの紹介	冊子
		Global Facility Center Hokkaido University	不定期	R 1 年 7 月	グローバルファシリティセンターの紹介（日本語版）	冊子、PDF版
		Global Facility Center Hokkaido University (English ver.)	不定期	H29年 7 月	グローバルファシリティセンターの紹介（英語版）	冊子

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
創成研究機構	北海道大学グローバルファシリティセンター	不定期	R 1 年 8 月	グローバルファシリティセンターの紹介	チラシ, PDF版
	北海道大学グローバルファシリティセンター (英語版)	不定期	R 1 年 8 月	グローバルファシリティセンターの紹介	チラシ
	“ひらめきをカタチにするパートナー” 今すぐ使える北大GFC	不定期	R 1 年 5 月	グローバルファシリティセンターの紹介 (学外向け)	チラシ, PDF版
	オープンファシリティ料金表 学外利用者用	不定期	R 1 年10月	オープンファシリティ学外利用料金一覧 (日本語版)	冊子
	Hokkaido University OPEN FACILITY PRICE LIST For EXTERNAL USERS	不定期	R 1 年10月	オープンファシリティ学外利用料金一覧 (英語版)	冊子
	北海道大学オープンファシリティ料金表	不定期	R 1 年10月	オープンファシリティ利用料金一覧 (学内・学外用)	冊子, PDF版
	先端技術のオープンステーション 北海道大学 オープンファシリティ	不定期	H27年12月	オープンファシリティの紹介DVD (日本語版)	DVD
	Cutting-edge Open Station Hokkaido University Open Facility	不定期	H27年12月	オープンファシリティの紹介DVD (英語版)	DVD
	第6回オープンファシリティシンポジウム 報告書	年 1 回	H31年 3 月	オープンファシリティシンポジウム開催報告	冊子, PDF版
	北海道大学創成研究機構グローバルファシ リティセンター機器分析受託サービス	不定期	H30年 7 月	グローバルファシリティセンター機器分析受 託部門の紹介	冊子
	機器分析受託サービス 分析料金表 (学 外)	不定期	R 1 年10月	分析料金一覧 学外料金 (日本語版)	チラシ, PDF版
	Price List (Within Campus)	不定期	R 1 年10月	分析料金一覧 学外料金 (英語版)	チラシ, PDF版
	機器分析受託サービス分析料金表 (学内)	不定期	R 1 年10月	分析料金一覧 学内料金 (日本語版)	チラシ, PDF版
	Price List (Outside Campus)	不定期	R 1 年10月	分析料金一覧 学内料金 (英語版)	チラシ, PDF版
	北海道大学次世代研究基盤戦略	不定期	H29年 9 月	文部科学省「先端研究基盤共用促進事業 (新 たな共用システム導入支援プログラム)」の 紹介	冊子, PDF版
高等教育推進機構	原子・分子の顕微イメージングプラット フォーム	不定期	R 1 年 8 月	文部科学省：先端研究基盤共用促進事業 (共 用プラットフォーム形成支援プログラム) 「原子・分子の顕微イメージングプラット フォーム」事業の紹介及び利用募集	冊子
	同位体顕微鏡	不定期	H25年 4 月	文部科学省：先端研究基盤共用・プラット フォーム形成事業「安定同位元素イメージ ング技術による産業イノベーション」事業にお ける坂本教授のインタビュー (リテラボプリ 29号を元に作成)	冊子
	高等教育ジャーナル ー高等教育と生涯学習ー	年 1 回	H31年 3 月	広く高等教育に関する論文・報告等を公開	冊子, PDF
	ニュースレター	年 3 回	R 1 年 9 月	高等教育推進機構の活動を報告	冊子, PDF
	ラーニングサポート室リーフレット	不定期	H29年 4 月	ラーニングサポート室の利用に関する案内	冊子
	アカデミック・マップ	年 1 回	H31年 4 月	進級, 学部移行の参考として各学部学科等の 研究内容等を掲載	冊子, PDF版
	ラーニングサポートレター	年 4 回	R 1 年 9 月	初年次学生の修学状況とラーニングサポート 室で実施する学習サポートやセミナーの利用 状況を掲載	PDF版
	北海道大学オープンエデュケーションセン ター活動報告書	年 1 回	H30年 3 月	北海道大学オープンエデュケーションセン ターの活動報告書	冊子
	北海道大学オープンエデュケーションセン ターリーフレット	不定期	H30年 3 月	学内の教職員を対象にオープンエデュケー ションセンターの活動内容を紹介	冊子
	北海道大学オープンエデュケーションセン ターフライヤー	年 1 回	H30年 3 月	新入学生向けに, 北海道大学オープンコース ウェア及びオープンエデュケーションセン ターに関する案内を掲載	冊子
	教育情報システム (ELMS) リーフレット	年 1 回	H31年 4 月	教育情報システム (ELMS) の利用案内を掲 載	冊子, PDF版
	CoSTEPリーフレット	年 1 回	H31年 3 月	CoSTEPの活動を紹介	パンフレット
	いいね! Hokudai	週4回	R 1 年10月	北大の日々を紹介するWebマガジン	Facebook, Web
サステイナブルキャ ンパス推進本部 サステイナブルキャ ンパスマネジメント 本部	CoSTEP PR	不定期	R 1 年10月	スタッフや受講生の日常を紹介	Facebook
	環境報告書2017 北大のタテ・ヨコ・あした	年 1 回	H29年 9 月	本学の環境に配慮した活動等をまとめ, 2016 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載	冊子, PDF版, HTML版
	Sustainability Report 2017 Coaction with expertise for the future of Hokkaido University	年 1 回	H29年10月	環境報告書の日本語版を海外向けに編集した 報告書	冊子, PDF版
	環境報告書2018 ゴールとプロセス	年 1 回	H30年 9 月	本学の環境に配慮した活動等をまとめ, 2017 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載	冊子, PDF版, HTML版
	Sustainability Report 2018 Goal and Step	年 1 回	H30年10月	環境報告書の日本語版を海外向けに編集した 報告書	冊子, PDF版
	環境報告書2019 あなたの緑とわたしの緑	年 1 回	R 1 年 9 月	本学の環境に配慮した活動等をまとめ, 2018 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載	冊子, PDF版, HTML版
	Sustainability Report 2019 Greenery for You and Us	年 1 回	R 1 年10月	環境報告書の日本語版を海外向けに編集した 報告書	冊子, PDF版

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最 新 版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
産学・地域協働推進機構	産学官連携の手引き	年 1 回	H29年 8 月	産学・地域協働推進機構の業務内容説明及び産学官連携のための案内	冊子, PDF版
	産学・地域協働推進機構パンフレット	不定期	H30年 4 月	産学・地域協働推進機構の概要紹介	冊子, Web版
	北海道大学 研究シーズ集Vol5	不定期	H30年 3 月	北海道大学の研究シーズを分野別に紹介	冊子, 電子ブック
	フード&メディカルイノベーション国際拠点パンフレット	不定期	H31年 4 月	フード&メディカルイノベーション国際拠点(FMI国際拠点)の紹介	冊子・Web版
	「食と健康の達人」拠点パンフレット	不定期	H31年 2 月	北海道大学COI「食と健康の達人」拠点の活動紹介	冊子・Web版
	笑顔プロジェクト	不定期	H30年 7 月	北海道大学COI「笑顔プロジェクト」の活動紹介 (HPにて公開)	web版
	岩見沢市母子健康調査パンフレット	不定期	H31年 4 月	北海道大学COIのプロジェクト「母子健康調査」の活動紹介・ご案内	冊子
	岩見沢市×北海道大学のフリーマガジン「live (ライブ)」	不定期	H31年 2 月	北海道大学COI「食と健康の達人」拠点が地域と課題, 情報を共有するフリーペーパー	冊子・Web版
	岩見沢市×北海道大学のフリーマガジン「live (ライブ)」別冊	不定期	H29年11月	北海道大学COI「食と健康の達人」拠点が高校生と共に地域と課題, 情報を共有するフリーペーパー	冊子
	共同研究等契約形態紹介リーフレット	不定期	H31年 4 月	北海道大学との契約形態 (共同研究・産業創出・学術コンサルティング) の制度紹介	リーフレット
	北海道大学 研究シーズ集Webサイト	不定期	R 1 年10月	北海道大学の研究シーズを分野別に紹介	Web版
	北海道大学 産学・地域協働推進機構	不定期	R 1 年10月	産学・地域協働推進機構について活動紹介・ご案内	Web版
	北海道大学産学連携メールマガジン	不定期	R 1 年10月	産学連携に関わるイベント (研究や様々な情報を知っていただくためのセミナーや勉強会, 企業と研究者とのマッチングイベントなど) のご案内	E-mail
	DEMOLA HOKKAIDO	不定期	R 1 年10月	DEMOLA HOKKAIDOについて活 動 紹 介・ご案内	Web版
国際連携研究教育局	GI-CoRE概要 (英語・日本語表記)	不定期	H29年 6 月	国際連携研究教育局の概要, 各グローバルステーション (量子, 人獣, 食水土, ソフトマター, ビッグデータ, 北極域) の紹介	パンフレット

編集メモ

●11月を迎え、冬の訪れを感じる季節となりました。四季折々の本学の様子を紹介する本学公式PV「北大秋景色」の12月公開にむけ、撮影・編集をすすめています。本学ならではの秋をお届けするべく、研究室や苫小牧研究林に

もお邪魔し、本学の学問や研究にかかわる風景を紹介する予定です。

●北大公式Instagram, Twitterを更新中です。本学のキャンパスの様子、研究リリースなどを随時公開していきます。ぜひご覧ください。

◆Instagram @hokkaidounivpr

◆Twitter @HokkaidoUnivPR



苫小牧研究林での撮影



工学研究院にて撮影させていただきました



2011.11.23 函館本線 黒松内～熱帯（黒松内町）

北の鉄道風景 80 初冬の山線を往くりゾート列車

臨時列車や団体専用列車のための鉄道車両をリゾート列車という。道内においては、JR北海道が発足した直後の1988年から1992年にかけて、「ニセコエクスプレス」、「クリスタルエクスプレス」及び「ノースレインボーエクスプレス」の3編成がリゾート列車としてデビューした。これらの登場から30年前後の年月が過ぎ去り、老朽化が顕在化した結果、「ニセコエクスプレス」と「クリスタルエクスプ

レス」はそれぞれ2017年11月4日と2019年9月29日の運行をもって引退、廃車となった。写真は初冬の函館本線、長万部～小樽間（山線）を往く「クリスタルエクスプレス」である。平成元年に登場した同列車は、上記のように、令和元年に引退することとなった。

情報科学研究院 准教授 山本 学

北大時報 ⑪ No.788 令和元年11月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail: kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。 <https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html>